

平成23年度全国学力・学習状況調査問題を
活用した希望利用調査結果の概要

平成24年2月

高知県教育委員会事務局小中学校課

はじめに

本年度は東日本大震災の影響等で全国学力・学習状況調査の全国的な実施は見送られました。本県においては、各市町村教育委員会及び学校にご理解・ご協力をいただき、調査問題を活用した希望利用調査を県全体で実施しました。

教科に関する調査については、小学校では、国語、算数ともにA問題（主として「知識」に関する問題）の正答率が80%を超えるなど基礎的な学力が定着しつつありますが、B問題（主として「活用」に関する問題）の正答率は50%を下回り、読解力や表現力を要する問題には課題が見られます。中学校では、国語のA問題の正答率の伸びや数学のA問題における基礎的な代数の類似問題の伸びなど、これまでの取組の成果が表れてきています。しかし、小学校と同様に、国語、数学ともにB問題については依然として課題があります。

質問紙調査においては、特に、中学生の家庭学習の時間や取り組み内容などの肯定的な回答が伸びており、家庭学習習慣の定着が図られてきています。また、放課後や長期休業日を利用して補充学習を行う学校の割合や実践的な校内研修を行う学校の割合が増加するなど、組織的な学力向上への取り組みについても、小・中学校の意識が高まってきていることがうかがえます。

本報告書には、教科に関する調査の結果分析から見られる課題を改善するために、「授業改善のポイント」を示しています。その中には、単元テスト、算数・数学シート、国語学習シートや指導改善資料集の活用例などを盛り込んでいますので、授業改善を行ううえで効果的に活用していただきたいと考えています。

各学校や市町村教育委員会におかれましては、本報告書を十分に参考にいただき、「学校改善プラン」に基づく学力向上の取り組みを一層充実させていただき、ようお願いいたします。

平成24年2月 高知県教育委員会

— 目 次 —

はじめに

1	調査の概要	1
2	教科に関する調査結果の比較	2
3	教科に関する調査結果	6
	小学校 【国語】	6
	【算数】	12
	中学校 【国語】	18
	【数学】	24
	教科に関する質問紙調査より【国語】	30
	【算数・数学】	32
4	質問紙調査の結果（児童生徒質問紙）	34
5	質問紙調査の結果（学校質問紙）	38
6	質問紙調査結果一覧	40

平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果について

平成24年2月
高知県教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ◇ 県内の児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析し、各市町村（学校組合）教育委員会や学校が自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 実施日 平成23年9月27日（火）～10月7日（金）

(3) 調査内容

- ◇ 小学校第6学年、中学校第3学年の公立小・中学校全児童生徒を対象
- ◇ 教科に関する調査は、国語、算数・数学を出題
- ◇ 「知識」に関する問題と、「活用」（知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力等）に関する問題を出題
また、生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査を実施

(4) 県内（公立学校）の参加状況

◇ 参加学校数

公立小学校214校

※特別支援学校（小学部）2校を含む

公立中学校117校

※特別支援学校（中学部）3校を含む

公立小・中学校合計学校数331校

◇ 小学校解答（回答）児童数

国語A	6,415名	国語B	6,412名
算数A	6,415名	算数B	6,407名
児童質問紙	6,411名		

◇ 中学校解答（回答）生徒数

国語A	5,356名	国語B	5,348名
数学A	5,346名	数学B	5,339名
生徒質問紙	5,341名		

2 教科に関する調査結果の比較

小学校

			平均正答率(%)		全国と高知県の差
			高知県(公立)	全国(公立)	
国語	A	平成23年度	81.0		
		平成22年度	82.8	83.3	-0.5
		平成21年度	68.5	69.9	-1.4
		平成20年度	65.0	65.4	-0.4
		平成19年度	81.7	81.7	0.0
	B	平成23年度	44.3		
		平成22年度	78.1	77.8	0.3
		平成21年度	49.5	50.5	-1.0
		平成20年度	47.7	50.5	-2.8
	平成19年度	60.0	62.0	-2.0	

			平均正答率(%)		全国と高知県の差
			高知県(公立)	全国(公立)	
算数	A	平成23年度	82.3		
		平成22年度	75.3	74.2	1.1
		平成21年度	76.4	78.7	-2.3
		平成20年度	72.6	72.2	0.4
		平成19年度	81.6	82.1	-0.5
	B	平成23年度	46.2		
		平成22年度	48.2	49.3	-1.1
		平成21年度	52.1	54.8	-2.7
		平成20年度	49.3	51.6	-2.3
	平成19年度	60.7	63.6	-2.9	

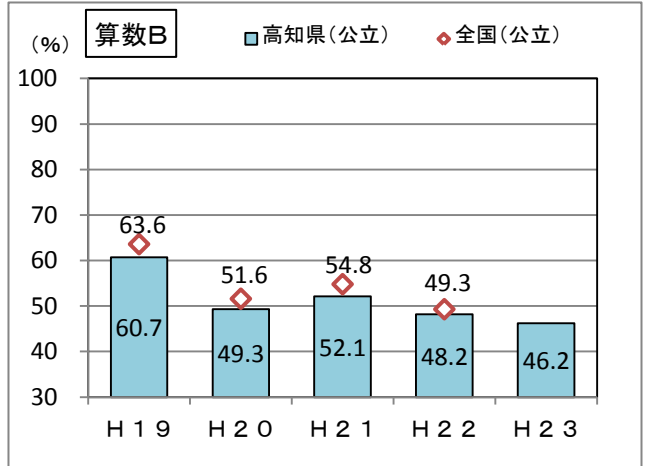
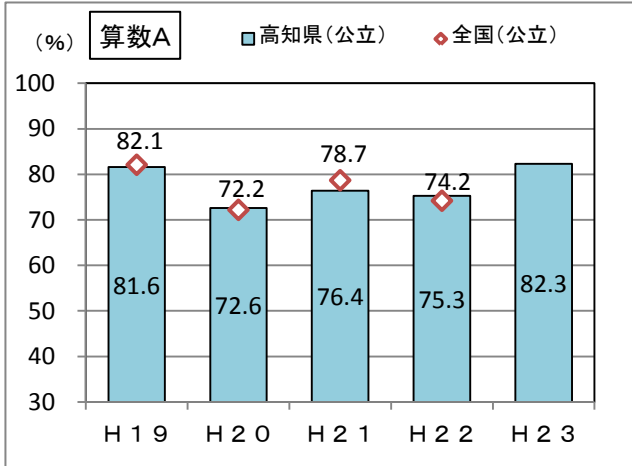
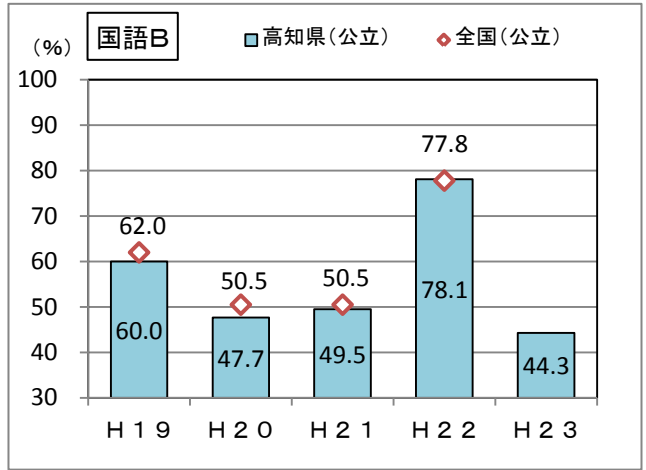
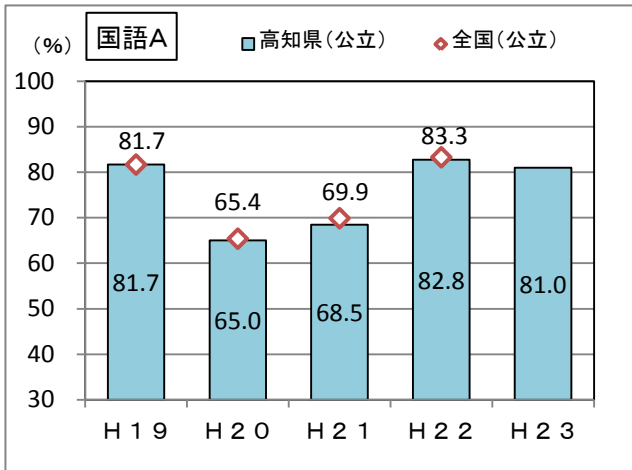
中学校

			平均正答率(%)		全国と高知県の差
			高知県(公立)	全国(公立)	
国語	A	平成23年度	78.5		
		平成22年度	72.6	75.1	-2.5
		平成21年度	74.2	77.0	-2.8
		平成20年度	70.0	73.6	-3.6
		平成19年度	78.1	81.6	-3.5
	B	平成23年度	61.0		
		平成22年度	61.0	65.3	-4.3
		平成21年度	69.8	74.5	-4.7
		平成20年度	54.7	60.8	-6.1
	平成19年度	64.0	72.0	-8.0	

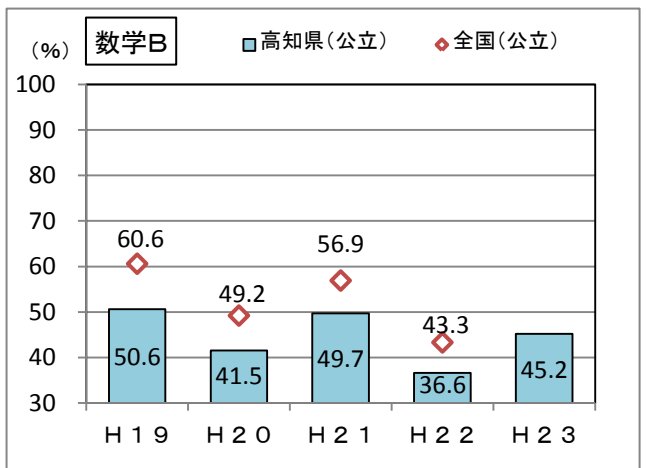
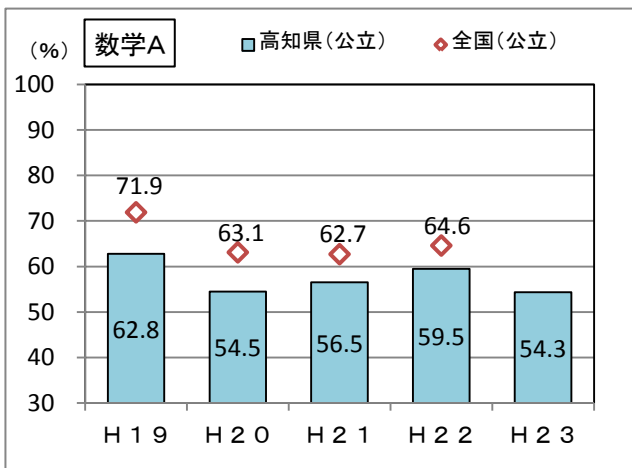
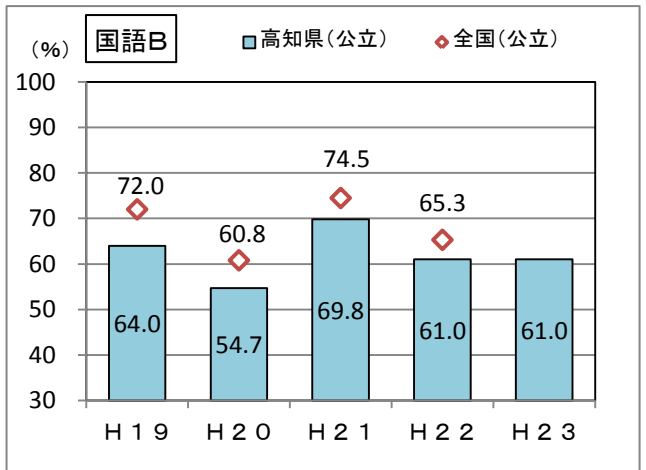
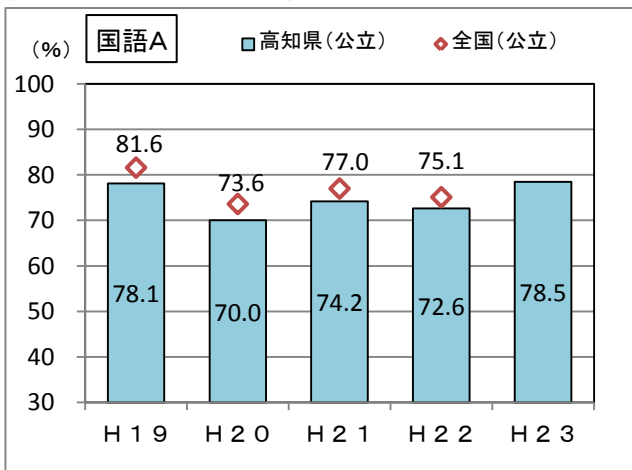
			平均正答率(%)		全国と高知県の差
			高知県(公立)	全国(公立)	
数学	A	平成23年度	54.3		
		平成22年度	59.5	64.6	-5.1
		平成21年度	56.5	62.7	-6.2
		平成20年度	54.5	63.1	-8.6
		平成19年度	62.8	71.9	-9.1
	B	平成23年度	45.2		
		平成22年度	36.6	43.3	-6.7
		平成21年度	49.7	56.9	-7.2
		平成20年度	41.5	49.2	-7.7
	平成19年度	50.6	60.6	-10.0	

※平成22年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

小学校(平均正答率)



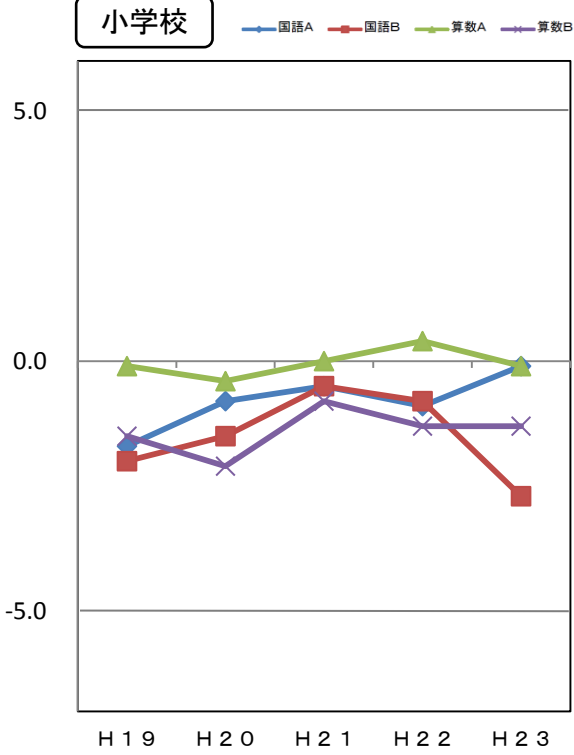
中学校(平均正答率)



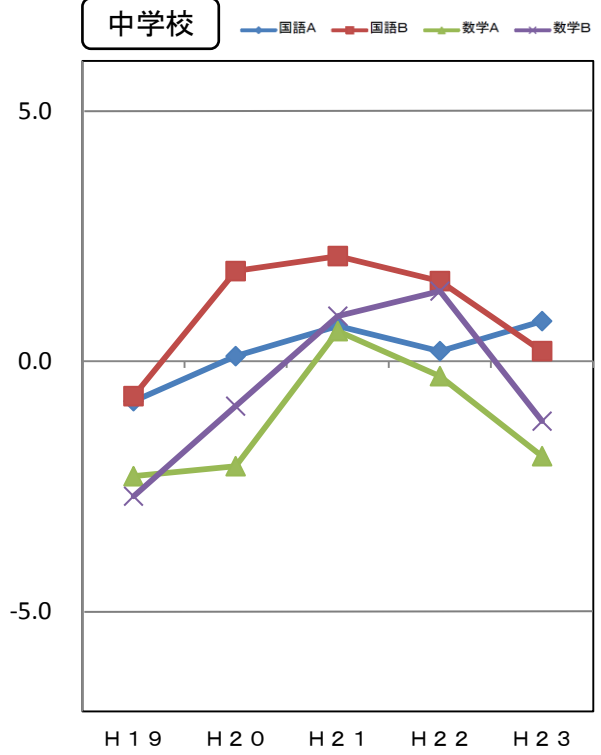
[県平均正答率との差(地区別グラフ)]

東部教育事務所

小学校

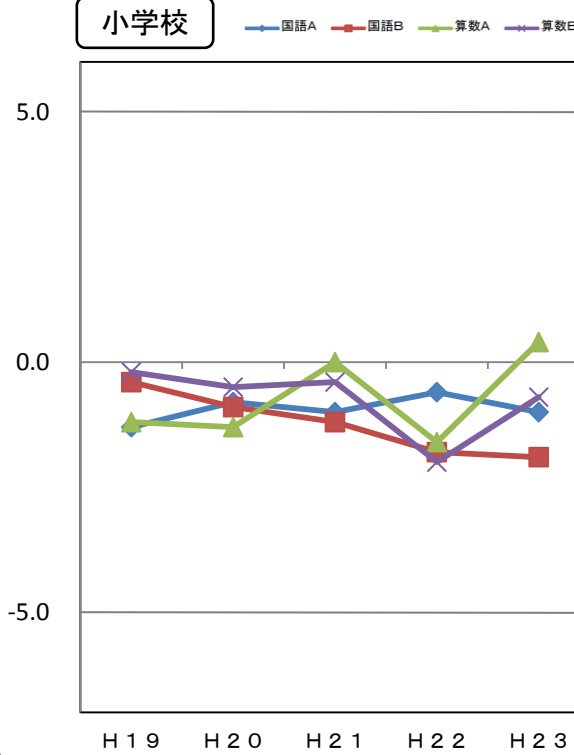


中学校

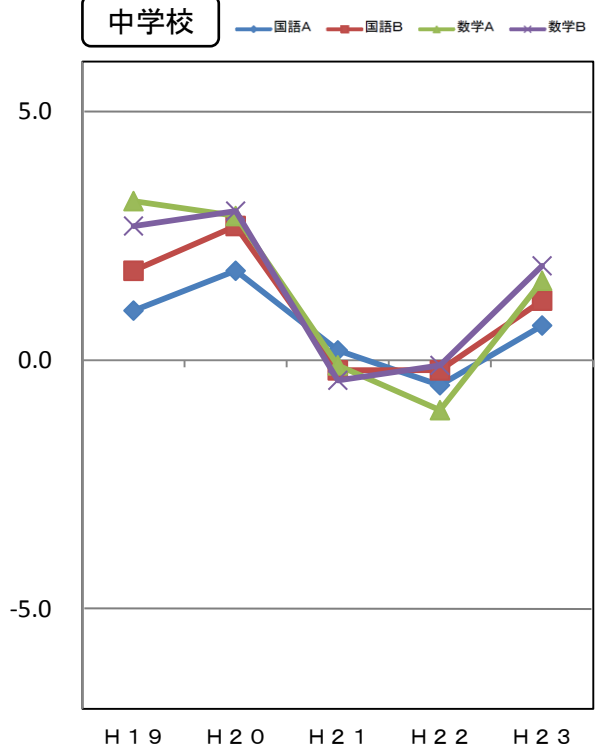


中部教育事務所

小学校

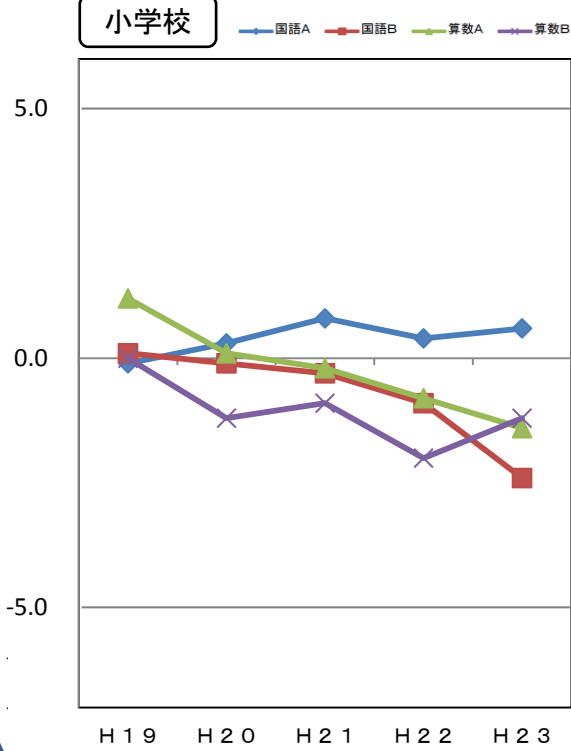


中学校

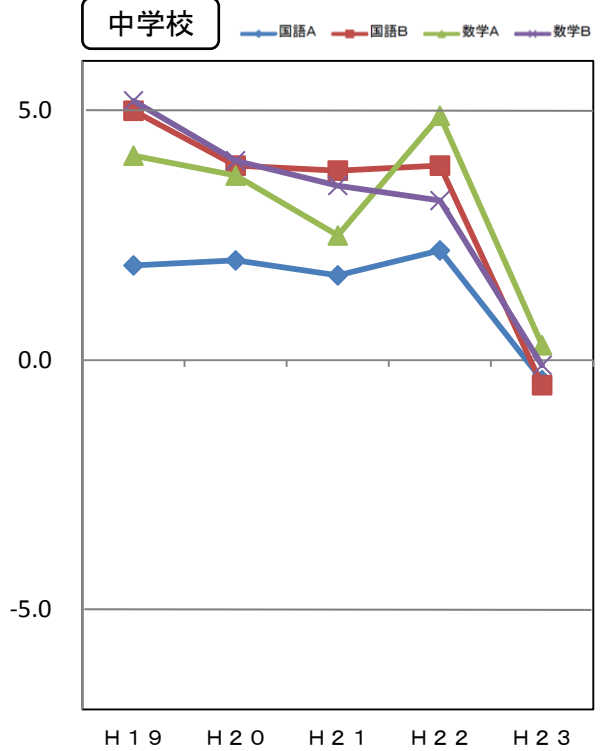


西部教育事務所

小学校

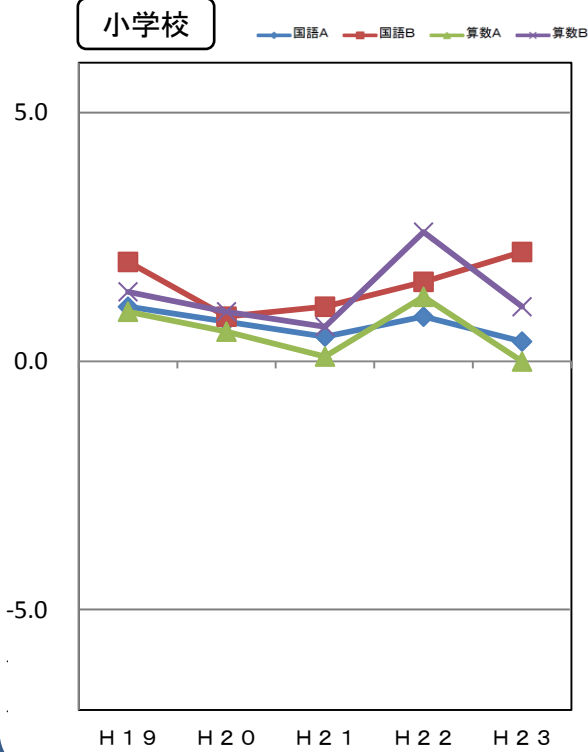


中学校

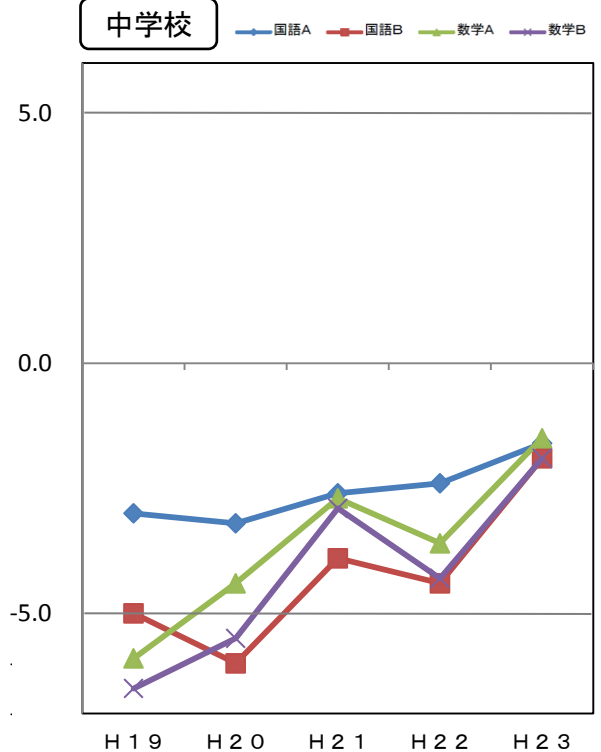


高知市

小学校



中学校



3 教科に関する調査結果

小学校

【国語】

- 国語A（知識）の平均正答率は81.0%で、例えば、次のような課題が見られた。
 - ・文の中における複数の主語と述語とを照応すること [2] 64.0%
 - ・目的や意図に応じ、表現の効果を考えて書き換えること [5] 45.4%
 - ・国語辞典を利用して語句を調べる方法を理解すること [8] 67.7%
- 国語B（活用）の平均正答率は44.3%で、例えば、次のような課題が見られた。
 - ・互いの考えの共通点と相違点を考え、司会の役割を果たしながら計画的に話し合うこと [1]ニ(1)イ 32.9%
 - ・目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと [2]ニ 25.2%
 - ・資料を比べて読み、互いの考えを交流することで、優れた叙述を多面的に捉えること [3]一イ 26.4%

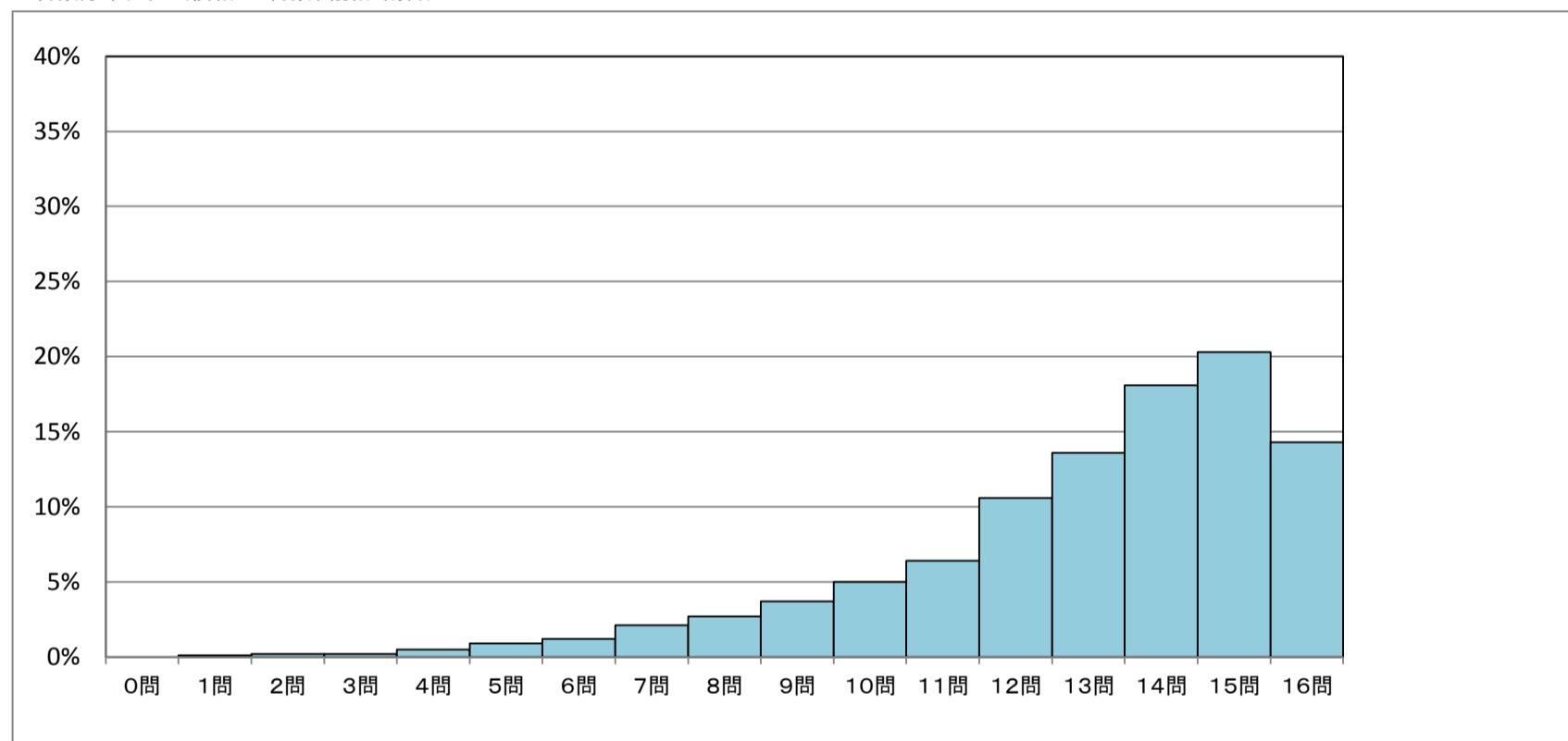
平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査
調査結果概況 [国語A 主として知識]
高知県一児童(公立)

小学校調査

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	6,415	13.0/16	81.0	14.0	2.7

正答数集計値 (割合(%))	
0問	0.0
1問	0.1
2問	0.2
3問	0.2
4問	0.5
5問	0.9
6問	1.2
7問	2.1
8問	2.7
9問	3.7
10問	5.0
11問	6.4
12問	10.6
13問	13.6
14問	18.1
15問	20.3
16問	14.3

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



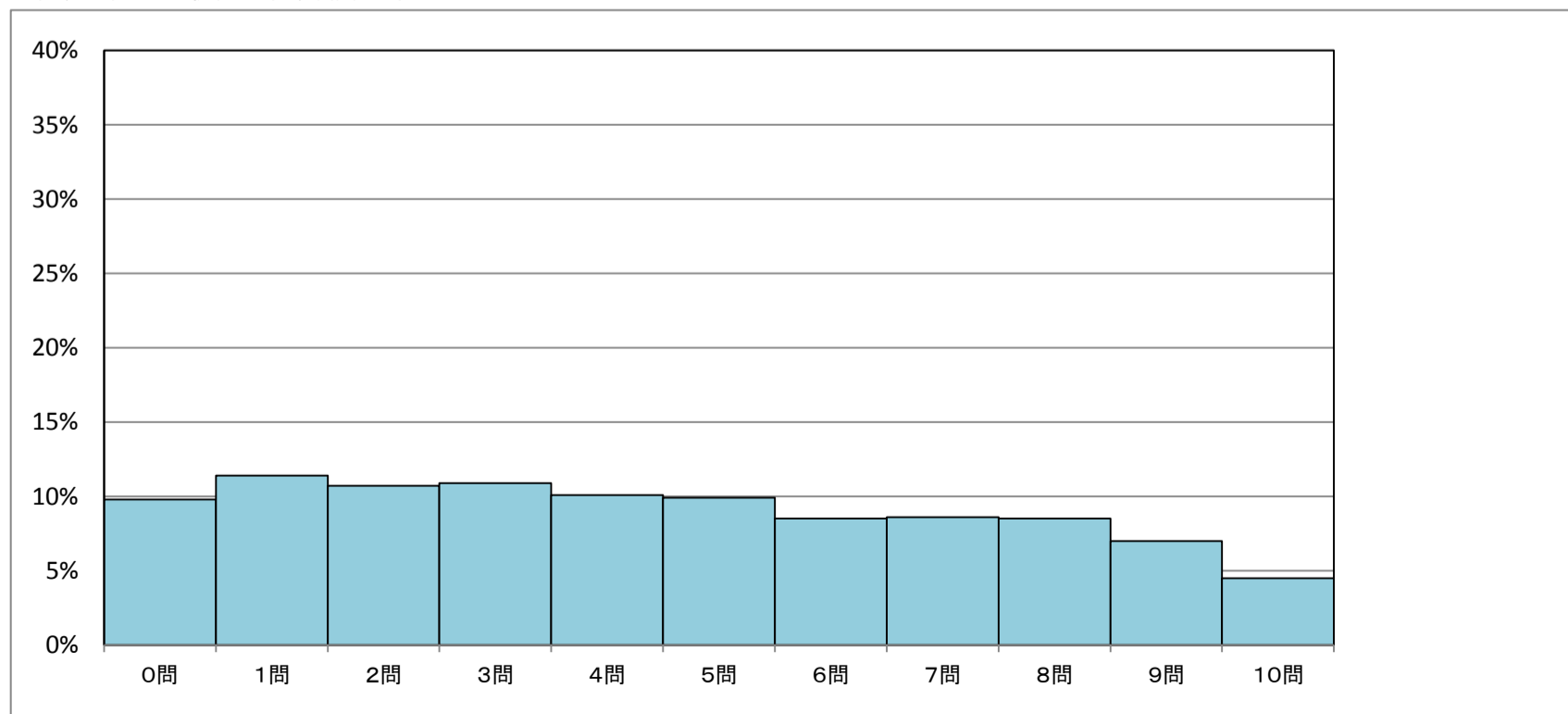
平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査
調査結果概況 [国語B 主として活用]
高知県一児童(公立)

小学校調査

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	6,412	4.4/10	44.3	4.0	3.0

正答数集計値 (割合(%))	
0問	9.8
1問	11.4
2問	10.7
3問	10.9
4問	10.1
5問	9.9
6問	8.5
7問	8.6
8問	8.5
9問	7.0
10問	4.5

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

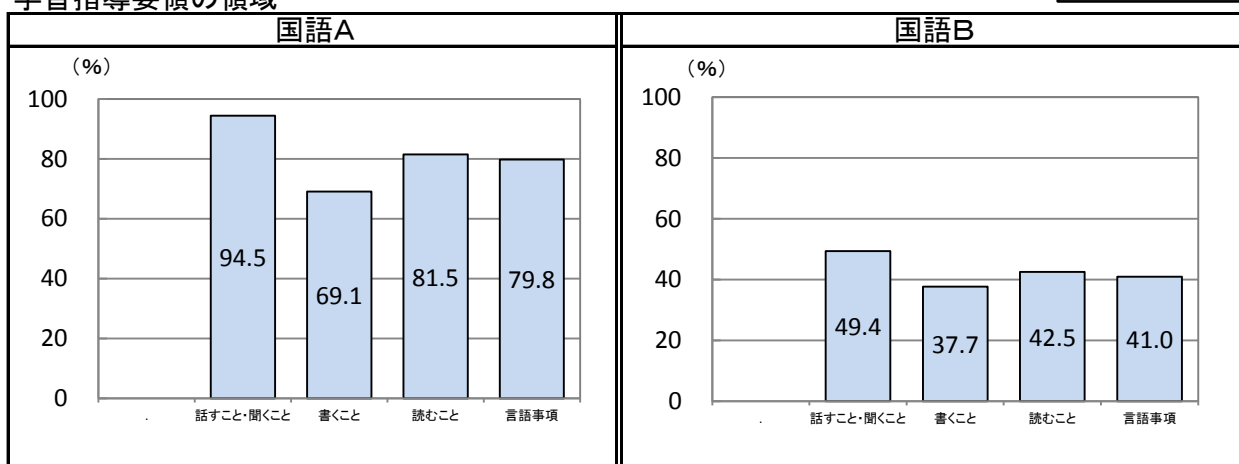


【分類・区別の状況】

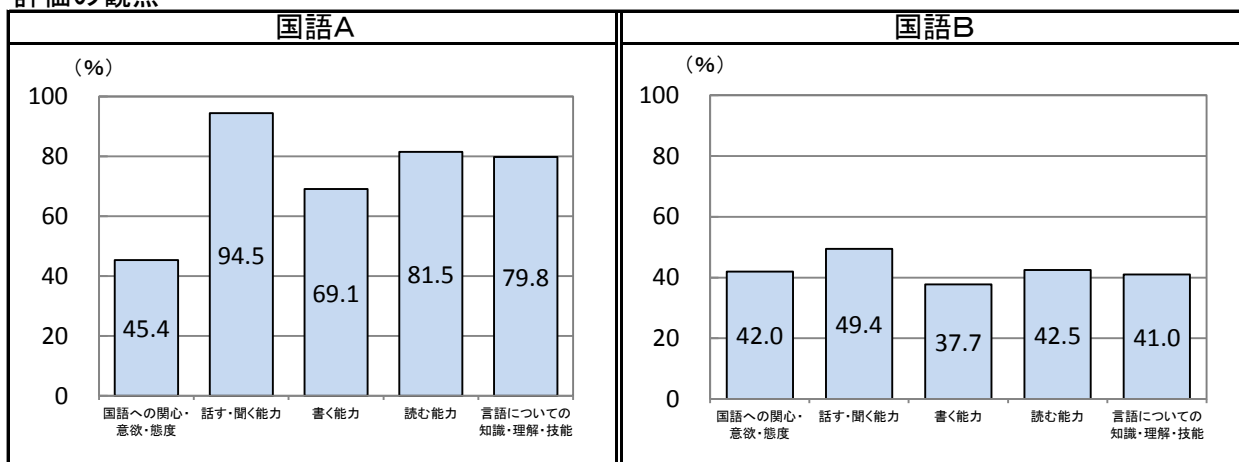
- 領域別では、国語A（知識）、国語B（活用）とも「書くこと」の平均正答率が最も低い。
- 観点別では、国語A（知識）、国語B（活用）とも「国語への関心・意欲・態度」の平均正答率がこれまでの調査の中で最も低い。
- 問題形式別では、国語B（活用）の短答式、記述式の平均正答率がこれまでの調査の中で最も低い。

学習指導要領の領域

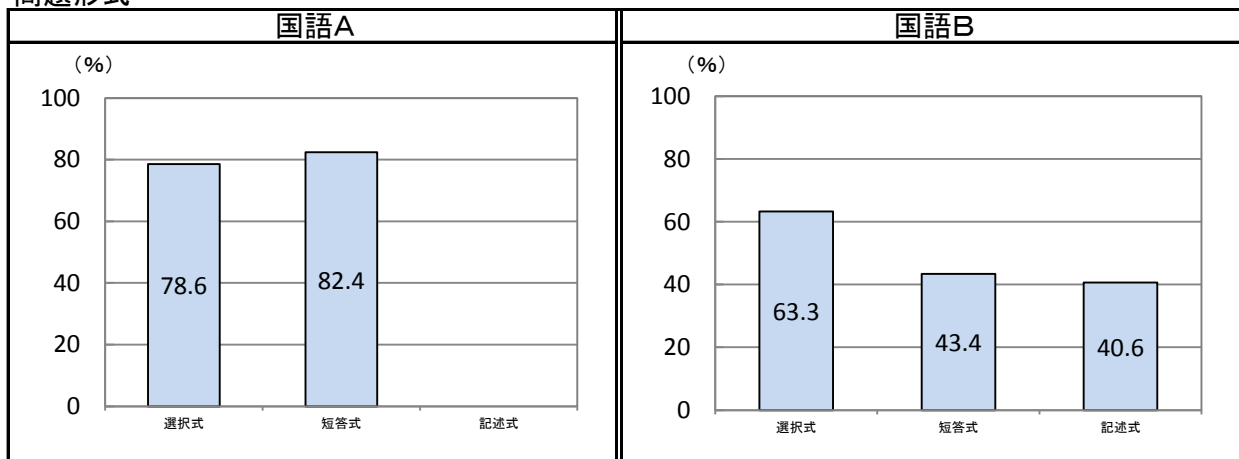
23高知



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果 小学校（国語）】

■国語A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	正答率	無解答率
					高知県	高知県
1一(1)	漢字を読む(音楽室に移動する。)	言	言	短答式	99.0	0.3
1一(2)	漢字を読む(すばらしい演技におどろく。)	言	言	短答式	96.6	0.4
1一(3)	漢字を読む(むだを省くようにする。)	言	言	短答式	84.6	3.2
1二(1)	漢字を書く(庭にうめの木を植える。)	言	言	短答式	93.7	2.0
1二(2)	漢字を書く(カラスの数が[ひじょう]に多い。)	言	言	短答式	70.2	7.1
1二(3)	漢字を書く(部屋のおんどもを記録する。)	言	言	短答式	93.7	1.4
2	文の中における複数の主語の述語に当たるものをそれぞれ選択する	言	言	選択式	64.0	0.5
3	スピーチの内容の取り上げ方のよいところを説明したのとして適切なものを選択する	話	話	選択式	94.5	0.0
4	文と文、段落と段落との接続関係が整うように適切な言葉をそれぞれ選択する	書/言	書/言	選択式	72.5	0.0
5	主語を置き換えて記事の下書きを書き直す	書/言	関/書/言	短答式	45.4	2.3
6一	新聞記事の構成を説明したのとして適切なものを選択する	読	読	選択式	83.5	1.2
6二	新聞記事の中で問題となっている事実を捉えて書く	読	読	短答式	79.8	7.8
7	ちようちよとハンカチの関係を押さえ、感想の一部に適切な言葉を抜き出して書く	読/言	読/言	短答式	81.1	3.9
8一	四つの言葉の中から国語辞典に最初に出てくる言葉を選択する	言	言	選択式	67.7	2.7
8二	国語辞典を利用して調べる言葉を言い切りの形に直して書く	言	言	短答式	79.5	6.4
9	お礼の手紙の下書きの書き直し方を説明したのとして適切なものを選択する	書/言	書/言	選択式	89.3	4.7

■国語B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	正答率	無解答率
					高知県	高知県
1一	記録係として発言を聞き、理由と意見を整理して簡潔に書く	話/言	関/話/言	短答式	47.4	14.9
1二(1)ア	司会として発言を聞き、意見の共通点と相違点を整理して書く	話	関/話	記述式	54.0	4.7
1二(1)イ	司会として発言を聞き、意見の共通点と相違点を整理して書く	話	関/話	記述式	32.9	6.3
1二(2)	司会の発言の意図を説明したのとして適切なものを選択する	話	話	選択式	63.3	5.8
2一	提案に対する相手の意見を取り入れて、自分の考えについての理由を書く	書/言	関/書/言	記述式	50.3	8.2
2二	提案に対する相手の意見を取り下げて、自分の考えと理由を書く	書/言	関/書/言	記述式	25.2	16.2
3一ア	二つの伝記を比べて読み、登場人物の心情を表している言葉や文を抜き出して書く	読	読	短答式	65.8	13.6
3一イ	二つの伝記を比べて読み、登場人物の心情を表している言葉や文を抜き出して書く	読	読	短答式	26.4	25.1
3二ウエ	二つの伝記を比べて読み、それぞれの書き手を適切に選択して書いたり、植村直己を表す言葉をそれぞれぬき出して書いたりする	読	読	短答式	36.3	27.5
3二オカ	二つの伝記を比べて読み、それぞれの書き手を適切に選択して書いたり、植村直己を表す言葉をそれぞれぬき出して書いたりする	読	読	短答式	41.4	33.8

【課題】

- 司会として話し合いが計画的に進められるように、互いの考えの共通点と相違点に着目し、意見を整理する力が身に付いていない。
- 目的や意図に応じて、示された条件に即して自分の考えを効果的に書く力が身に付いていない。
- 資料を比べて読み、優れた叙述を多面的に捉えたり、自分の考えを深めたりする力が身に付いていない。
- 主語と述語との照応、国語辞典の使い方が身に付いていない。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の児童が理解できている内容 ◆課題がある内容 [] 設問番号>

話し合い・聞く	◇ 相手や目的に応じて、自分の考えが明確に伝わるように内容を選んで話すことについては、相当数の児童ができています。 [A3]
	◆ 話し手の意図を捉えながら聞き、意見と理由をまとめることに課題がある。 [B1一]
	◆ 司会の役割を果たしながら計画的に話し合うことに課題がある。 [B1二]
書く	◇ 相手や目的に応じ、敬体と常体との違いに注意して書くことについては、相当数の児童ができています。 [A9]
	◆ 目的や意図に応じ、表現の効果を考えて書き換えることに課題がある。 [A5]
	◆ 目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くことに課題がある。 [B2]
読む	◇ 必要な情報を得るために、新聞記事を効果的に読むことについては、相当数の児童ができています。 [A6]
	◇ 詩の情景について、叙述を基に想像しながら読むことについては、相当数の児童ができています。 [A7]
	◆ 資料を比べて読み、互いの考えを交流することで、優れた叙述を多面的に捉えることに課題がある。 [B3一]
	◆ 資料を比べて読み、書き手の違いや書き表し方の特徴に着目して、自分の考えを深めることに課題がある。 [B3二]
言語事項	◇ 今回出題された漢字の読みと書きについては、相当数の児童ができています。 [A1]
	◆ 文の中における複数の主語と述語とを照応することに課題がある。 [A2]
	◆ 国語辞典を利用して語句を調べる方法を理解することに課題がある。 [A8一]

【正答率が高い問題】

A 1一(1) 漢字の読み(移動)	[99.0%]
A 1一(2) 漢字の読み(演技)	[96.6%]
A 3 自分の考えが明確に伝わるように話す	[94.5%]
A 1二(1) 漢字の書き(うめ)	[93.7%]
A 1二(3) 漢字の書き(おんど)	[93.7%]

【正答率が低い問題】

B 2二 自分の考えを効果的に書く	[25.2%]
B 3一イ 登場人物の心情を適切に捉える	[26.4%]
B 1二(1)イ 意見の共通点と相違点を整理して書く	[32.9%]
B 3二カ 二つの資料を書き手の違いに着目して読む	[36.3%]
B 3二カ 二つの資料を書き表し方の特徴に着目して読む	[41.4%]

小学校指導改善のポイント

- ① 課題が見られる設問について、出題の趣旨と学習指導要領における領域・内容を確認し、育成を目指す言語能力を明確にする。
- ② 解説資料（H23年9月 国立教育政策研究所）の解答類型を参考にして、誤答の傾向を分析する。
- ③ 解説資料に示された「学習指導に当たって」（大問ごとに提示）や授業アイデア例（国立教育政策研究所）を参照し、授業に取り入れる。
- ④ 過去の調査における類似問題や高知県国語学習シート、高知県国語指導改善資料集などを活用する。
- ⑤ 児童質問紙及び学校質問紙調査の教科関連項目の結果を分析し、指導改善に生かす。

【課題が見られる設問の例】 B問題③ーイ 伝記を読んで自分の考えを深める（植村直己）

① 《出題の趣旨》

資料を比べて読み、互いの考えを交流することで、優れた叙述を多面的に捉えることができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

C読むこと（第5学年及び第6学年）

ウ 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと。

→学習指導要領（平成20年告示）

C読むこと（第5学年及び第6学年）

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

調査問題と学習指導要領とを対応させて考えることが大事です。



② 解答類型

		高知県 (%)	正答
1	「私は必死だった (。)」などと解答しているもの	26.4	◎
9	上記以外の解答	48.5	
0	無解答	25.1	

全国学力・学習状況調査

③ 【授業アイデア例】

平成23年度 小学校国語の調査問題を踏まえた授業アイデア例

高知県の解答類型を見ると無解答が多いので、書き手や書き表し方の違いに着目させ、その違いを児童が交流する中で、様々な発見をしていくような授業展開が大切です。



例1 自伝(書き手:本人)と評伝(書き手:第三者)とを比べて読み、書き手や書き表し方の特徴を捉える。

1 自伝と評伝とを比べて読み、同じような場面を描写している箇所を対応させた上でラインマーカーを引く。
例:平成23年度調査B回「植村直己」の2作
【資料1】、【資料2】

2 ラインマーカーを引いた箇所の中で、同じような内容についての描写を簡潔にカードに書き出す。

3 人物の行動や心情の描写に注目して、サイドラインを引きながら、自伝と評伝の違いについて話し合う。

4 自伝と評伝の書き手の違いや書き表し方の特徴についてまとめる。

【書き表し方の特徴をカードにして整理した板書の例】

	ラジオ体操をしている場面	子どもたちと対面している場面	
他の人が書いた伝記	④ 事実をそのまま書いていく。 「面己のまねをはじめた。」	③ 司令は日本語である。 「事実をそのまま書いている。」	① 直己が本人以外の人
本人が書いた伝記	② 事実をそのまま書いていく。 「本人が考えたこと(こころ)を書いている。」	② 事実をそのまま書いている。 「日本語などわかるはずもない。」	② 私

人物の呼び方に注目すると、「私が」(一人称)と「直己が」(三人称)という表現のちがいを発見することができ、書き手である人物が分かります。

人物の行動や心情の描写としては、自分が見たり考えたりしたのか、他者が見たり考えたりしたのかという視点のちがいによって表現は変わります。

③ 【授業アイデア例】

平成 23 年度 小学校国語の調査問題を踏まえた授業アイデア例

例2 伝記を比べて読み、書き手の違いによる人物の見方・考え方などをまとめて交流する。

第一次

- これまでに読んだ伝記の中で心に残っている人物について話し合う。
- 自伝や評伝などの違いや、評伝でも複数の書き手が存在することを話し合う。
- 学習課題「伝記の書き手のちがいによる、人物の見方や考え方、エピソードの取り上げ方のちがいを比べて読む」を設定し、学習計画を立てる。

第二次

- 興味のある人物ごとにグループを作り、書き手の違う伝記を分担して読み、伝記の人物についてのエピソードや、書き手の見方・考え方などをワークシートにまとめる。

第三次

- ワークシートにまとめた内容を、グループや全体で交流する。
- 伝記の人物を捉えるために書き手に注目して読んだり、自分の知識・経験などと重ねて評価しながら読んだりすることが大切であることをまとめる。

【伝記を読んでまとめたワークシートの例】

まとめ書き手に注目して

書き手が取り上げたエピソードの中心は何か、伝記の人物を全体としてどのように見ているかなどを書く。

エピソード①書き手の見方・考え方
エピソード②書き手の見方・考え方
エピソード③書き手の見方・考え方

○伝記の人物に対する書き手の見方・考え方を複数のエピソードと対応させながら表などにまとめて書く。

○いつ、どこで、どのようなことが起り、誰と出会ったか、どのような環境の変化があったのかなどを時間の流れに沿って書く。

○伝記の人物に対しての書き手の見方・考え方について

評伝の場合であれば、伝記の人物とどのような関係であるかなどを書く。

伝記の人物

書き手

(自伝・評伝)

【書き手の違いに注目した読み方の工夫の例】

①自伝(書き手:本人)

自伝は、本人が書いたものなので、自分も同じような気持ちになって、書き手と対話するように読み進めることができます。

読者

伝記の人物 = 書き手

②評伝(書き手:第三者)

評伝は、書き手と伝記の人物の関係や、書き手の見方・考え方に気を付けながら読み進めることが大切です。

読者

伝記の人物

書き手

第三者である書き手

留意点

伝記は、エピソードを物語るために文学的な描写が用いられるだけでなく、人物の生き方などを評価するために説明の表現も用いられるという特徴がある。そのため、「説明的な文章」と「文学的な文章」のそれぞれの読むことの能力が必要となる。伝記の表現方法の特徴は、小学校学習指導要領解説国語編(平成20年告示)の〔第5学年及び第6学年〕の「B書くこと」の言語活動例で取り上げている「随筆」の表現方法と共通性がある。伝記を読むことを通して学んだ表現方法を、随筆を書くことに活用できるようにすることが重要である。

③ 【平成 23 年度解説資料】

P. 52 学習指導に当たって

- (1) 読書のジャンルの一つとして伝記を読む
◇読書のジャンルの一つとして、伝記を読むことが重要である。伝記は、文学的な文章と説明的な文章のそれぞれの特徴をもっている。取り上げられた人物の事実や事件などを時系列に押さえて読むことと、人物が感じたり考えたりしたことなどを想像しながら読むことができるように指導することが大切である。
- (2) 自伝や評伝を比べて読む
- (3) 自らの生き方を振り返って考えを深める

④ 【過去の調査における類似問題】

- 平成 22 年度
A③ 「たったひとりの伝説」
B② 「つりずきの宇宙人」
- 平成 20 年度
B② 「椋鳩十 母グマ子グマ」
- 平成 19 年度
A⑩ 「ローワンと魔法の地図」

様々な本や文章を取り上げて指導することが大切です。



④

国語指導改善資料集

・ P. 60~67 第 6 学年
「伝え合おう 心に残ったこと」

国語学習シート

- 107 文章を読み比べよう
- 109 確認テスト
- 129 確認テスト

図書リストブックの中で紹介している伝記

- 〔小学生版〕
- ・「龍馬の夢」(小西聖一 理論社)
 - ・「岩崎弥太郎」(小西聖一 理論社)
 - ・「リンカーン大統領のせいじつなこば エイブラハム・リンカーンの生涯」(ラバポート・ドリーマン 国土社)
 - ・「正確な日本地図を信念と歩測だけでつくった男 伊能忠敬」(藤みき生 集英社)
 - ・「アイザック・ニュートン」(フィリップ・スティール B L出版)
 - ・「マリリー・キュリー」(フィリップ・スティール B L出版)
 - ・「雪の写真家 ベントレー」(ジャククリーン・ブリッグズ・マーティン B L出版)



図書リストブック
『きつとあるキミの心にひびく本』
平成 22 年 11 月 高知県教育委員会

⑤ P. 30~31 「教科に関する質問紙調査より」を参照

【算数】

○ 算数A（知識）の平均正答率は82.3%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・はかりの目盛りを読むこと [3](1) 69.3%
- ・百分率の意味について理解すること [9] 52.6%

○ 算数B（活用）の平均正答率は46.2%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・小数倍の意味に基づいて、2量の関係性を正しく表している図を選択し、その理由を記述すること 2 13.1%
- ・示された操作の意味を理解し、できた図形の形と大きさを判断して、それを記述すること 3 14.0%
- ・比較量の大小判断について、示された判断が正しい理由を記述すること [4](3) 9.2%

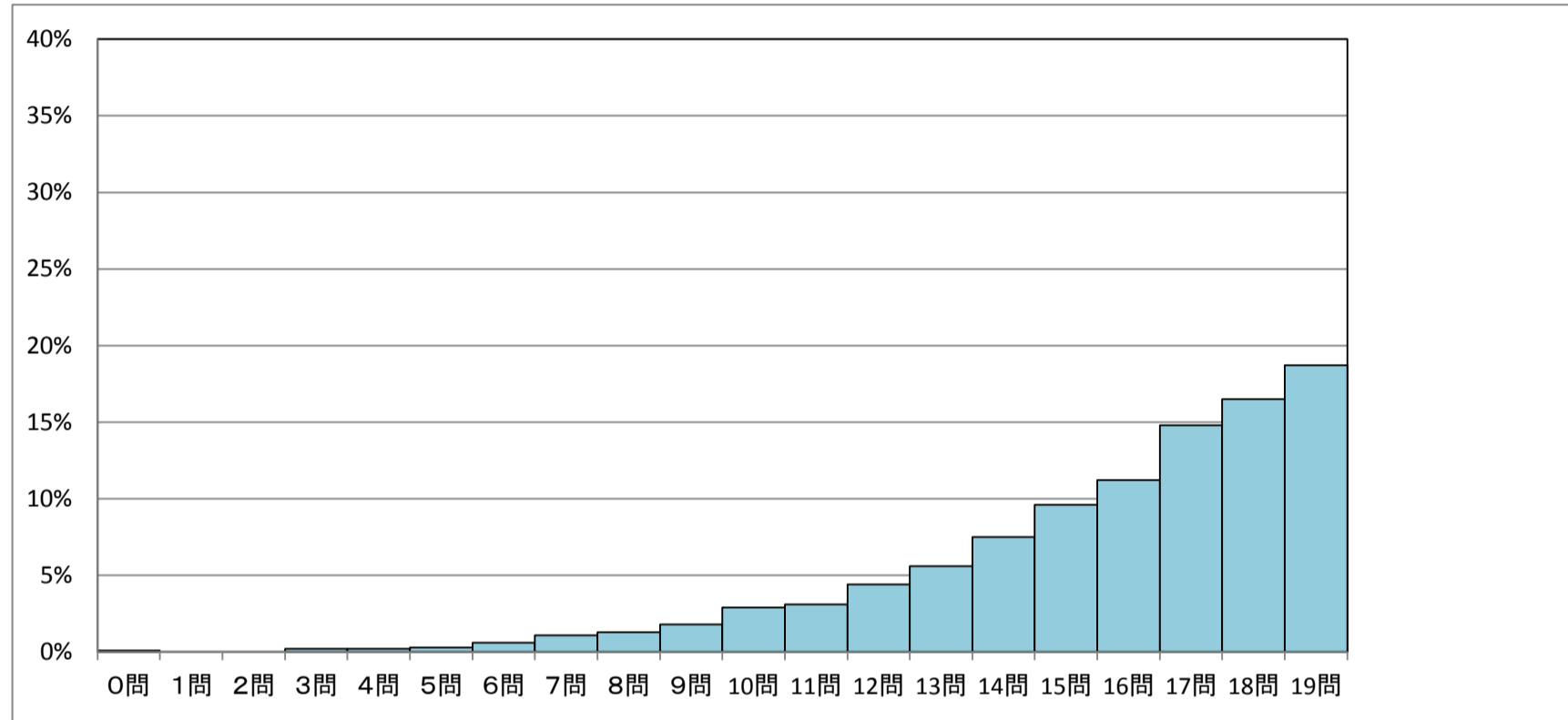
平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査
調査結果概況 [算数A 主として知識]
高知県一児童(公立)

小学校調査

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	6,415	15.6/19	82.3	16.0	3.2

正答数集計値 (割合%)	
0問	0.1
1問	0.0
2問	0.0
3問	0.2
4問	0.2
5問	0.3
6問	0.6
7問	1.1
8問	1.3
9問	1.8
10問	2.9
11問	3.1
12問	4.4
13問	5.6
14問	7.5
15問	9.6
16問	11.2
17問	14.8
18問	16.5
19問	18.7

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



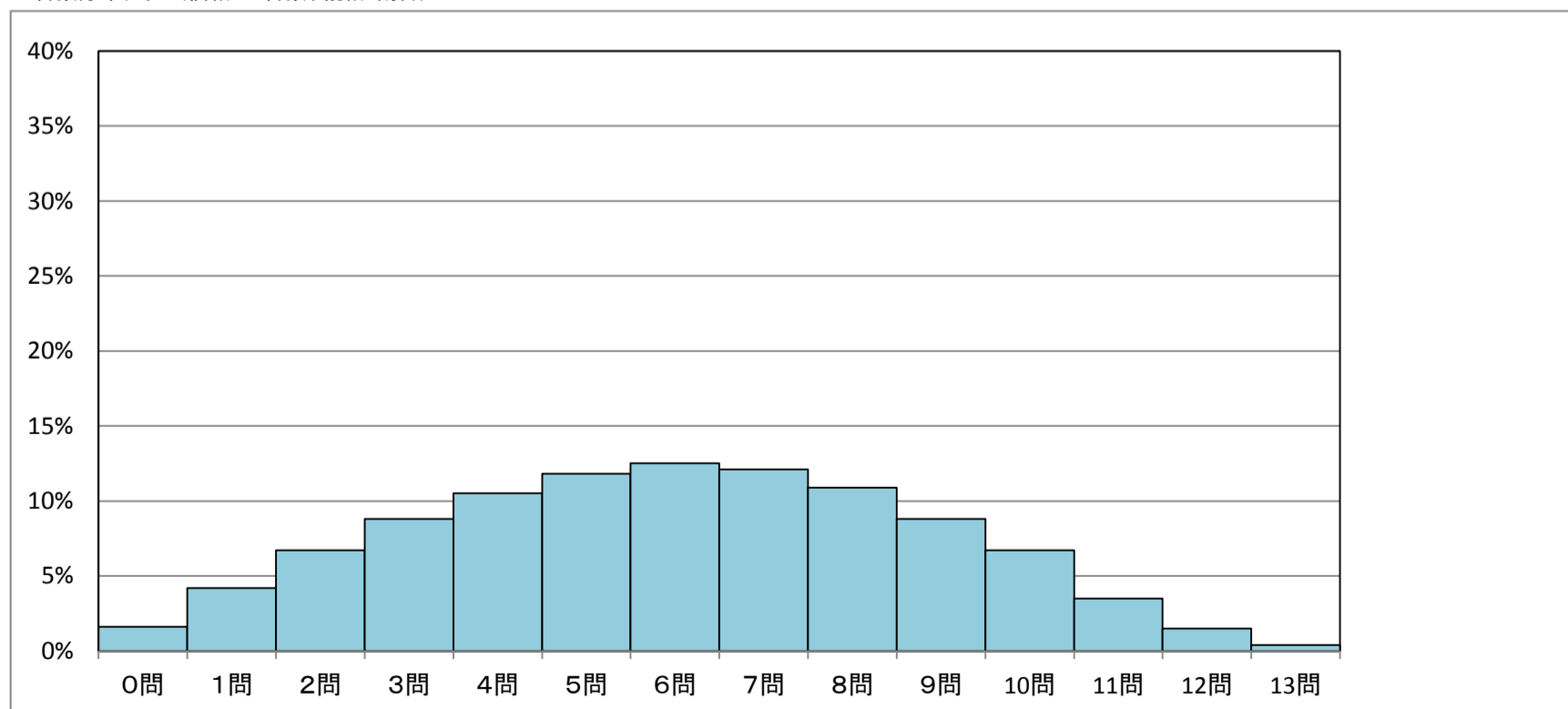
平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査
調査結果概況 [算数B 主として活用]
高知県一児童(公立)

小学校調査

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	6,407	6.0/13	46.2	6.0	2.8

正答数集計値 (割合%)	
0問	1.6
1問	4.2
2問	6.7
3問	8.8
4問	10.5
5問	11.8
6問	12.5
7問	12.1
8問	10.9
9問	8.8
10問	6.7
11問	3.5
12問	1.5
13問	0.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

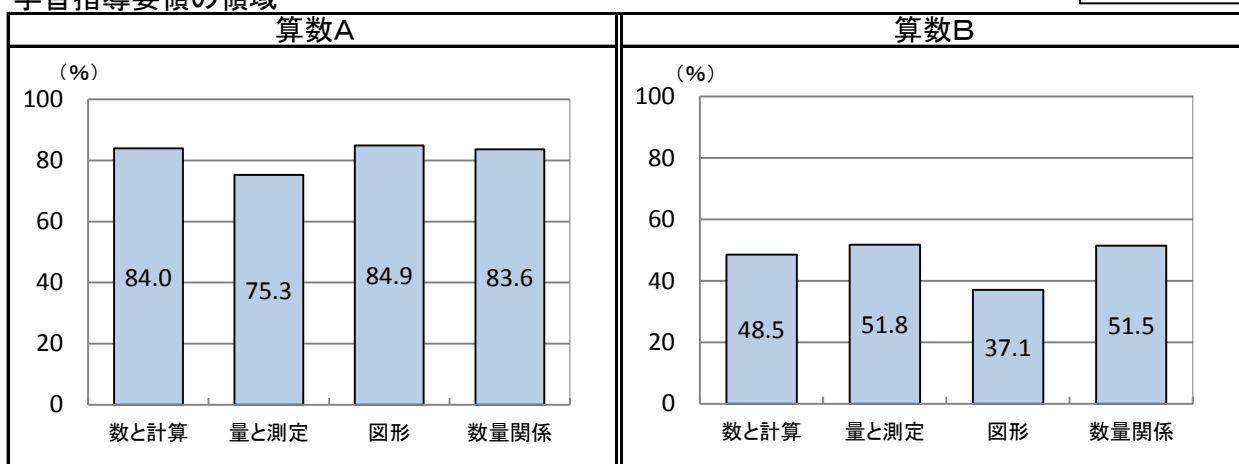


【分類・区分別の状況】

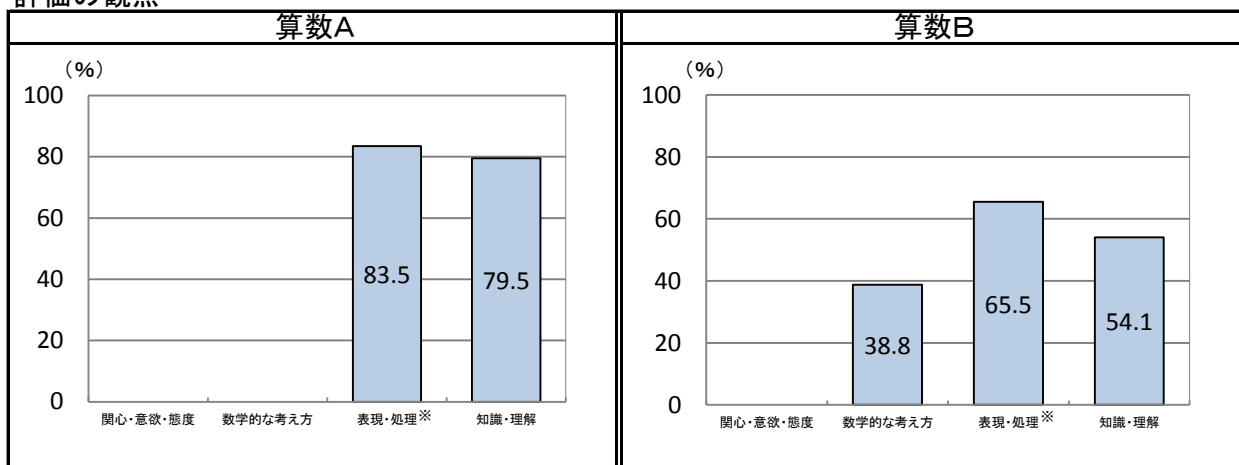
- 領域別では、算数B（活用）の「図形」の平均正答率がこれまでの調査の中で最も低い。
- 観点別では、算数B（活用）の「数学的な考え方」の平均正答率がこれまでの調査の中で最も低い。
- 問題形式別では、算数B（活用）の記述式の平均正答率がこれまでの調査の中で最も低い。

学習指導要領の領域

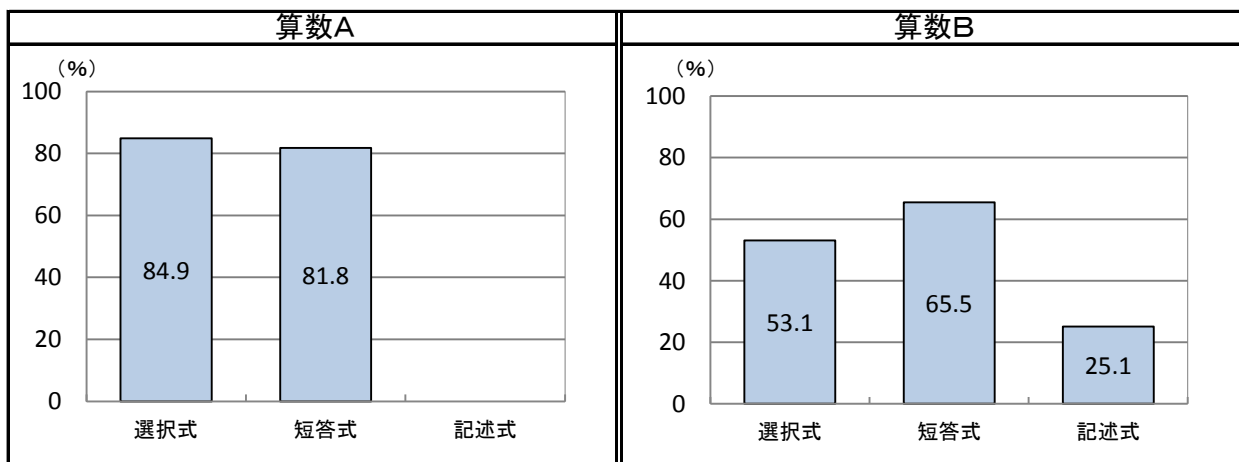
■ 23高知



評価の観点



※「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について」(平成22年5月11日付け文部科学省初等中等教育局長通知)では、数量や図形についての技能。



【設問別集計結果 小学校（算数）】

■算数A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	正答率	無解答率
					高知県	高知県
1(1)	806-9を計算する	数と計算	表現・処理	短答式	89.6	0.1
1(2)	13.9×7を計算する	数と計算	表現・処理	短答式	85.2	0.2
1(3)	12÷0.6を計算する	数と計算	表現・処理	短答式	78.7	0.6
1(4)	8×4-2×5を計算する	数量関係	表現・処理	短答式	88.1	0.3
1(5)	5×(2+3)を計算する	数量関係	表現・処理	短答式	94.2	0.3
1(6)	1と2/7-4/7を計算する	数と計算	表現・処理	短答式	90.1	1.0
1(7)	1/4+2/5を計算する	数と計算	表現・処理	短答式	82.1	1.0
2(1)	十万四百八を数字で書く	数と計算	表現・処理	短答式	85.5	0.2
2(2)	7.35=7+●/100の●に当てはまる数を書く	数と計算	知識・理解	短答式	85.9	0.9
2(3)	1、3、5、7の4枚のカードを使ってつくることのできる、5000 にいちばん近い整数を書く	数と計算	表現・処理	短答式	75.3	1.4
3(1)	はかりが示された場面で、目盛りを読む	量と測定	表現・処理	短答式	69.3	0.3
3(2)	9時50分から11時15分までの時間を求める	量と測定	表現・処理	短答式	73.1	0.3
4	底辺7cm、高さ3cm、斜辺4cmの平行四辺形の面積を求める式と答えを書く	量と測定	知識・理解	短答式	73.6	0.8
5(1)	直方体の面の大きさを選ぶ	図形	知識・理解	選択式	86.8	0.2
5(2)	縦7cm、横5cm、高さ2cmの直方体の体積を求める式と答えを書く	量と測定	知識・理解	短答式	85.4	1.1
6	方眼紙上にかかれた6つの四角形の中から、ひし形を2つ選ぶ	図形	知識・理解	選択式	92.9	0.2
7	2つの合同な四角形について、一方を回して置いた場合に、対応する角を選ぶ	図形	表現・処理	選択式	75.0	0.4
8	棒グラフを読み、子どもの人数が最も多い学校名を書く	数量関係	表現・処理	短答式	99.5	0.3
9	100人のうち40%が女子のとき、女子の人数と求める式を書く	数量関係	知識・理解	短答式	52.6	2.7

■算数B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	正答率	無解答率
					高知県	高知県
1(1)	直方体の箱の3辺の合計を求め、そのときの荷物サイズを表から読み取る	数と計算 量と測定 数量関係	数学的な考え方	短答式	65.7	0.8
1(2)	荷物の3辺の合計と重さが示された場合に、送料を求め、どのようにして求めたのかその考えを書く	量と測定 数量関係	数学的な考え方	記述式	38.0	2.4
2(1)	2分音符の長さは、8分音符の長さの何倍かを書く	数と計算	表現・処理	短答式	60.6	0.3
2(2)	2分音符と付点2分音符の長さの関係を正しく表している図を選び、その図が正しいわけを書く	数と計算	数学的な考え方	記述式	13.1	1.7
3(1)	正方形の作り方の図を見て、どの部分が同じになっているか、辺と角をそれぞれ選ぶ	図形	数学的な考え方	選択式	43.3	0.0
3(2)	正方形であることを紙を折って確かめるときに、その折り方で何を確かめたことになるのかを選ぶ	図形	知識・理解	選択式	54.1	0.7
3(3)	長方形の紙を折ってきた四角形が、どのような図形かについて、辺の長さと言葉を使って書く	図形	数学的な考え方	記述式	14.0	11.6
4(1)	5年前と比べて、国内生産台数は増えているが、輸出した台数の割合が減っている年を書く	数量関係	表現・処理	短答式	56.5	0.7
4(2)	2000年の輸出した台数が1995年よりも多いことが分かるわけの説明として、最もふさわしい記述を選ぶ	数量関係	数学的な考え方	選択式	60.7	1.7
4(3)	1980年と1985年は、どちらの年も輸出した台数が輸出しなかった台数よりも多いことが分かるわけを書く	数量関係	数学的な考え方	記述式	9.2	20.6
5(1)	行列の人数と、ゴンドラ1台に乗ることができる人数を基にして、どのゴンドラに最も早く乗ることができるかを選ぶ。	数と計算	数学的な考え方	選択式	54.5	0.0
5(2)	ゴンドラが下がっていくときの高さの違いを表から読み取る	数量関係	表現・処理	短答式	79.4	3.2
5(3)	ゴンドラが上がっていくときの説明を基にして、ゴンドラが下がっていくときに急に下がるように感じるわけを書く	数量関係	数学的な考え方	記述式	51.2	4.8

【課題】

- 基本的な計算をする力は身に付いているが、それを応用する力が身に付いていない。
- 表やグラフが表している内容を関連付けて読み取ることができていない。
- 得られた情報をもとに数学的に表現し説明することができていない。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の児童が理解できている内容 ◆課題がある内容 [] 設問番号>

数と計算	◇ 繰り下がりのある減法の計算をすることは相当数の児童が理解できている。 [A1](1)
	◇ 帯分数と真分数の減法の計算をすることは相当数の児童が理解できている。 [A1](6)
	◇ 小数部分の数の意味については相当数の児童が理解できている。 [A2](2)
	◆ 小数倍の意味に基づいて、2量の関係を正しく表している図を選択し、その理由を記述することに課題がある。 [B2](2)
量と測定	◇ 直方体の体積を求めることは相当数の児童が理解できている。 [A5](2)
	◆ はかりの目盛りを読むことに課題がある。 [A3](1)
図形	◇ 直方体の面の形や大きさについては相当数の児童が理解できている。 [A5](1)
	◇ ひし形の定義や性質については相当数の児童が理解できている。 [A6]
	◆ 紙をぴったり重なるように折る操作の数学的な意味を理解することに課題がある。 [B3](1)
	◆ 示された操作の意味を理解し、できた図形の形と大きさを判断して、それを記述することに課題がある。 [B3](3)
数量関係	◇ () を用いた整数の計算をすることは相当数の児童が理解している。 [A1](5)
	◇ 棒グラフから、数量が最も大きい項目を読み取ることは相当数の児童が理解している。 [A8]
	◆ 比較量の大小判断について、示された判断が正しい理由を記述することに課題がある。 [B4](3)

【正答率が高い問題】

A 8	棒グラフを読み、子どもの人数が最も多い学校名を書く [99.5%]
A 1 (5)	$5 \times (2 + 3)$ を計算する [94.2%]
A 6	方眼紙上にかかれた6つの四角形の中から、ひし形を2つ選ぶ [92.9%]
A 1 (6)	$1\frac{2}{7} - \frac{4}{7}$ を計算する [90.1%]
A 1 (1)	$806 - 9$ を計算する [89.6%]

【正答率が低い問題】

B 4 (3)	1980年と1985年は、どちらの年も輸出した台数が輸出しなかった台数より多いことが分かるわけを書く [9.2%]
B 2 (2)	2分音符と付点2分音符の長さの関係を正しく表している図を選び、その図が正しいわけを書く [13.1%]
B 3 (3)	長方形の紙を折ってできた四角形が、どのような図形かについて、辺の長さと言葉を使って書く [14.0%]
B 1 (2)	荷物の3辺の合計と重さが示された場合に、送料を求め、どのようにして求めたのかその考えを書く [38.0%]
B 3 (1)	正方形の作り方の図を見て、どの部分が同じになっているか、辺と角をそれぞれ選ぶ [43.3%]

小学校指導改善のポイント

- ① 問題の場面から、何が基準量かを理解し、それを100とみて百分率を考えられるようにする。
- ② 基本的な平面図形を算数の用語を使っただけに表現できるようにする。
- ③ 場面に応じて、計算結果に頼らずに数量の大小を判断できるようにする。

① 【課題が見られる設問】

◆ A問題9 百分率の意味について理解すること

100人のうち40%が女子のとき、女子の人数と求める式を書く問題

[正答率(高知県): 52.6%]

※解答類型2~5(女子の人数はできているが、求める式ができていない)の割合の合計は24.9%であり、式で表すことに課題がある。

指導に当たっては、数量の関係をテープ図などに表す活動を取り入れ、何が基準量かを考えられるようにしましょう。

② 【課題が見られる設問】

◆ B問題3(3) できた図形を筋道を立てて考え、数学的に表現すること

長方形の紙を折ってできた四角形がどのような図形かを書く問題

[正答率(高知県): 14.0%]

指導に当たっては、基本的な平面図形をかいたり作ったりする場面で、辺を表す言葉、辺の長さや角の大きさを表す数値、図形の名称などを用いて、図形を言葉で表現し伝え合う活動を取り入れましょう。

③ 【課題が見られる設問】

◆ B問題4(3) 比較量の大小判断が正しい理由を数学的に表現すること

1980年と1985年は、どちらの年も輸出した台数が輸出しなかった台数より多いことが分かるわけを書く問題

[正答率(高知県): 9.2%、無解答率(高知県): 20.6%]

指導に当たっては、例えば、具体的な数量を求めずに示された情報を用いてそれらの大小を判断する課題を扱い、具体的な計算に頼らずに判断することができるような活動を取り入れましょう。また、何に着目すれば計算結果に頼らずに数量の大小が判断できるかを考える場を設定しましょう。

中学校

【国語】

○ 国語A（知識）の平均正答率は78.5%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・身近な生活の中から課題を見付け、材料を集め、自分の考えをまとめること [5]一 61.0%
- ・書いた文章を読み返し、段落相互の関係を整えること [5]二 64.4%
- ・話し合いの方向を捉えて、的確に発言をすること [7]二 61.7%

○ 国語B（活用）の平均正答率は61.0%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・書かれている情報を基に、自分の考えを論理的に書くこと [1]三 32.6%
- ・文章の内容を正確に捉え、提示された形式に合わせて適切に書くこと [2]三 45.0%
- ・文章に書かれている事柄を基に、今までの体験や読書の経験と結び付けて自分の考えを書くこと [3]三 39.4%

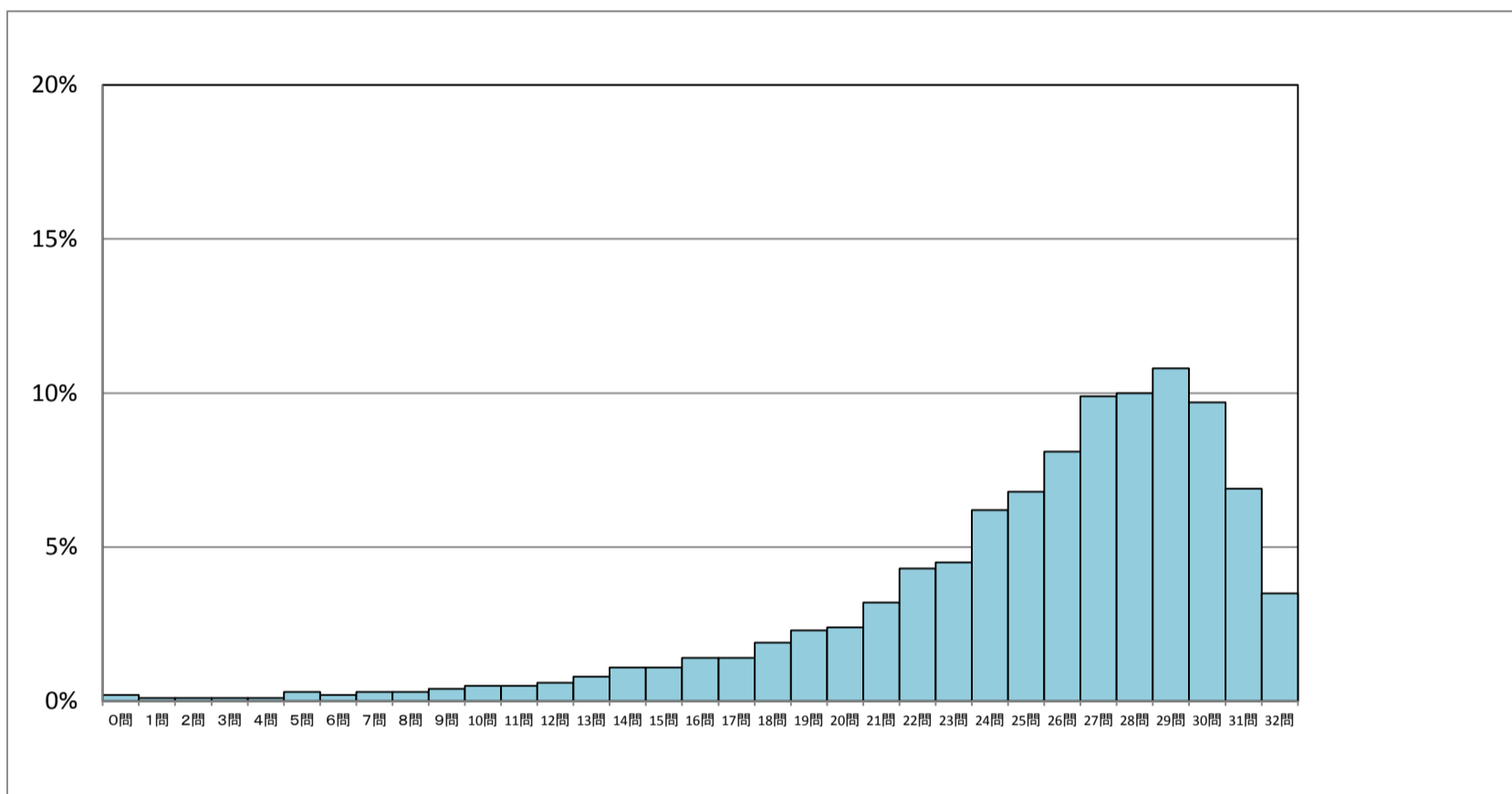
平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査
調査結果概況 [国語A 主として知識]
高知県一生徒(公立)

中学校調査

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,356	25.1/32	78.5	27.0	5.5

正答数集計値 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.1
2問	0.1
3問	0.1
4問	0.1
5問	0.3
6問	0.2
7問	0.3
8問	0.3
9問	0.4
10問	0.5
11問	0.5
12問	0.6
13問	0.8
14問	1.1
15問	1.1
16問	1.4
17問	1.4
18問	1.9
19問	2.3
20問	2.4
21問	3.2
22問	4.3
23問	4.5
24問	6.2
25問	6.8
26問	8.1
27問	9.9
28問	10.0
29問	10.8
30問	9.7
31問	6.9
32問	3.5

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



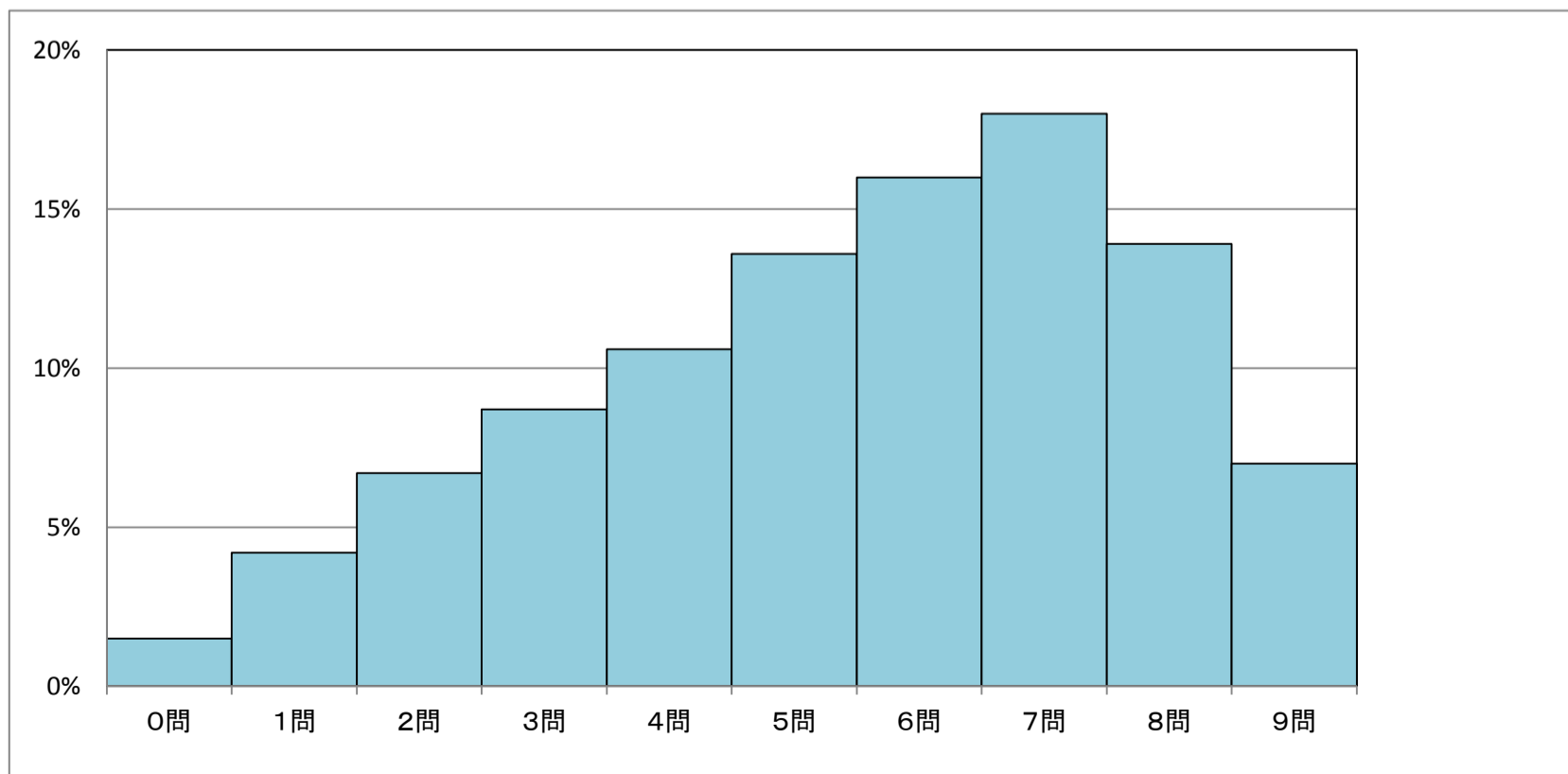
平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査
調査結果概況 [国語B 主として活用]
高知県一生徒(公立)

中学校調査

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,348	5.5/9	61.0	6.0	2.3

正答数集計値 (割合(%))	
0問	1.5
1問	4.2
2問	6.7
3問	8.7
4問	10.6
5問	13.6
6問	16.0
7問	18.0
8問	13.9
9問	7.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

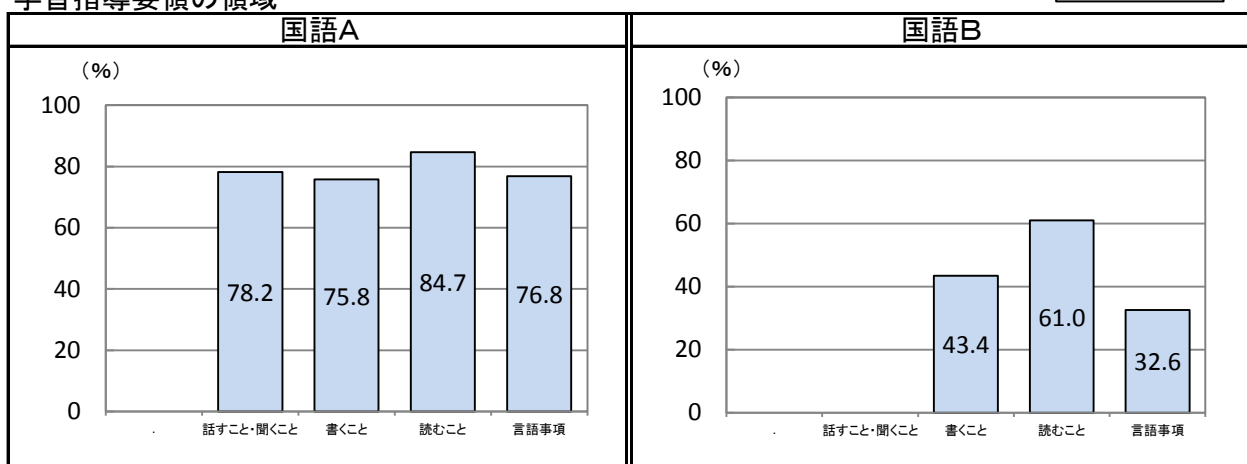


【分類・区別の状況】

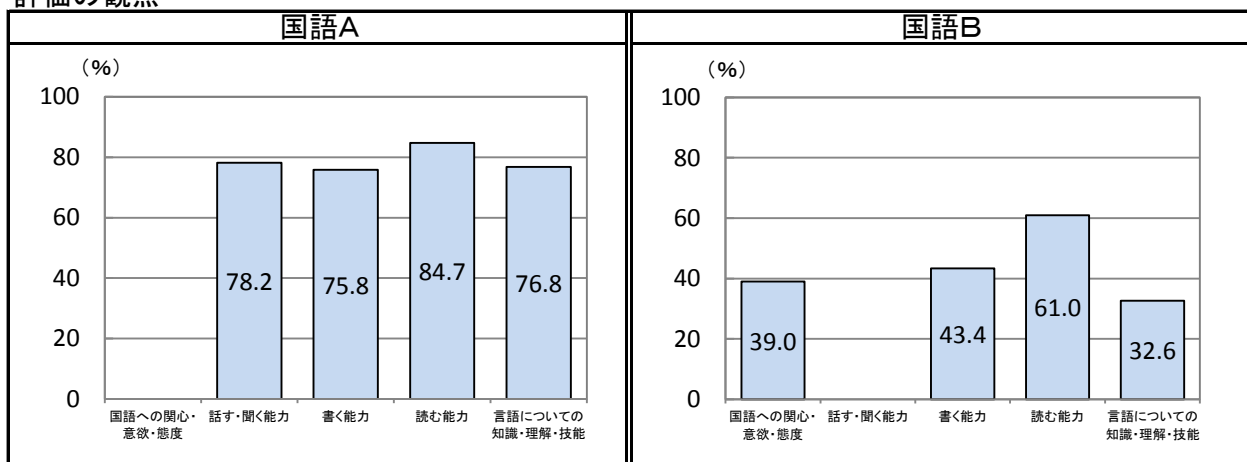
- 領域別では、国語B（活用）の「言語事項」の平均正答率が最も低い。
- 観点別では、国語B（活用）の「国語への関心・意欲・態度」の平均正答率が低い。
- 問題形式別では、国語A（知識）、国語B（活用）とも記述式の平均正答率が最も低い。

学習指導要領の領域

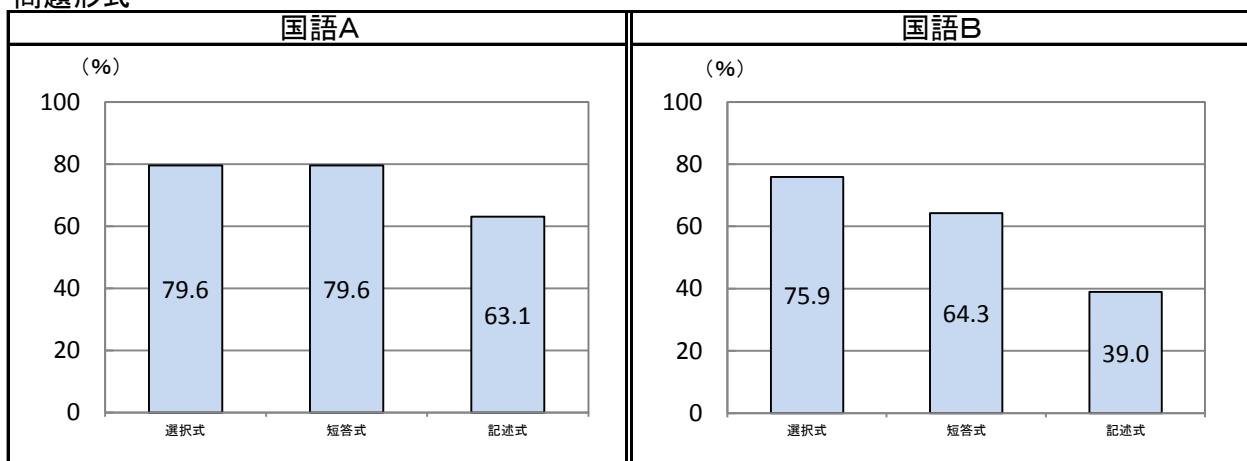
23高知



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果 中学校（国語）】

■国語A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	正答率	無解答率
					高知県	高知県
1ア	意味を考えて同音異義語を書く(開場)	言	言	短答式	72.1	6.6
1イ	意味を考えて同音異義語を書く(会場)	言	言	短答式	81.4	4.9
2一	話の特徴を説明したものとして適切なものを選択する	話	話	選択式	93.6	0.2
2二	他の部への質問を聞き、自分の話に付け加える内容として適切なものを選択する	話	話	選択式	78.6	0.3
3一	「グラフ参照」という言葉を入れる箇所として適切なものを選択する	書	書	選択式	91.4	0.4
3二	生徒会だよりの下書きの書き直し方として適切なものを選択する	書	書	選択式	86.1	0.5
4一	「花が欲しくなった」のは何をするためかが分かる言葉を本文中から抜き出す	読	読	短答式	90.5	3.5
4二	「見とがめられる」の意味として適切なものを選択する	読	読	選択式	74.3	0.4
4三	「ひろってしまうのはいやだった」と感じた理由として適切なものを選択する	読	読	選択式	78.6	0.5
5一	書き直した文章の説明として適切なものを選択する	書	書	選択式	61.0	0.8
5二	書き直した内容に合わせて他の部分を書き直す	書	書	記述式	64.4	6.7
6一	索引の特徴を説明したものとして適切なものを選択する	読	読	選択式	85.2	0.5
6二	索引のページから、調べたい事柄がより詳しく解説されているページを探す	読	読	短答式	93.5	1.4
7一	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	話	話	選択式	78.7	0.9
7二	話し合いの方向を捉えた司会としての質問を書く	話	話	記述式	61.7	15.7
8	行書を楷書で書く	言	言	短答式	78.5	1.0
9一1	漢字を書く(かぜをヨボウする)	言	言	短答式	83.4	9.7
9一2	漢字を書く(祭りの日程をケントウする)	言	言	短答式	26.0	31.1
9一3	漢字を書く(あいさつをカワす)	言	言	短答式	65.1	23.1
9二1	漢字を読む(筆に塾いがある)	言	言	短答式	92.6	1.8
9二2	漢字を読む(生産量が増える傾向にある)	言	言	短答式	85.8	5.7
9二3	漢字を読む(目上の人を敬う)	言	言	短答式	77.2	5.5
9三ア	同音異義語から適切なものを選択する(シューベルトの名曲を鑑賞する)	言	言	選択式	79.1	0.8
9三イ	適切な語句を選択する(旅行に備えて綿密な計画を立てる)	言	言	選択式	39.9	1.2
9三ウ	適切な語句を選択する(いたづらをして、しかられても涼しい顔をしている)	言	言	選択式	92.7	0.9
9三エ	適切な敬語を選択する(参観日には父が学校へ来ると申しておりました)	言	言	選択式	66.1	1.0
9三オ	適切な語句を選択する(問題を解決するために知恵をしぼる)	言	言	選択式	90.5	1.3
9三カ	適切な語句を選択する(彼は、困難な仕事をいとも簡単にやっけた)	言	言	選択式	90.2	2.0
9四1	文にふさわしいように語句を活用させて書く(行う)	言	言	短答式	89.4	2.1
9四2	文にふさわしいように語句を活用させて書く(きれいだ)	言	言	短答式	94.8	1.9
9五1	「いかん」の現代語訳を抜き出す(どうなるか)	読	読	短答式	83.9	4.7
9五2	「矛盾」という言葉の使い方として適切なものを選択する	読	読	選択式	86.7	1.1

■国語B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	正答率	無解答率
					高知県	高知県
1一	「ピクトグラム」について説明したものとして適切なものを選択する	読	読	選択式	92.9	0.3
1二	二つのトイレを示すピクトグラムの例を比べ、考えを簡潔に書く	書/読	書/読	短答式	56.5	11.1
1三	二つの「ピクトグラム」を比べ、どちらを採用するのかを理由とともに三文で書く	書/読/言	関/書/読/言	記述式	32.6	12.1
2一	段落相互の関係について説明したものとして適切なものを選択する	読	読	選択式	77.7	1.0
2二	比喩を用いた表現の内容として適切なものを選択する	読	読	選択式	72.0	1.1
2三	本文を読んで分かったことを一つ取り上げ、Q&Aの形式で紹介する	書/読	関/書/読	記述式	45.0	20.5
3一	裏表紙の文章から分かることとして適切なものを選択する	読	読	選択式	61.1	1.0
3二	裏表紙や帯や表紙に書かれている文章を手掛かりに、本を特定する	読	読	短答式	72.1	4.2
3三	読みたい本を一冊選択し、その本を選択した理由を書く	書/読	関/書/読	記述式	39.4	11.7

【課題】

- 司会としての役割を理解し、話合いの方向を捉えて進行する力が身に付いていない。
- 目的や意図に応じて、複数の情報を関連付けて読み、内容を正確に捉えたり、必要な情報を選んで活用したりする力が身に付いていない。
- 文章に書かれている事柄や情報を基に、自分の立場や伝えたい事柄などを明確にし、示された条件に即して書く力が身に付いていない。
- 漢字を文脈に即して使う力が身に付いていない。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の生徒が理解できている内容 ◆課題がある内容 [] 設問番号>

話し・聞く	◇ 表現の仕方に注意して、聞き手に感心をもたせる話をすることは、相当数の生徒ができている。 [A2]一]
	◆ 話合いの方向を捉えて、的確に発言をすることに課題がある。 [A7]二]
書く	◇ 文章とその根拠となる図表との関係を明示することは、相当数の生徒ができている。 [A3]一]
	◆ 書かれている情報を基に、自分の考えを論理的に書くことに課題がある。 [B1]三]
	◆ 書かれている事柄を基に、今までの体験や経験と結び付けて自分の考えを書くことに課題がある。 [B3]三]
読む	◇ 索引の特徴や役割を理解して、必要な情報を得ることは、相当数の生徒ができている。 [A6]一]
	◆ 書かれている情報を的確に関連付けて読み、活用することに課題がある。 [B1]二、三]
	◆ 文章の内容を正確に捉え、目的や必要に応じて適切に要約することに課題がある。 [B2]三]
言語事項	◇ 文脈に即して漢字を正しく読むことは、相当数の生徒ができている。 [A9]二]
	◇ 単語の類別や働きについて理解し、文脈に合わせて活用させることは、相当数の生徒ができて [A9]四]
	◆ 文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。 [A9]一]

【正答率が高い問題】

A9四2	形容動詞を活用させる	[94.8%]
A2一	話の特徴を捉える	[93.6%]
A6二	索引を活用する	[93.5%]
B1一	文章の内容を捉える	[92.9%]
A9三ウ	適切な語句の選択 (涼しい)	[92.7%]

【正答率が低い問題】

A9一2	漢字の書き (ケントウ)	[26.0%]
B1三	情報を基に論理的に書く	[32.6%]
B3三	体験等と結び付けて考えを書く	[39.4%]
A9三イ	適切な語句の選択 (綿密)	[39.9%]
B2三	形式に合わせて要約する	[45.0%]

中学校指導改善のポイント

- ① 課題が見られる設問について、出題の趣旨と学習指導要領における領域・内容を確認し、育成を目指す言語能力を明確にする。
- ② 解説資料（H23年9月 国立教育政策研究所）の解答類型を参考にして、誤答の傾向を分析する。
- ③ 解説資料に示された「学習指導に当たって」（大問ごとに提示）や授業アイデア例（国立教育政策研究所）を参照し、授業に取り入れる。
- ④ 過去の調査における類似問題や高知県国語学習シート、高知県国語指導改善資料集などを活用する。
- ⑤ 生徒質問紙及び学校質問紙調査の教科関連項目の結果を分析し、指導改善に生かす。

【課題が見られる設問の例】 B問題3 三 イソップ寓話

① 《出題の趣旨》

文章に書かれている事柄を基に、今までの体験や読書の経験と結び付けて自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

B 書くこと（第2学年及び第3学年）

イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。

→新学習指導要領

B 書くこと（第1学年）

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

B 書くこと（第2学年）

イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。

C 読むこと（第1学年）

オ 文章に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を広くすること。

→新学習指導要領

C 読むこと（第1学年）

オ 文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くすること。

調査問題と学習指導要領とを対応させて考えることが大事です。



② 解答類型

高知県 (%)

正答

（正答の条件）次の条件を満たして解答している。

- ① [A]から[C]までの中のいずれか一冊の本を選んで、その記号に○を付けている。
- ② （裏表紙の文章）、（帯の文章の一部）、（表紙の文章の一部）の中にあるいずれかの言葉を使って書いている。
- ③ 今までの体験や読書の経験と結び付けて、〈その本を選んだ理由〉を具体的に書いている。
- ④ 五十字以上、八十字以内で書いている。

（正答例）

- ・ [A]小さいころに読んだことがある「ウサギとカメ」や「肉をくわえたイヌ」が紹介されていて、とてもなつかしく感じたので、それらをもう一度読んでみたくなったからだ。（78字）

解答類型から条件③を満たさない解答が多いので、様々な読書体験をさせることや条件に合わせて書かせることが大切です。



	解答	高知県 (%)	正答
1	条件①、②、③、④を満たして解答しているもの	39.4	◎
2	条件①、②、③を満たし、条件④を満たさないで解答しているもの	0.4	
3	条件①、②、④を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	27.0	
4	条件①、③、④を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	4.4	
9	上記以外の解答	17.1	
0	無解答	11.7	

③ 【授業アイデア例】

平成 23 年度 中学校国語の調査問題を踏まえた授業アイデア例

【指導の狙い】
文章に書かれている事柄を基に、今までの体験や読書の経験と結び付けて自分の考えをもつことができるようにする。

【問題の概要】
B③三 読みたい本を一冊選択し、その本を選択した理由を書く。

【学習指導要領における領域・内容】
〔第2学年及び第3学年〕「B 書くこと」「C 読むこと」

【授業アイデア例】

学習の流れ

これまでに読んだ本の中から、特に印象に残る数冊を選び、その本を選んだ理由などについてまとめ、これまでの読書傾向を確認する。(第1時)

互いの読書傾向について友達と情報交換し、これから読みたい本のブックリストを作成する。(第2時、第3時)

ブックリストの中から実際に一冊を読み、感想を書く。(第4時)

【言語活動】 これから読みたい本のブックリストを作成し、本を読む。

【教材例】 教科書にある読書案内、地域や学校で作成したブックリスト、インターネット上の本の紹介 など

第2時、第3時 ※学校図書館で行う。

〈授業前の教師の準備〉

B③三についての生徒の解答の状況を「解答類型」(解説資料中学校国語 平成二十三年九月)に照らして把握する。特に、以下の解答類型の生徒の解答の状況に着目する。

- 解答類型1 (正答)の生徒
- 解答類型3の生徒

今までの体験や読書の経験と結び付けて、〈その本を選んだ理由〉を具体的に書いていない。

① 読書傾向について友達と情報交換する。

互いの読書傾向について情報交換しましょう。特に、なぜその本を読むようになったのか、そのきっかけや理由について具体的に話しましょう。

私は、小さい頃田舎で見た星空が忘れられなくて、星に関する本を見つけたと手に取ってしまいます。「銀河鉄道の夜」を読んだのも、銀河に引かれたからです。

テーマを決めて読んでいくのも面白そうですね。私は今までファンタジーをよく読んできたけれど、テーマを決めた様々なジャンルの本に挑戦してみようと思います。私は動物が好きなので、動物をテーマに本を探してみたいです。

② ①で情報交換したことを基に、これから読みたい本について考える。

友達からの情報や教科書の読書案内などを参考にブックリストを作りましょう。学校図書館の本を実際に手に取ってみたり、インターネットから情報を得たりするのもよいですね。

(ワークシートの例)

☆ 「これから読みたい本」のブックリストを作りましょう。

No.	書名 (著者名)	出版社 (出版年)	選んだ理由	読んだら一言	読み終えたら
1	吾輩は猫である (夏目漱石)	□□社 (○○○年)	ア		
2	徳山動物園物語 ふしぎな動物園 (文 古館謙二/写真 藤塚則明)	□□社 (○○○年)	ウ		
3	ゾウの時間ネズミの時間 (本川達雄)	□□社 (○○○年)	オ (新書を読みたい)		

【選んだポイント】

ア 書名や著者名
ウ 読書案内や書評などからの情報
オ その他 (理由を簡単に書きましょう)

イ 表紙や帯、目次などに書かれている情報
エ 友達や家族からの情報

☆ ブックリストに挙げた本を選んだ理由を書きましょう。

- 今までの体験や読書の経験と結び付けて書く。
- 友達との交流と結び付けて書く。

私は、今までファンタジーを中心に読んできました。けれども、この交流を通して、テーマを決めて読むことの面白さに気付きました。私は動物が好きなので、「動物」をキーワードに様々なジャンルの本を読んでみたいと思い、動物のことが書かれていそうな本や、書名に動物が出てくる本を選びました。まずは、以前読んで楽しかった『坊っちゃん』と同じ作者が書いた『吾輩は猫である』、新書のコーナーで見つけた『ゾウの時間ネズミの時間』を読みたいです。

〈第3時終了後の教師の分析〉

ワークシートに書かれた内容を分析する。
授業前に分析した「解答類型3」に該当する生徒が、今までの体験や読書の経験と結び付けてワークシートに記述できているかを確認し、生徒の学習の状況を評価する。

【留意点】

- リストに挙げた本を読む時間を確保するために、一斉読書の時間や休み時間を活用するよう助言したり、第3時から少し時間を空けて第4時を設定したりすることも考えられる。
- 自分の読書傾向を振り返ることができるように、3学年を通して読書記録を付けさせておくことが有効である。

③ 【平成 23 年度解説資料】

P. 57 学習指導に当たって

- 本に関わる情報に関心をもち、本の表紙や帯などに書かれている情報を読み取る。
- 文章に書かれている事柄と知識や体験などを結び付けて、自分の考えを明確に書く
◇文章を読んで自分の考えを明確にもたせるためには、単に印象を述べるにとどまらず、これまで身に付けてきた知識や体験などと関連付けて具体的に書かせることが大切である。

④ 【過去の調査における類似問題】

- 平成 22 年度
B①三 「情報を読む (新聞)」
- 平成 20 年度
B③三 「言葉について考える (全然)」

様々な形態の文章を書く場面を意図的に設定し、繰り返し指導することが大切です。

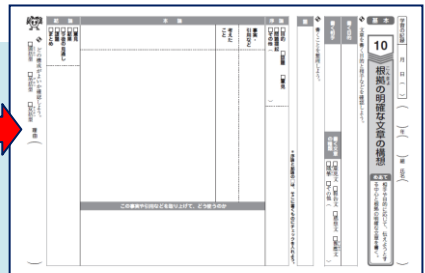
④

国語指導改善資料集

- ・ P. 36~43 第3学年
「言葉でつづろう 15歳の私」
- ・ P. 105 第2学年
「様々な資料から情報を収集し、自分の表現に活用する」

国語学習シート

- 4 わたしの読書データベース
- 10 根拠の明確な文章の構想
- 32 調査レポート構想メモ
- 63 文章の表現を考える
- 66 確認テスト



⑤ P. 30~31 「教科に関する質問紙調査より」を参照

【数学】

○ 数学A（知識）の平均正答率は54.3%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・平行四辺形になるための条件を理解すること [7] (2) 25.5%
- ・証明の意義について理解すること [8] 24.8%
- ・与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が反比例であることを判断すること [12] 24.8%

○ 数学B（活用）の平均正答率は45.2%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・与えられた証明を振り返り、類似の場面で証明すること [4] (2) 31.2%
- ・範囲の意味に基づいて表から必要な情報を読み取ること [5] (1) 25.1%
- ・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること [5] (2) 15.1%

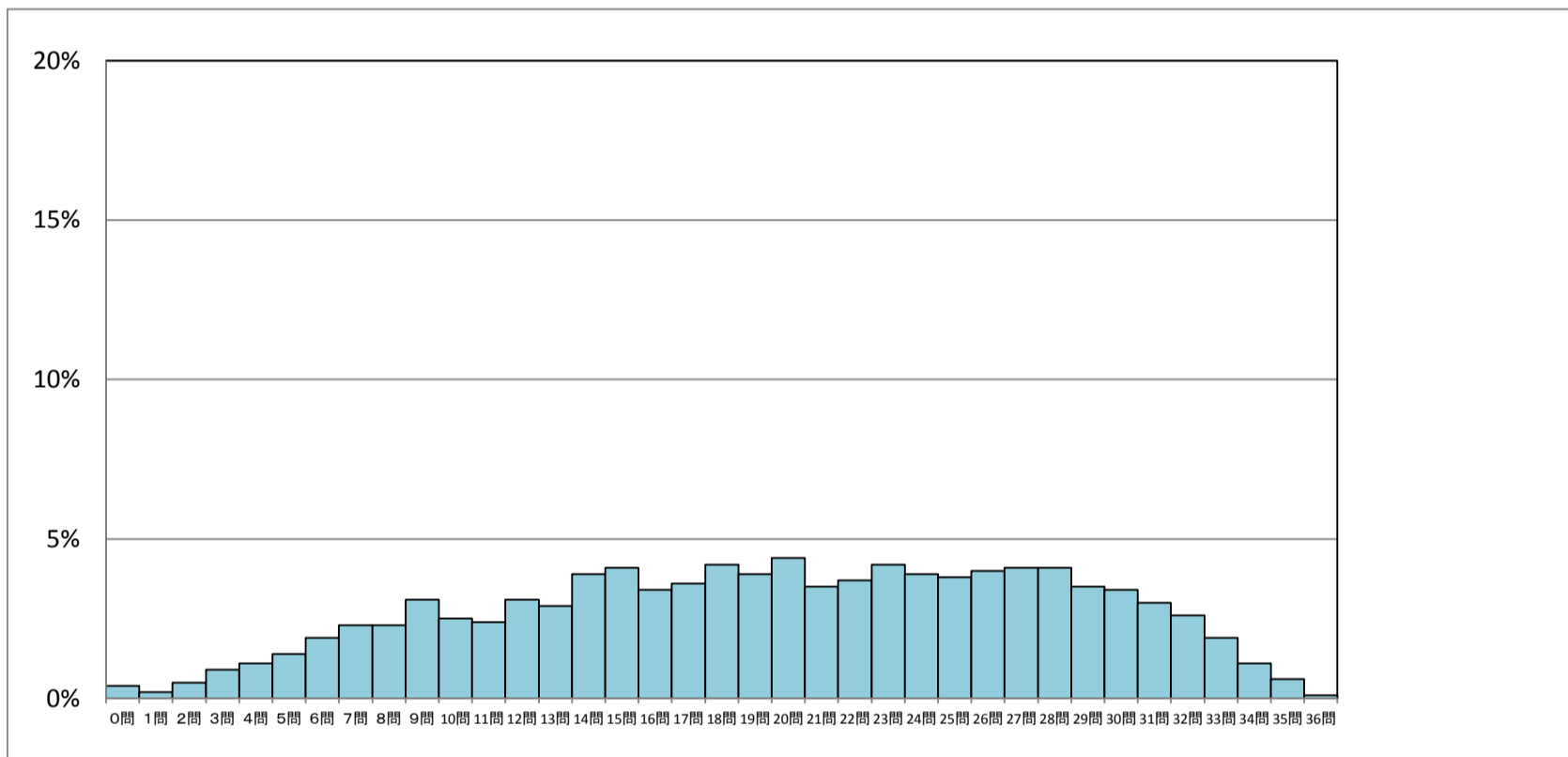
平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査
調査結果概況 [数学A 主として知識]
高知県－生徒(公立)

中学校調査

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,346	19.6/36	54.3	20.0	8.2

正答数集計値 (割合(%))	
0問	0.4
1問	0.2
2問	0.5
3問	0.9
4問	1.1
5問	1.4
6問	1.9
7問	2.3
8問	2.3
9問	3.1
10問	2.5
11問	2.4
12問	3.1
13問	2.9
14問	3.9
15問	4.1
16問	3.4
17問	3.6
18問	4.2
19問	3.9
20問	4.4
21問	3.5
22問	3.7
23問	4.2
24問	3.9
25問	3.8
26問	4.0
27問	4.1
28問	4.1
29問	3.5
30問	3.4
31問	3.0
32問	2.6
33問	1.9
34問	1.1
35問	0.6
36問	0.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



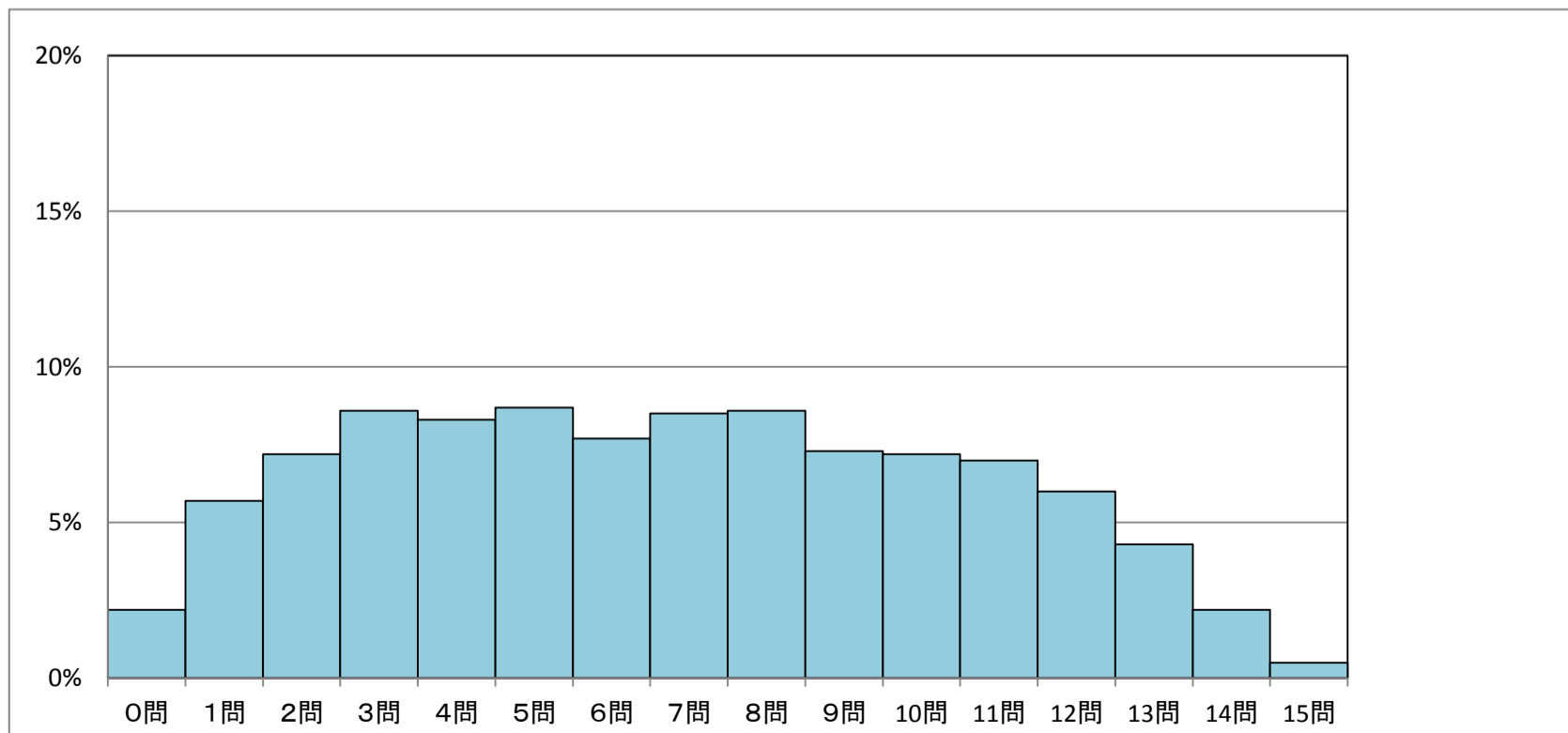
平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査
調査結果概況 [数学B 主として活用]
高知県－生徒(公立)

中学校調査

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,339	6.8/15	45.2	7.0	3.8

正答数集計値 (割合(%))	
0問	2.2
1問	5.7
2問	7.2
3問	8.6
4問	8.3
5問	8.7
6問	7.7
7問	8.5
8問	8.6
9問	7.3
10問	7.2
11問	7.0
12問	6.0
13問	4.3
14問	2.2
15問	0.5

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

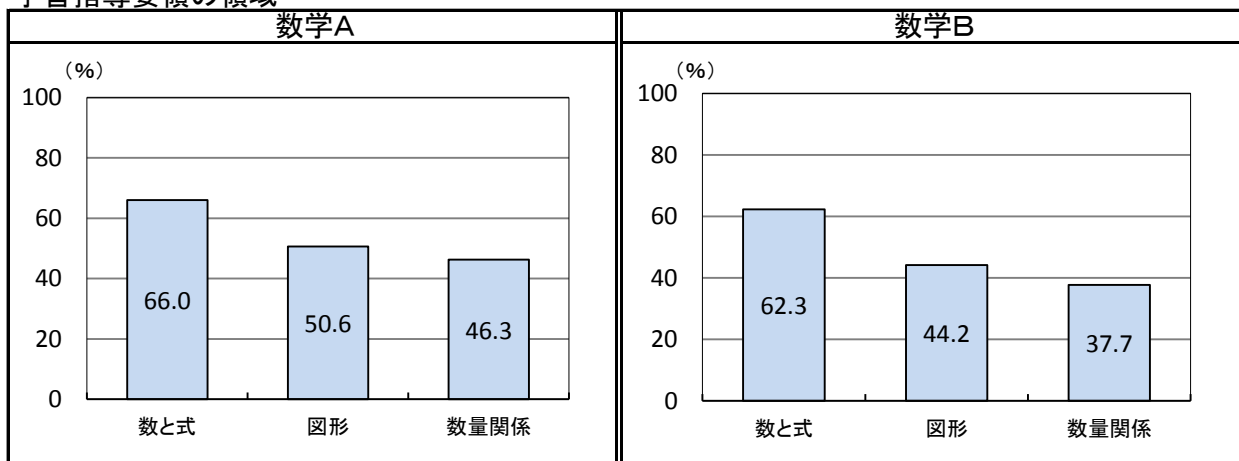


【分類・区別の状況】

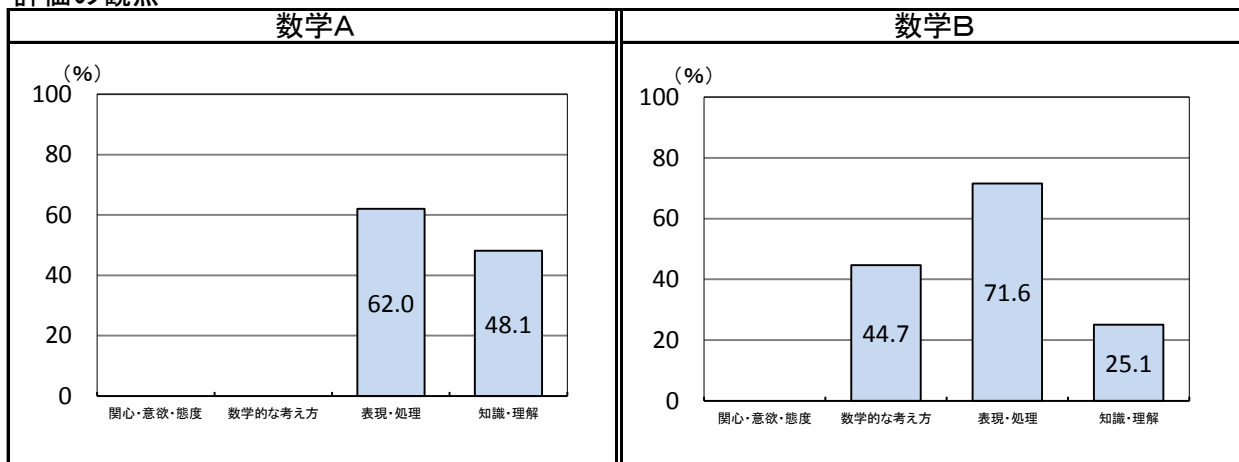
- 領域別では、数学A（知識）、数学B（活用）の「数量関係」の平均正答率がこれまでの調査の中で最も低い。
- 観点別では、数学A（知識）、数学B（活用）の「知識・理解」の平均正答率がこれまでの調査の中で最も低い。
- 問題形式別では、数学B（活用）の記述式の平均正答率が最も低い。

学習指導要領の領域

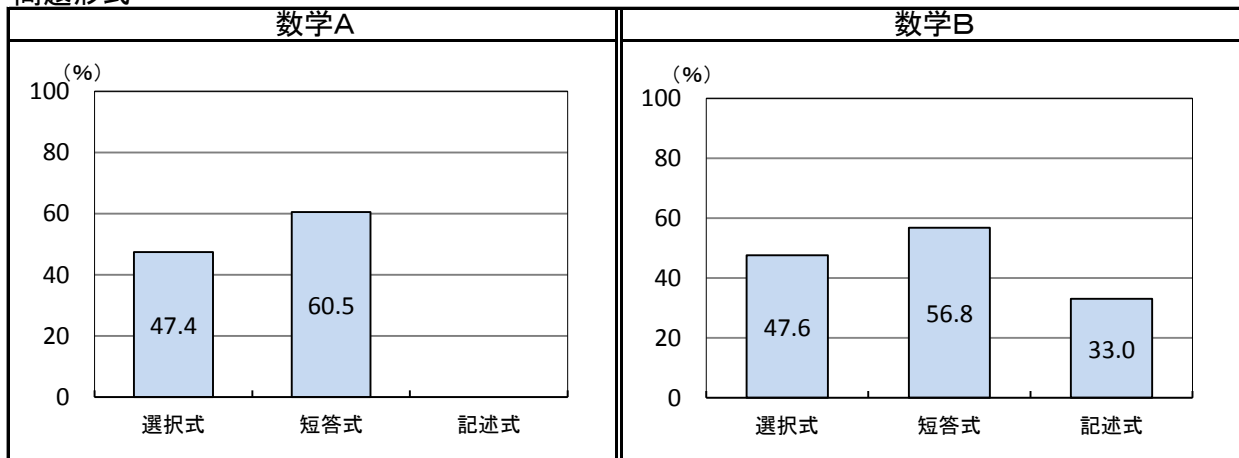
■ 23高知



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果 中学校（数学）】

■数学A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	正答率	無解答率
					高知県	高知県
1(1)	$5/7 \times 3/4$ を計算する	数と式	表現・処理	短答式	85.7	4.2
1(2)	四則計算のうち、数が自然数の範囲では閉じておらず、整数の範囲では閉じている計算を選ぶ	数と式	知識・理解	選択式	44.8	0.9
1(3)	絶対値が5である負の数を書く	数と式	知識・理解	短答式	83.5	5.3
1(4)	$3-2 \times (-4)$ を計算する	数と式	表現・処理	短答式	76.0	2.7
2(1)	$(4a-6)-2(a-3)$ を計算する	数と式	表現・処理	短答式	81.3	5.0
2(2)	連続する3つの自然数のうち、最も小さい自然数をnとすると、その連続する3つの自然数をそれぞれnを用いた式で表す	数と式	表現・処理	短答式	63.0	13.6
2(3)	青色のテープの長さamは、黄色のテープの長さbmの何倍であるかを、a、bを用いた式で表す	数と式	表現・処理	短答式	44.4	18.1
2(4)	$3x+y=7$ をyについて解く	数と式	表現・処理	短答式	68.1	14.7
3(1)	$0.1x+1=1.5$ を解く	数と式	表現・処理	短答式	72.2	11.9
3(2)	2通りに表される数量を文字を用いた式で表し、一次方程式をつくる	数と式	表現・処理	短答式	46.0	10.6
3(3)	連立方程式 $\begin{cases} x+y=4 \\ 3x+2y=9 \end{cases}$ の解について正しい記述を選ぶ	数と式	知識・理解	選択式	62.5	2.1
3(4)	連立方程式 $\begin{cases} y=2x-1 \\ y=x+3 \end{cases}$ を解く	数と式	表現・処理	短答式	64.5	13.1
4(1)	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	図形	知識・理解	選択式	49.5	1.9
4(2)	正三角形DACを、点Cを中心として時計回りに回転移動して正三角形BECにぴったり重ねたとき、その角度を求める	図形	知識・理解	短答式	26.5	7.9
5(1)	直方体において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を全て書く	図形	知識・理解	短答式	49.7	7.3
5(2)	底面が平行四辺形である高さ10cmの四角柱の底面積と体積を求める	図形	表現・処理	短答式	33.3	17.5
5(3)	与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ	図形	表現・処理	選択式	84.6	1.1
5(4)	球と円柱の体積を比較し、正しい図を選ぶ	図形	知識・理解	選択式	43.0	1.4
6(1)	平行線の錯角の大きさが等しいことを利用して、角の大きさを求める	図形	知識・理解	短答式	81.5	4.6
6(2)	五角形の内角の和と六角形の内角の和について、正しいものを選ぶ	図形	知識・理解	選択式	60.7	1.9
6(3)	合同な2つの三角形の対応する角の大きさを求める	図形	表現・処理	短答式	74.1	4.9
7(1)	証明で用いられている合同条件を選ぶ	図形	知識・理解	選択式	54.0	1.3
7(2)	長さの等しい2本の棒を2種類使って組み合わせた四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	図形	知識・理解	選択式	25.5	1.4
8	三角形の外角の和が 360° であることの証明について正しい記述を選ぶ	図形	知識・理解	選択式	24.8	1.9
9	定形外郵便物の料金表から、重量と料金の関係について、正しい記述を選ぶ	数量関係(※1)	知識・理解	選択式	26.7	1.7
10(1)	比例 $y=-3x$ のグラフを選ぶ	数量関係	知識・理解	選択式	62.4	1.7
10(2)	比例 $y=-2x$ のグラフをかくために、原点以外の点の座標を求める	数量関係	表現・処理	短答式	42.0	23.7
10(3)	反比例 $y=4/x$ のグラフを完成する	数量関係	表現・処理	短答式	75.8	12.9
11(1)	「高さが高くなるのにともなって、気温が一定の割合で下がる」と考えたとき、高さ気温の関係を表したグラフを選ぶ	数量関係	知識・理解	選択式	59.6	2.4
11(2)	一次関数 $y=4x-3$ について、xの係数が4であることからいえることとして、正しいものを選ぶ	数量関係	知識・理解	選択式	50.0	3.1
11(3)	一次関数の表から式を求める	数量関係	表現・処理	短答式	31.7	26.7
11(4)	比例 $y=2x$ のグラフを基に $y=2x-4$ のグラフをかく方法として、正しい記述を選ぶ	数量関係	知識・理解	選択式	45.5	3.6
12	$V=RI$ を基に、電圧Vが一定のとき、抵抗Rと電流Iの関係について、正しい記述を選ぶ	数量関係	知識・理解	選択式	24.8	3.7
13(1)	2枚の硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	数量関係	表現・処理	短答式	50.0	20.0
13(2)	生徒35人が100点満点の試験を受け、得点の中央値が50点だったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	数量関係(※2)	知識・理解	選択式	28.0	4.3
13(3)	ある月の日ごとの最高気温の分布を表したヒストグラムについて、正しいものを選ぶ	数量関係(※2)	知識・理解	選択式	59.4	4.1

※1 中学校学習指導要領(平成20年告示)においては、「関数」の領域の内容となる。

※2 中学校学習指導要領(平成20年告示)においては、「資料の活用」の領域の内容となる。

■数学B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	正答率	無解答率
					高知県	高知県
1(1)	1月のキャップの回収量を比べて、平成22年度は平成21年度より何個増えたかを選ぶ	数量関係	表現・処理	選択式	71.6	0.3
1(2)	キャップの入った回収箱の重さが分かっているとき、キャップの個数を求めるために調べるものを選び、それを求める方法を説明する	数量関係	見方や考え方	記述式	34.4	2.0
1(3)	キャップの個数とキャップの入った回収箱の重さの関係について、正しい記述を選ぶ	数量関係	見方や考え方	選択式	34.5	0.7
2(1)	連続する3つの自然数が11、12、13のとき、それらの和が中央の自然数の3倍になるかどうかを確かめる式を書く	数と式	見方や考え方	短答式	72.5	10.1
2(2)	説明を読み、 $3n+3$ を $3(n+1)$ に変形する理由を完成する	数と式	見方や考え方	短答式	62.1	11.2
2(3)	連続する5つの自然数の和が中央の自然数の5倍になることを説明する	数と式	見方や考え方	記述式	52.4	19.1
3(1)	タレスの方法を読み、点Aから船Bまでの距離を何に置き換えて測ればよいかを答える	図形	見方や考え方	短答式	67.7	13.4
3(2)	2つの三角形が合同になることを証明するための根拠となる事柄を説明する	図形	見方や考え方	記述式	32.1	34.2
3(3)	タレスの方法を発展するための考えとして、正しい記述を選ぶ	図形	見方や考え方	選択式	38.2	2.0
4(1)	証明を読み、証明の「仮定」に当たる事柄を選ぶ	図形	見方や考え方	選択式	51.1	1.5
4(2)	2つの線分の長さが等しいことを、二等辺三角形を利用して証明する	図形	見方や考え方	記述式	31.2	36.0
4(3)	証明した2組の線分の長さがそれぞれ等しいことを根拠として、証明したこと以外に新しく分かることを選ぶ	図形	見方や考え方	選択式	44.6	2.2
5(1)	2人の球速の範囲をそれぞれ求める	数量関係(※)	知識・理解	短答式	25.1	17.8
5(2)	ヒストグラムの特徴を基に、時速131kmの球速に的をしばって練習することが適切でない理由を説明する	数量関係(※)	見方や考え方	記述式	15.1	39.7
5(3)	2人の投手の直球だけのヒストグラムを比べて読み取れることを選ぶ	数量関係(※)	見方や考え方	選択式	45.5	1.9

※ 中学校学習指導要領(平成20年告示)においては、「資料の活用」の領域の内容となる。

【課題】

- 移行措置により新たに加わった学習内容について、理解が十分でない傾向にある。
- 事柄が成り立つことを説明する等、記述形式の設問では、正答率が低く、無解答が多い傾向にある。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の生徒が理解できている内容 ◆課題がある内容 [] 設問番号>

数と式	◇ 分数の乗法の計算をすることは相当数の生徒が理解できている。 [A 1] (1)
	◇ 絶対値の意味については相当数の生徒が理解できている。 [A 1] (3)
	◇ 整式の加法と減法の計算は相当数の生徒が理解できている。 [A 2] (1)
図形	◇ 与えられた投影図から空間図形を読み取ることは相当数の生徒が理解できている。 [A 5] (3)
	◇ 平行線に直線が交わってできる角の性質については相当数の生徒が理解できている。 [A 6] (1)
	◆ 回転移動の意味を理解することに課題がある。 [A 4] (2)
	◆ 四角柱の底面積と体積を求めることに課題がある。 [A 5] (2)
	◆ 平行四辺形になるための条件を理解することに課題がある。 [A 7] (2)
	◆ 証明の意義を理解することに課題がある。 [A 8]
	◆ 事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 [B 3] (2)
◆ 与えられた証明を振り返り、類似の場面で証明することに課題がある。 [B 4] (2)	
数量関係	◆ 関数関係の意味を理解することに課題がある。 [A 9]
	◆ 一次関数 $y = ax + b$ の a が、 x が 1 増加したときの y の増加量を表していることを理解することに課題がある。 [A 1 1] (2)
	◆ 与えられた式を基に、事象における 2 つの数量の関係が反比例であることを判断することに課題がある。 [A 1 2]
	◆ 中央値の意味を理解することに課題がある。 [A 1 3] (2)
	◆ 問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 [B 1] (2)
	◆ 問題解決の過程を振り返って、事象を数学的に解釈することに課題がある。 [B 1] (3)
	◆ 範囲の意味に基づいて表から必要な情報を読み取ることに課題がある。 [B 5] (1)
	◆ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 [B 5] (2)

【正答率が高い問題】

A 1 (1)	$\frac{5}{7} \times \frac{3}{4}$ を計算する	[85.7%]
A 5 (3)	与えられた投影図から立体を読み取り、その立体を選ぶ	[84.6%]
A 1 (3)	絶対値が 5 である負の数を書く	[83.5%]
A 6 (1)	平行線の錯角の大きさが等しいことを利用して、角の大きさを求める	[81.5%]
A 2 (1)	$(4a - 6) - 2(a - 3)$ を計算する	[81.3%]

【正答率が低い問題】

B 5 (2)	ヒストグラムの特徴を基に、時速 131 km の球速に的を絞って練習することが適切でない理由を説明する	[15.1%]
A 8	三角形の外角の和が 360° であることの証明について正しい記述を選ぶ	[24.8%]
A 12	$V = RI$ を基に電圧 V が一定のとき、抵抗 R と電流 I との関係について、正しい記述を選ぶ	[24.8%]
B 5 (1)	2 人の球速の範囲をそれぞれ求める	[25.1%]
A 7 (2)	長さの等しい 2 本の棒を 2 種類使って組み合わせた四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	[25.5%]

中学校指導改善のポイント

- ① 本年度の取組を基に、時数配分や評価規準など年間指導計画をもう一度見直し、よりよい年間指導計画に沿って授業を行うとともに、移行措置における学習内容についての理解を深め、指導方法についても一層工夫していく。
- ② 生徒一人一人に考えさせ、説明を記述させる等の活動を取り入れ、説明すべき事柄と根拠を明確に区別して「〇〇だから□□である」というように表現することや、説明する前提や根拠と説明される結論を明確にして「〇〇は□□である」と表現することに留意するよう指導する。

① 【課題が見られる設問】

- ◆ **A問題4(2)** 回転移動の意味を理解すること
正三角形の1点を中心として回転に移動させたときの角度を求める問題
[正答率(高知県): 26.5%]
- ◆ **A問題5(4)** 球の体積について理解すること
球と円柱の体積を比較し、正しい図を選ぶ問題 [正答率(高知県): 43.0%]
- ◆ **A問題13(2)** 中央値の意味を理解すること
資料の中央値について必ずいえる記述を選ぶ問題 [正答率(高知県): 28.0%]
- ◆ **B問題5(1)** 範囲の意味に基づいて必要な情報を適切に選択すること
2人の球速の範囲を求める問題 [正答率(高知県): 25.1%]

移行措置における学習内容(A4(2)回転移動、A5(4)球の体積、A13(2)中央値、B5(1)範囲、など)について理解が不十分であることの原因の一つは、指導計画と実際の単元及び1単位時間の時間配分が不十分であるため、移行措置の内容を十分に指導することができなかつたことが考えられます。

各単元における授業時数のバランスを考えて、移行措置における学習内容の定着を図りましょう。

② 【課題が見られる設問】

- ◆ **B問題1(2)** 問題の解決の方法を数学的に説明すること
ペットボトルのキャップの個数とキャップが入った回収箱の重さの関係から、キャップのおよその個数を工夫して求める方法を説明する問題
[正答率(高知県): 34.4%]
- ◆ **B問題5(2)** 資料の傾向を適切に捉えること
ヒストグラムの特徴をもとに、時速131kmの球速に的をしぼって練習することが適切でない理由を説明する問題
[正答率(高知県): 15.1%、無解答率: 39.7%]

B問題1(2)では、調べるものを正しく選んでいる生徒は約80%いるにもかかわらず、正答率は34.4%であり、方法の説明で半数以上の生徒が不正解となっています。

指導に当たっては、問題解決に必要な情報や方法を示し、それを用いて解決できるようにするだけでなく、問題解決の方法自体を説明できるような活動を取り入れましょう。

平成23年度 中学校数学の調査問題を踏まえた授業アイデア例

(国立教育政策研究所ホームページより)

【指導の狙い】
具体的な事象の中には一次関数を用いて捉えられるものがあることを理解するとともに、日常的な事象の問題解決のために数学を活用する方法を見だし、それを用いて問題を解決できるようにする。

【授業アイデア例】
ペットボトルのキャップの個数を工夫して求めよう。
生徒会では、右のような生徒会だよりを発行しました。
1. グラフから読み取ることが出来る事柄を探る。
このグラフから読み取れることにはどんなことがありますか。
22年度の方が回収した個数の合計が多いように見えます。
22年度の12月は少なかつたですね。
23年度もこのようなグラフに表すのなら、キャップの個数を1個ずつ数えるのは大変な作業だね。
2. キャップの個数を求める方法を思いだし、個数を求める。
生徒会ではキャップを1個ずつ数えていたそうです。この作業はとても大変だったので、キャップの個数を工夫して求める方法を考えて生徒会に提案しましょう。
小学校で釘の本数を数えながら、キャップ全体の重さから個数を調べることがあるね。
キャップ全体の重さから個数を調べることができると思います。
キャップの重さをどのように使えば、個数を求めることができますか。
個数を求める方法
キャップの入った回収箱の重さから空の回収箱の重さをひいた重さを求めて、それをキャップ1個の重さでわる。
空の回収箱の重さは1943gで、キャップの入った回収箱の重さは8755gだったよ。
キャップだけの重さを求めて、その重さをキャップ1個の重さでわっても個数が分かりそうだね。

【留意点】
○ ある数量を求めるためには何を調べればよいかを話し合い、数量やその関係などの「用いるもの」とその「用い方」を視点として、問題解決の方法を説明し伝え合う活動を取り入れることが考えられる。
○ 日常的な事象を考察して問題解決した際には、その過程を振り返り、事象を数学的に解

問題の概要
B1(1) 1月のキャップの回収量を比べて、平成22年度は平成21年度より何割増えたかを求め、
B1(2) キャップの入った回収箱の重さが分かっているとき、キャップの個数を求めるために調べるものを選び、それを求める方法を説明する。
B1(3) キャップの個数とキャップの入った回収箱の重さの関係について、正しい記述を選び、学習指導要領における領域・内容
【第1学年】C 数量関係 (1) = 【第2学年】C 数量関係 (1) ア

ところで、キャップ1個の重さは2.3gのものや3gのものがあるようですが、どうしたらよいでしょうか。
キャップの重さが全て等しいと考えるのがいいと思います。
20個取って重さを量ったら46gだったので、その平均的2.3gをキャップ1個の重さと考えればいいと思います。
キャップ1個の重さを2.3gとする。
 $8755 - 1943 = 6812$ $6812 \div 2.3 = 2961.7$
回収箱の中にはおよそ2962個のキャップが入っている。
3. キャップの個数を求める過程を振り返り、数学的に解釈する。
キャップの入った回収箱全体の重さと、キャップ1個の重さ、空の回収箱の重さの関係を式に表してみましょう。
$$\left[\begin{array}{l} \text{キャップの入った} \\ \text{回収箱の重さ} \end{array} \right] = \left[\begin{array}{l} \text{キャップ1個} \\ \text{の重さ} \end{array} \right] \times \left[\begin{array}{l} \text{キャップ} \\ \text{の個数} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{l} \text{空の回収箱} \\ \text{の重さ} \end{array} \right]$$

キャップの個数をx個とし、x個のキャップの入った回収箱の重さをy g とすると、 $y = ax + b$ (a, bは定数) と表すことができ、yはxの一次関数である。
キャップ1個の重さは2.3gで、空の回収箱の重さは1943gだったので、 $y = 2.3x + 1943$ と表すことができるね。
4. 計算で求めた個数を実際の個数と比較する。
実際に何個入っているか量って確かめてみよう。
回収箱の中のキャップの個数を数えてみると、2968個ありました。計算で求めた個数と大体合っているね。この方法で個数を求めてもよさそうだね。
この式をつかっておけば、来月からキャップの回収箱の重さを量れば計算でキャップのおよその個数が分かります。
訳することが大切である。
○ 容易に入った釘の本数を重さで求める事例など、日常的な事象の問題解決に一次関数を活用する他の事例を扱うことも考えられる。
○ 本学習内容で取り上げている「生徒会だより」は、中学校国語A3と共通の素材であるので、国語科と学習指導の連携を図ることが考えられる。

単元テスト

中学校2年1次関数 チャレンジ

期	章	単元	名前
月	日	正答数	/5

3 1次関数

1 次の問に答えなさい。
(1) グラフが点(-2, 0)を通り、直線 $y = \frac{1}{2}x - 7$ に平行である1次関数を求めなさい。
(2) 1次関数 $y = -2x + b$ で、xの変域が-4 ≤ x ≤ 3のとき、yの変域が-2 ≤ y ≤ 12となります。このときのbの値を求めなさい。

2 家から本屋まで900mのまっすぐな道があります。正子さんは午前9時に家を出発し、この道を本屋まで歩き、本屋にしばらくしてから、同じ道を同じ速さで歩き、午前9時50分に家にもどりました。
右の図は、正子さんが家を出発してから本屋に着くまでのようすを表したものです。
(1) 正子さんが家に着くまでのようすを表すグラフを、上の図にかき入れなさい。
(2) 時は正子さんが家を出発してから30分経過後、同じ速さで、分速90mで歩いた。2人が出会ったのは、正子さんが家を出発してから何分経過後ですか。

◎中2 チャレンジ (3 一次関数) など

数学シート

中学2年 学習シート No.1

関数	期	章	単元	名前
----	---	---	----	----

問題
あきさんは、週末クラブで、国指定天然記念物である滝川を訪れました。滝川には大小さまざまな鍾乳石がありました。鍾乳石は、カルシウム分をふんだんに地下水が鍾乳石の上になれたことによって、カルシウム分が鍾乳石に沈着し、成長していきます。
(1) 滝川の中で、最長の長さの鍾乳石は11mでした。その後、あきさんが鍾乳石について調べていたところ、次のような発見をしました。
自然な鍾乳石は、100年で6mm成長します。
① 鍾乳石の長さ
② 滝川にぶら下がっている鍾乳石の長さ

◎中2 学習シート No.1 (関数) など

あきさんは、週末クラブの探検で、滝川を訪れて、11mの長さの鍾乳石を見つけた。あきさんは、滝川を訪れたとき、鍾乳石の成長が100年で6mmだと知りました。その後、この鍾乳石が成長していくようすを式とグラフで表しました。作ったグラフがこれです。
けんじさん：あきさん、12mになったときの年数が分かっていいますよ。でも、おもしろそうだから、ぼも聞いてみたい。あきさん、答えはあとで教えてくださいね。
(2) 鍾乳石が12mに達するまでにかかる年数を、小数第一位を四捨五入して整数で答えなさい。
(3) グラフから、鍾乳石の長さや成長にかかる年数には、どのような関係にあるといえますか。次のア～エの中から適当なものをつ選び、記号で答えなさい。
ア 鍾乳石の長さや成長にかかる年数には、反比例の関係がある。
イ 鍾乳石の長さや成長にかかる年数には、反比例の関係がある。
ウ 鍾乳石の長さや成長にかかる年数には、1次関数の関係がある。
エ 鍾乳石の長さや成長にかかる年数には、2次関数の関係がある。

単元テストや数学シート、算数・数学授業ガイドブック、全国学力・学習状況調査問題を授業で活用しましょう。

教科に関する質問紙調査より

【国語】

国語の学習に対する意欲等について



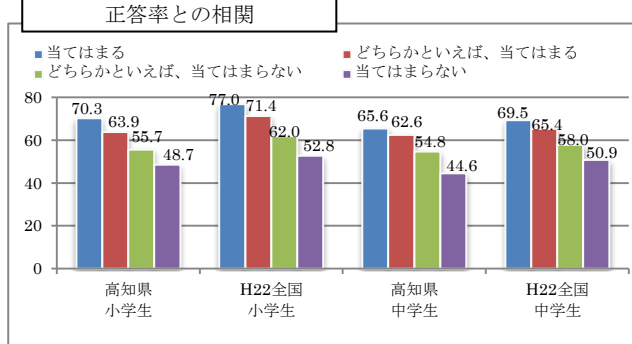
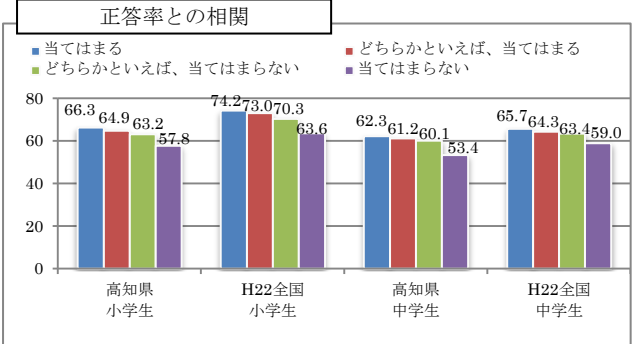
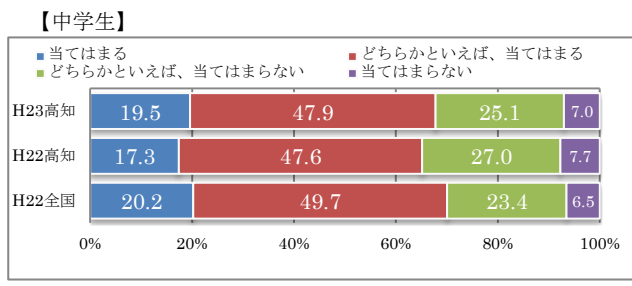
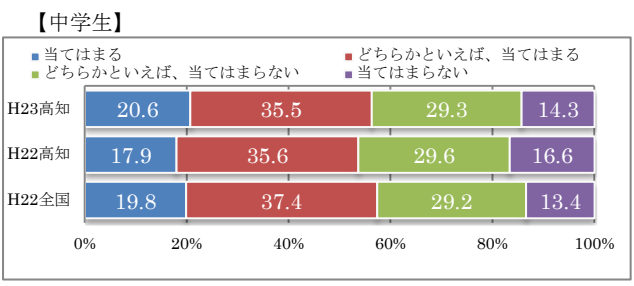
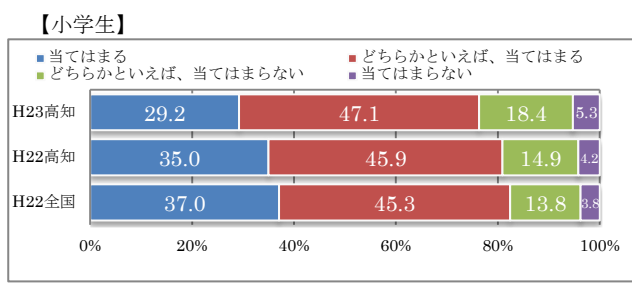
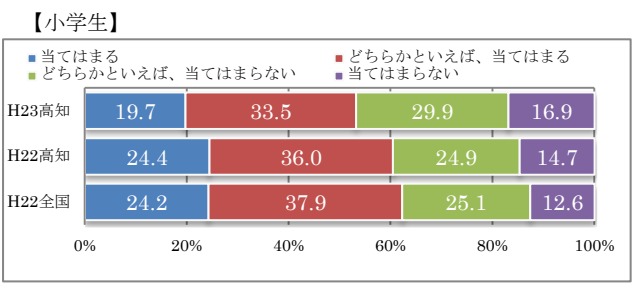
児童生徒質問紙調査〔肯定群の割合〕

※（ ）内は「当てはまる」の数値。

質問	小学生			中学生		
	本県	本県-22全国	本県 23-22	本県	本県-22全国	本県 23-22
国語の勉強は好きだ 【質問 52】	53.2% (19.7%)	-8.9 (-4.5)	-7.2 (-4.7)	56.1% (20.6%)	-1.1 (+0.8)	+2.6 (+2.7)
国語の勉強は大切だ 【質問 53】	90.0% (60.7%)	-1.6 (-3.3)	-0.7 (-0.4)	85.6% (48.3%)	-3.4 (-4.5)	-1.1 (+0.4)
国語の授業の内容はよく分かる 【質問 54】	76.3% (29.2%)	-6.0 (-7.8)	-4.6 (-5.8)	67.4% (19.5%)	-2.5 (-0.7)	+2.5 (+2.2)
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ 【質問 56】	86.1% (52.6%)	-1.2 (0)	-0.9 (-0.8)	79.6% (37.7%)	-1.3 (-1.5)	+1.7 (+1.2)

質問 52 国語の勉強は好きだ

質問 54 国語の授業の内容はよく分かる



【質問 5 2】「国語の勉強は好きですか」、【質問 5 4】「国語の授業の内容はよく分かりますか」とも、肯定群の小学生はH 2 2年度より減少傾向にあり、H 2 2全国との差も開いています。どちらの質問においても、肯定群の中学生はH 2 2年度より増加傾向にあります。H 2 2全国に比べると、肯定群は下回っています。【質問 5 2】、【質問 5 4】とも、教科の正答率との相関が顕著に見られることから、小・中学生が国語の勉強が好きと感じられ、授業の内容に対してよく分かるという意識をもてるような授業づくりを工夫することが大切です。

➡ 小・中学生が自分の言語活動を振り返り、学習意欲を高めるために、学習目標・内容に照らして学習の成果を確かめる機会を設定し、達成感や学習の有用性を感じることができるよう授業の工夫をしましょう。

国語の授業内容に関する意識について

※ () 内は「当てはまる」の数値。以下、同じ。

児童生徒質問紙調査 [肯定群の割合]

質問	小学生			中学生		
	本県	本県-22 全国	本県 23-22	本県	本県-22 全国	本県 23-22
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している 【質問 58】	52.3% (14.7%)	-6.3 (-3.2)	-4.6 (-1.6)	39.6% (8.8%)	-2.7 (-0.1)	-0.3 (+0.4)

学校質問紙調査 [肯定群の割合]

質問	小学校			中学校		
	本県	本県-22 全国	本県 23-22	本県	本県-22 全国	本県 23-22
国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った 【質問 52】	84.0% (13.7%)	-4.7 (-8.2)	-2.7 (-4.9)	79.0% (8.8%)	+2.5 (-7.6)	+2.2 (+1.8)

児童生徒質問紙調査 [肯定群の割合]

質問	小学生			中学生		
	本県	本県-22 全国	本県 23-22	本県	本県-22 全国	本県 23-22
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている 【質問 59】	64.9% (23.8%)	-4.3 (-2.9)	-3.8 (-1.4)	54.3% (15.8%)	-3.4 (-0.1)	-0.1 (+0.9)

学校質問紙調査 [肯定群の割合]

質問	小学校			中学校		
	本県	本県-22 全国	本県 23-22	本県	本県-22 全国	本県 23-22
国語の授業において、書く習慣を付ける授業を行った 【質問 53】	93.9% (30.7%)	+4.5 (+2.4)	+4.5 (+2.4)	86.8% (27.2%)	-4.3 (-4.5)	-5.1 (+5.0)

児童生徒質問紙調査 [肯定群の割合]

質問	小学生			中学生		
	本県	本県-22 全国	本県 23-22	本県	本県-22 全国	本県 23-22
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている 【質問 57】	55.6% (16.3%)	-4.5 (-0.9)	-1.7 (-1.1)	42.9% (10.9%)	-2.9 (+0.1)	+1.4 (+1.2)
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいる 【質問 60】	69.6% (27.7%)	-3.8 (-4.5)	-2.2 (-2.7)	60.8% (19.3%)	-2.9 (-0.7)	-2.1 (-1.5)

学校質問紙調査 [肯定群の割合]

質問	小学校			中学校		
	本県	本県-22 全国	本県 23-22	本県	本県-22 全国	本県 23-22
国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った 【質問 54】	85.9% (18.4%)	+2.9 (-2.4)	+3.6 (-5.5)	78.0% (14.0%)	-6.7 (-7.2)	-1.1 (-3.6)

学校質問紙調査 [肯定群の割合]

質問	小学校			中学校		
	本県	本県-22 全国	本県 23-22	本県	本県-22 全国	本県 23-22
国語の授業において、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った 【質問 55】	95.7% (46.2%)	-2.3 (-6.3)	-1.7 (-3.4)	96.5% (39.5%)	-1.4 (-17.9)	+4.7 (-8.2)

児童生徒質問紙【質問 59】「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている」の肯定群は小学生 64.9%、中学生 54.3%ですが、学校質問紙【質問 53】「国語の授業において、書く習慣を付ける授業を行った」の肯定群は小学校 93.9%、中学校 86.8%であり、児童生徒の意識と教師側の意識との差にずれがあることが分かります。今後の指導において、この受け止め方の差をいかに少なくしていくかということを意識して取り組んでいくことが必要です。

➡ 小・中学生が、設定された学習目標・内容を意識して言語活動を行うとともに、その目標・内容に照らして自分の言語活動を振り返り、学習したことを認識できるよう工夫しましょう。

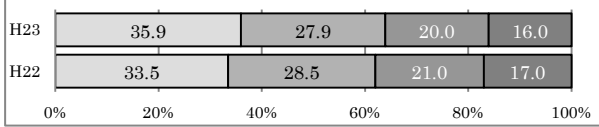
【算数・数学】

児童生徒質問紙調査

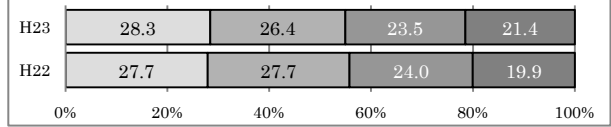
【算数（数学）の授業は好きだ】（質問 6 3）

□ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

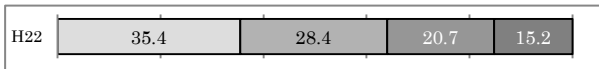
〈高知県小学生経年〉



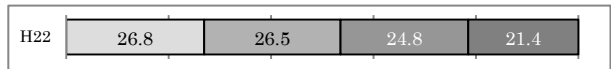
〈高知県中学生経年〉



〈22年度全国小学生〉



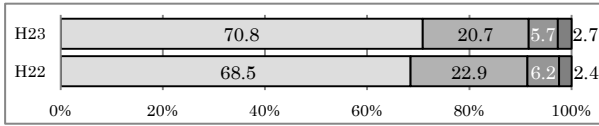
〈22年度全国中学生〉



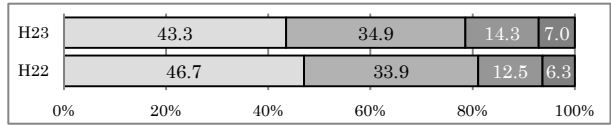
【算数（数学）の勉強は大切だ】（質問 6 4）

□ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

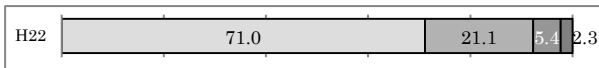
〈高知県小学生経年〉



〈高知県中学生経年〉



〈22年度全国小学生〉



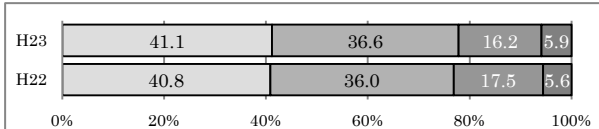
〈22年度全国中学生〉



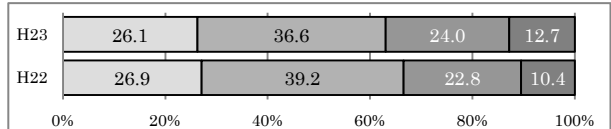
【算数（数学）の授業の内容はよく分かる】（質問 6 5）

□ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

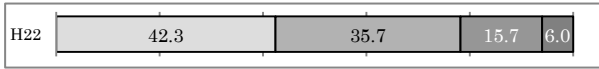
〈高知県小学生経年〉



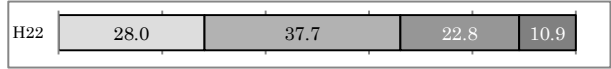
〈高知県中学生経年〉



〈22年度全国小学生〉



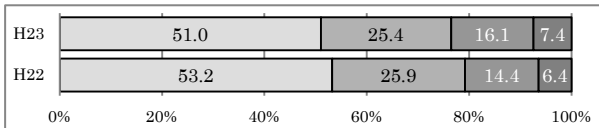
〈22年度全国中学生〉



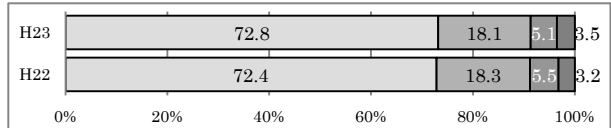
【算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい（数学ができるようになりたい）】（質問 6 6）

□ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

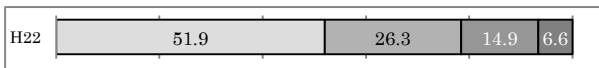
〈高知県小学生経年〉



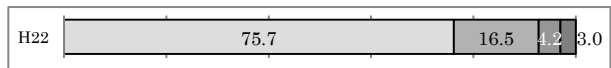
〈高知県中学生経年〉



〈22年度全国小学生〉



〈22年度全国中学生〉



算数（数学）の「授業が好き」、「勉強が大切だ」、「授業の内容がよく分かる」と回答した割合は、中学生よりも小学生の方が多くなっています。特に、小学生の「勉強が大切だ」については、「当てはまる」と回答した割合が70.8%であり、肯定群の割合は90%以上となっています。中学生では、「数学ができるようになりたい」について、「当てはまる」と回答した割合は72.8%であり、肯定群の割合は90%以上となっています。

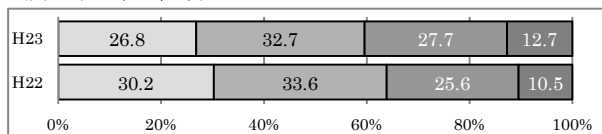
本県小・中学生の算数・数学に対する関心・意欲等に関する項目では、H22全国と比較してほぼ同じ状況にあるといえます。

小・中学生の学習意欲を高め、持続させることのできる授業の展開や指導の手立てをさらに工夫しましょう。

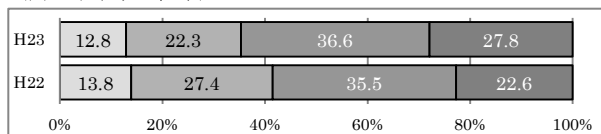
【算数（数学）の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える】（質問68）

□ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる □ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない

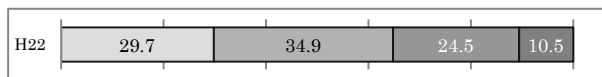
〈高知県小学生経年〉



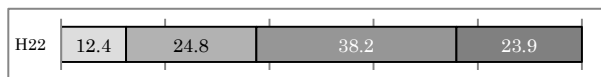
〈高知県中学生経年〉



〈22年度全国小学生〉



〈22年度全国中学生〉

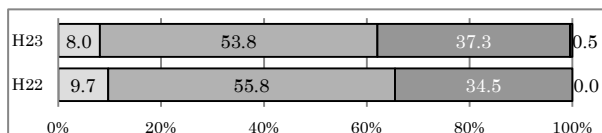


学校質問紙調査

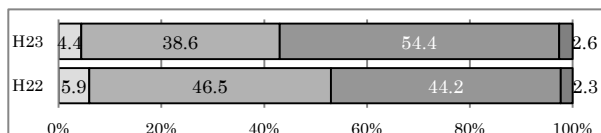
【算数（数学）の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行った】（質問58）

□ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる □ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない

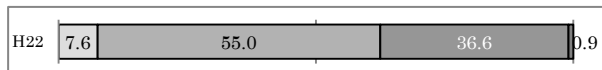
〈高知県小学校経年〉



〈高知県中学校経年〉



〈22年度全国小学校〉



〈22年度全国中学校生〉



「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した割合は小学生26.8%、中学生が12.8%となっています。また、「算数（数学）の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行った」学校の割合は小学校が8.0%、中学校が4.4%となっています。

学習指導要領においても、算数・数学を日常生活の中で活用しようとする態度を育成することが示されています。そのため、授業では日常的な場面等を設定し、問題解決を通して算数・数学のよさを実感させる活動を充実させることが大事になってきます。

4 質問紙調査の結果（児童生徒質問紙）

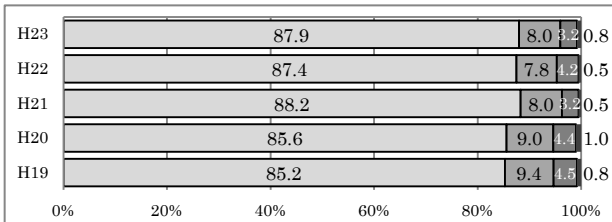
〔基本的生活習慣〕

【朝食を毎日食べていますか】

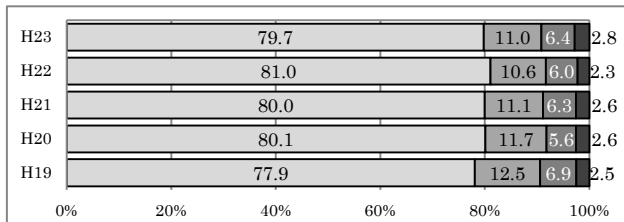
※「肯定群」は、選択肢の「している・どちらかといえば、している」や「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」など、肯定的な選択肢を選択している場合を表す。

□ している ■ どちらかといえば、している ■ あまりしていない ■ 全くしていない

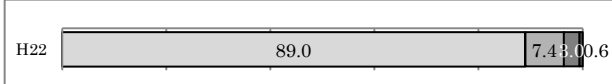
〈高知県小学生経年〉



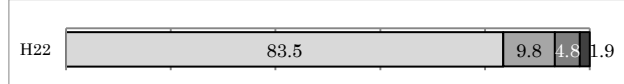
〈高知県中学生経年〉



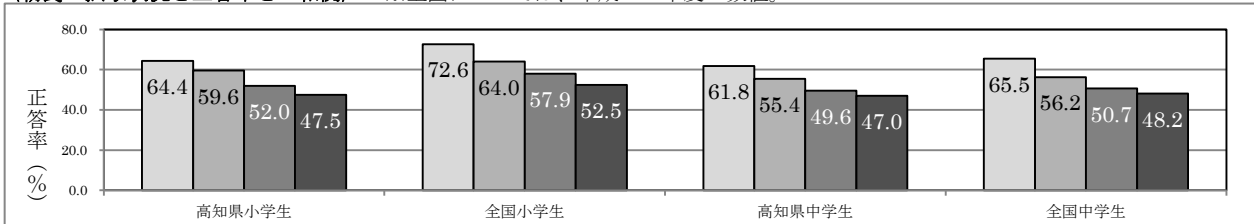
〈22年度全国小学生〉



〈22年度全国中学生〉



〈朝食の摂取状況と正答率との相関〉 ※全国については、平成22年度の数値。



小・中学生ともに朝食を食べる子どもの方が、正答率が高い傾向にあります。また、基本的生活習慣に関する他の項目についても、同様の傾向が見られます。

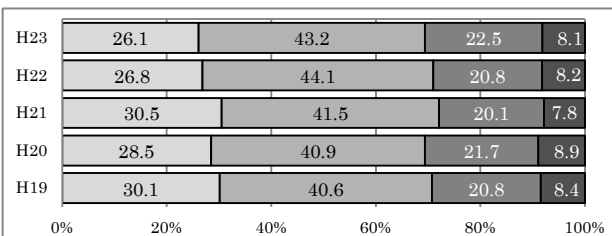
基本的生活習慣を身に付けることは、学習習慣の定着には欠かせないと考えられます。

〔自尊感情〕

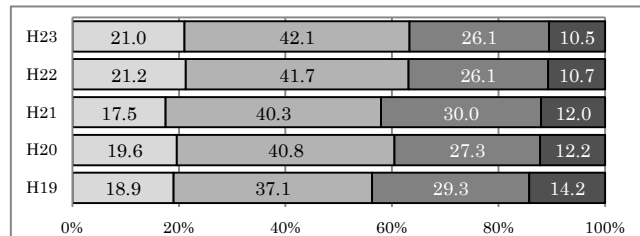
【自分には、よいところがあると思いますか】

□ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

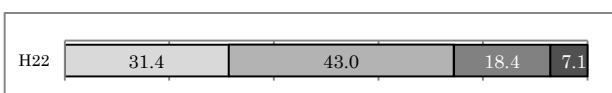
〈高知県小学生経年〉



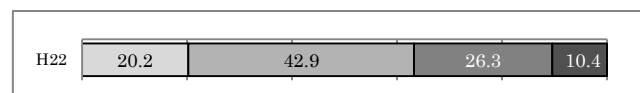
〈高知県中学生経年〉



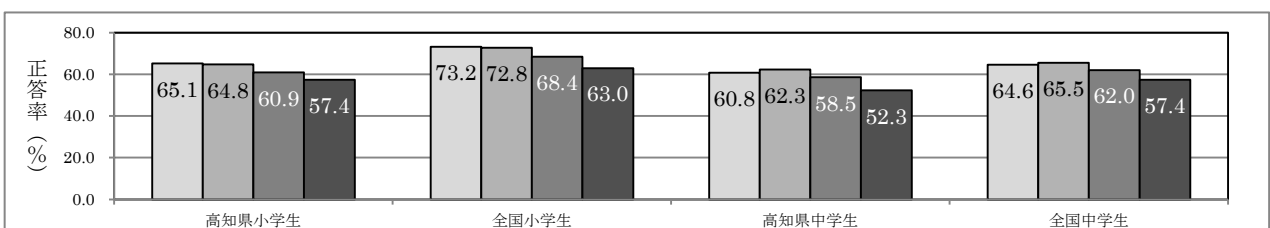
〈22年度全国小学生〉



〈22年度全国中学生〉



〈自尊感情と正答率との相関〉 ※全国については、平成22年度の数値。



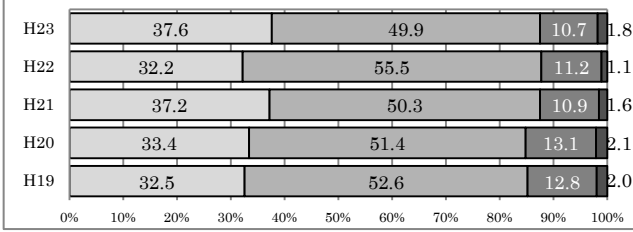
小・中学生ともに自尊感情の高い子どもの方が、正答率が高い傾向にあります。授業や行事などに取り組んだ結果だけでなく、取り組んでいる子どもの姿を評価していくことが大切です。また、友達や保護者、地域の方などからの評価も自尊感情を育むことにつながります。

【規範意識】

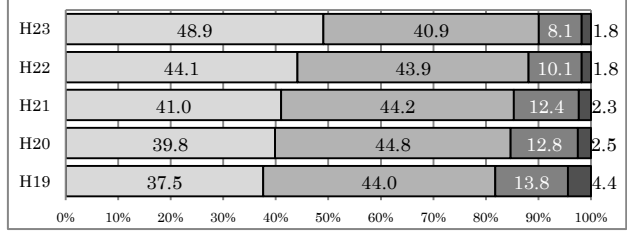
【学校のきまりを守っていますか】

□ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる □ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない

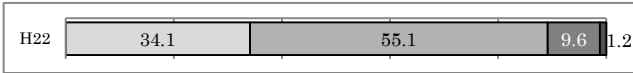
〈高知県小学生経年〉



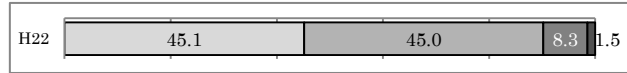
〈高知県中学生経年〉



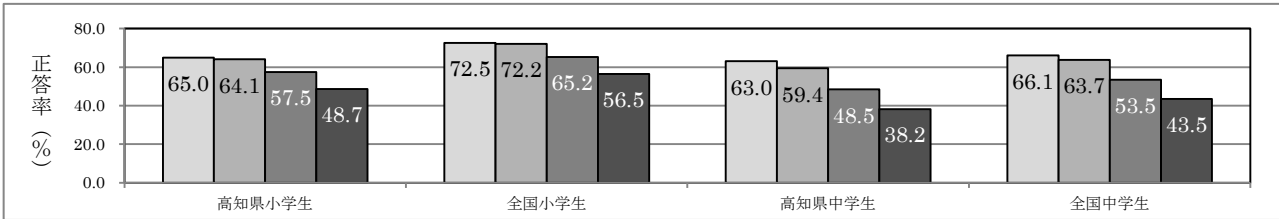
〈22年度全国小学生〉



〈22年度全国中学生〉



〈規範意識と正答率との相関〉 ※全国については、平成22年度の数値。



中学生の肯定的な回答は増加傾向にあります。また、小・中学生ともに規範意識の高い子どもの方が、正答率が高い傾向にあります。

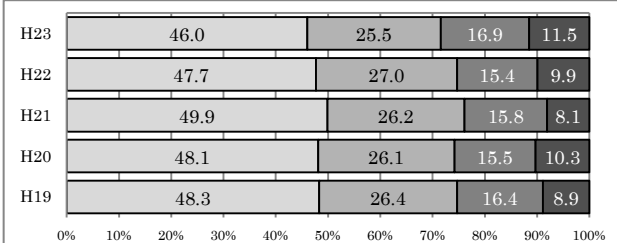
学校においては、道徳や特別活動を充実させ、集団や社会の中できまりや約束を守ることの大切さを伝える必要があります。

【読書】

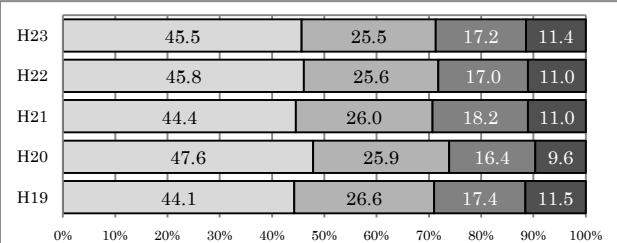
【読書は好きですか】

□ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる □ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない

〈高知県小学生経年〉



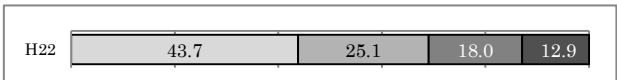
〈高知県中学生経年〉



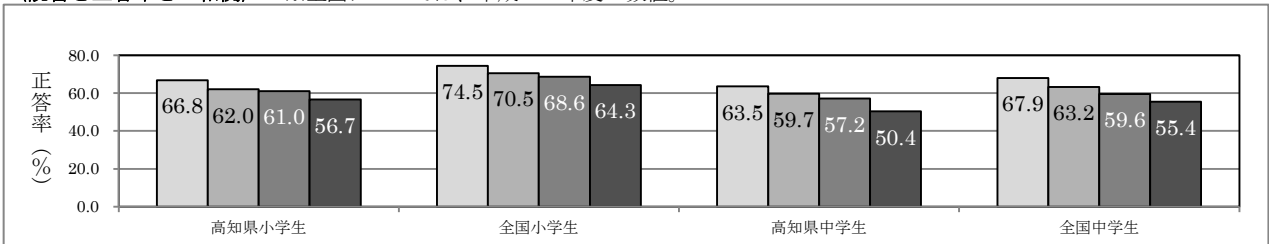
〈22年度全国小学生〉



〈22年度全国中学生〉



〈読書と正答率との相関〉 ※全国については、平成22年度の数値。

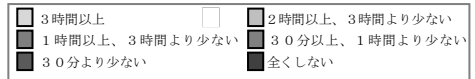


肯定群の割合は小学生では5年間で最も少なく、H21年度のピークから4.6ポイント、H22全国と比較して1.5ポイント低くなっています。中学生では昨年度と同じ傾向にあります。

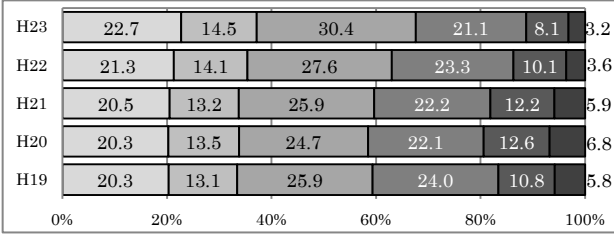
読書が好きなお・中学生ほど正答率が高い傾向にあり、読書への興味・関心を高め、読書習慣を身に付ける指導が大切です。

【家庭での学習時間】

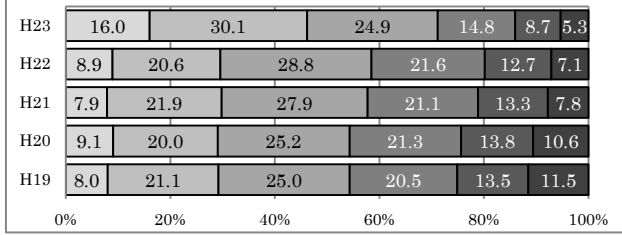
【学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか】



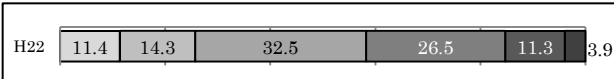
〈高知県小学生経年〉



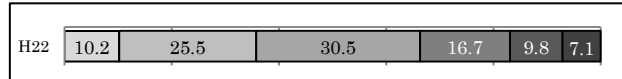
〈高知県中学生経年〉



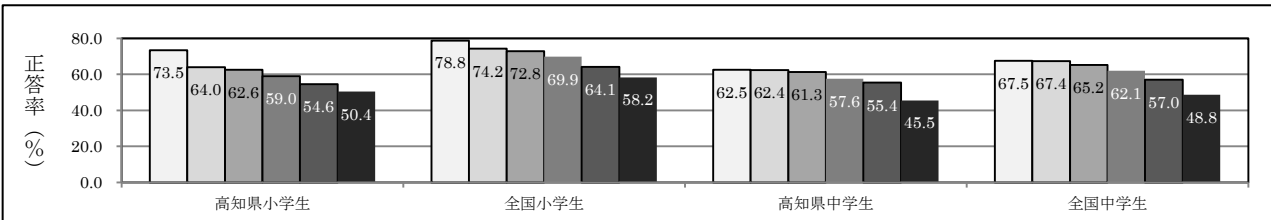
〈22年度全国小学生〉



〈22年度全国中学生〉



〈家庭での学習時間と正答率との相関〉 ※全国については、平成22年度の数値。



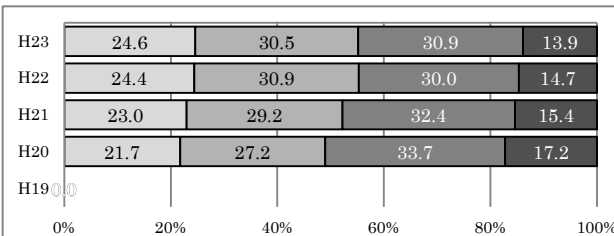
小・中学生ともに家庭学習時間が多いほど、正答率が高くなる傾向にあります。特に中学生は、「2時間以上、家で学習する」割合がH22年度より12.7ポイント高くなっており、「全くしない」生徒の割合はH19年度より減少傾向にあります。今後は、家庭での学習の量と質を充実させていくことが大切です。

【家庭学習】

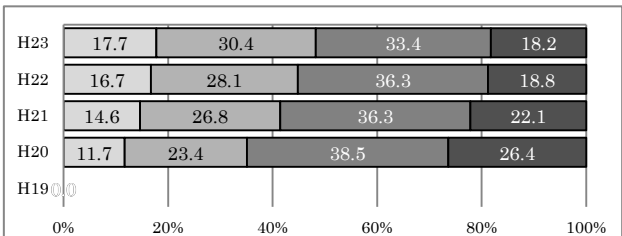
【家で自分で計画を立てて勉強していますか】



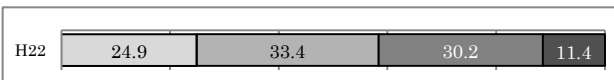
〈高知県小学生経年〉



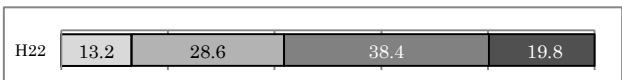
〈高知県中学生経年〉



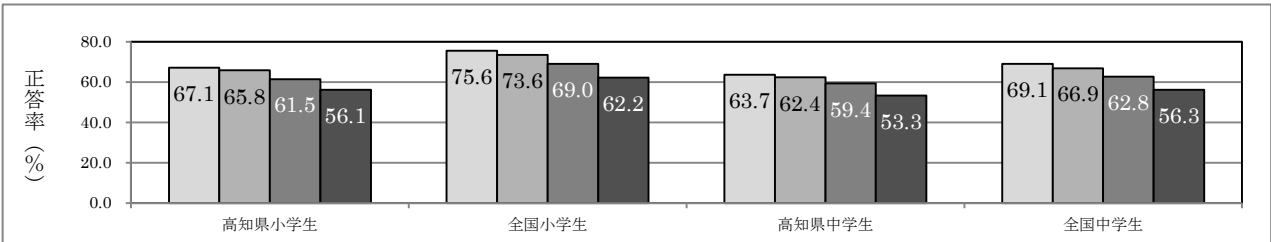
〈22年度全国小学生〉



〈22年度全国中学生〉

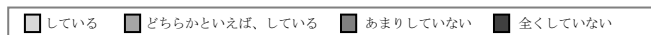


〈計画を立てて勉強することと正答率との相関〉 ※全国については、平成22年度の数値。

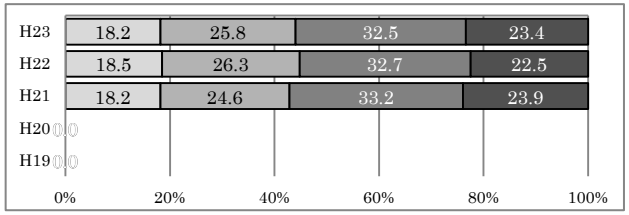


小・中学生の肯定群の割合は、H20年度から増加傾向にあり、家庭学習の習慣化が図られてきたと考えられます。「家で自分で計画を立てて勉強をしている」小・中学生の方が、正答率が高い傾向にあり、家庭学習への意欲を引き出せるように予習→授業→復習の学習のサイクルを確立させ、見通しをもって学習することが大切です。

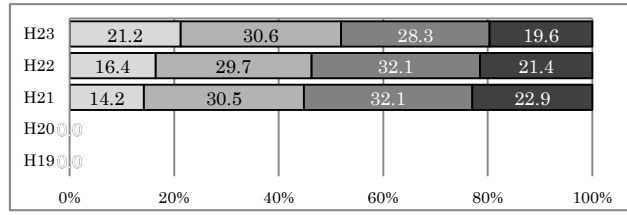
【家で苦手な教科の勉強をしていますか】



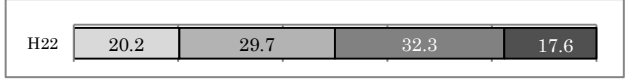
〈高知県小学生経年〉



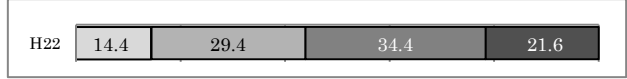
〈高知県中学生経年〉



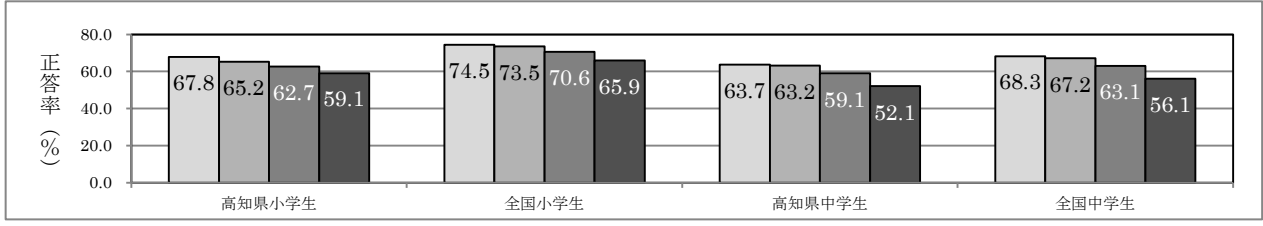
〈22年度全国小学生〉



〈22年度全国中学生〉



〈苦手な教科の勉強と正答率との相関〉 ※全国については、平成22年度の数值。

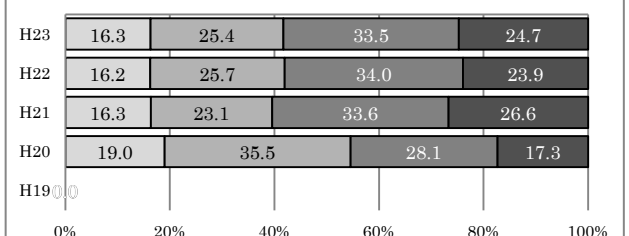


「家で苦手な教科の勉強をしている」小・中学生の方が、正答率が高い傾向にあります。肯定群の割合は、小学生では50%に達しておらず、中学生では50%程度です。
家で苦手な教科の勉強を積極的に行い、苦手意識を克服していくことが学力向上につながると考えられます。

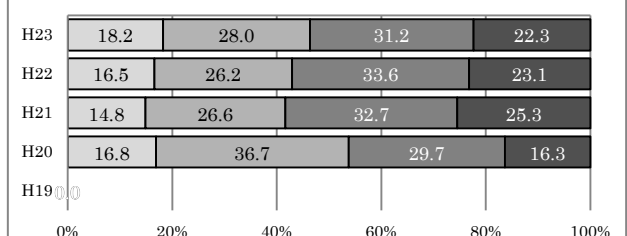
【家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか】



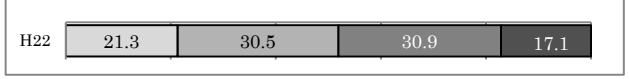
〈高知県小学生経年〉



〈高知県中学生経年〉



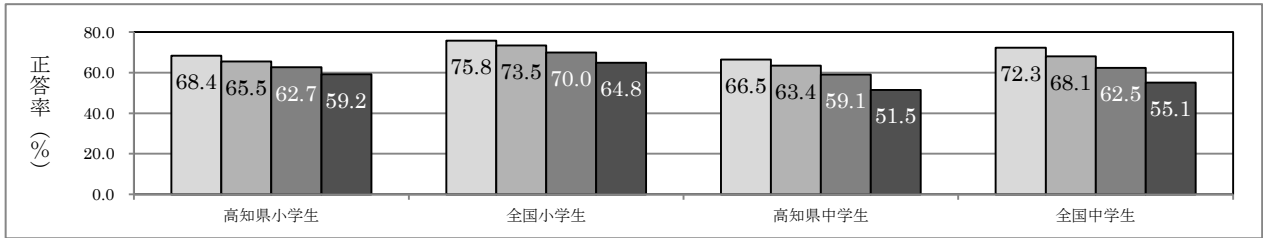
〈22年度全国小学生〉



〈22年度全国中学生〉



〈テストで間違えた問題の勉強と正答率との相関〉 ※全国については、平成22年度の数值。

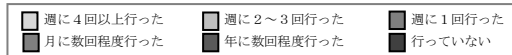


「テストで間違えた問題を勉強している」小・中学生の方が、正答率が高い傾向にあります。小・中学生とも肯定群の割合は50%に達していません。
間違えた問題を振り返り、自発的に復習をすることが学力向上につながると考えられます。

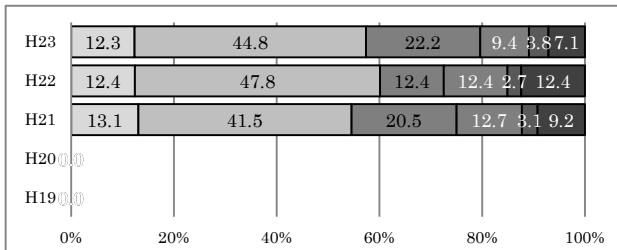
5 質問紙調査の結果（学校質問紙）

【放課後の学習サポート】

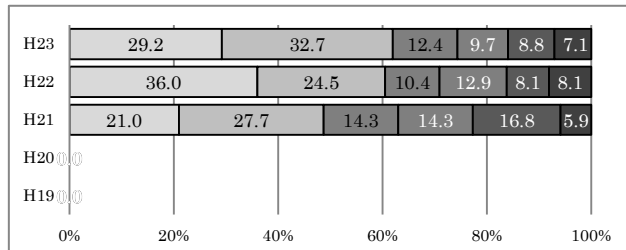
【放課後を利用した補充的な学習サポートを実施していますか】



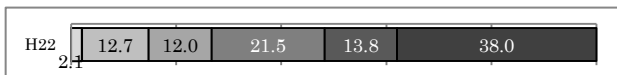
〈高知県小学校経年〉



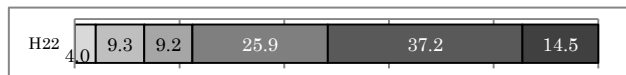
〈高知県中学校経年〉



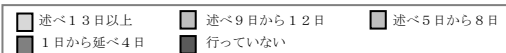
〈22年度全国小学校〉



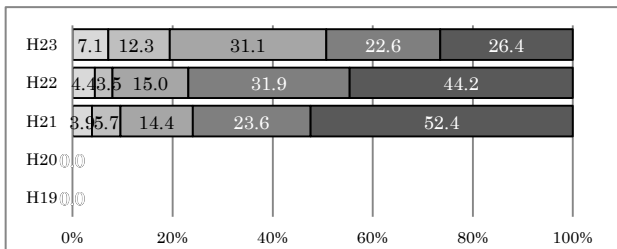
〈22年度全国中学校〉



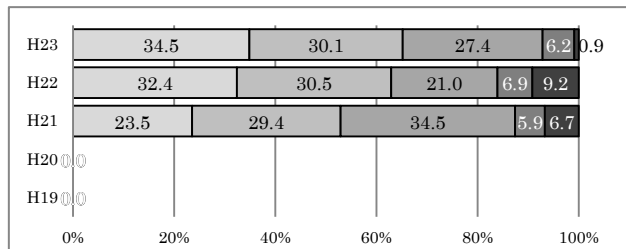
【長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施していますか】



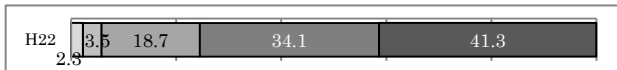
〈高知県小学校経年〉



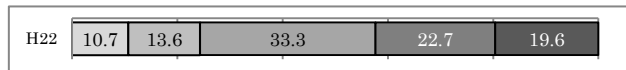
〈高知県中学校経年〉



〈22年度全国小学校〉



〈22年度全国中学校〉

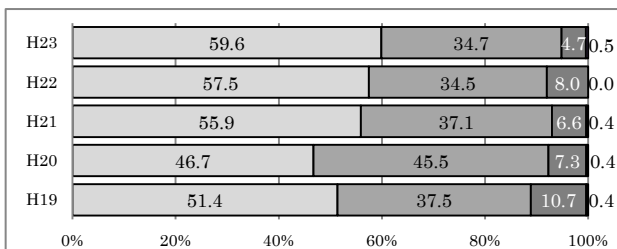


【校内研修】

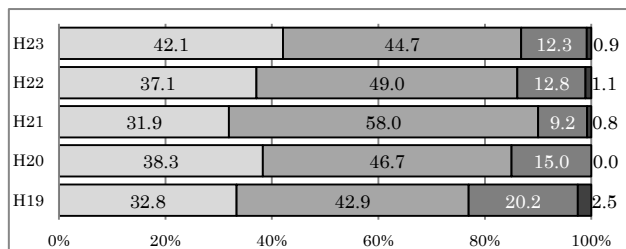
【模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか】



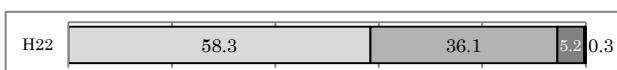
〈高知県小学校経年〉



〈高知県中学校経年〉



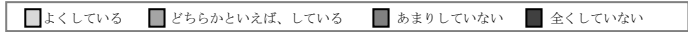
〈22年度全国小学校〉



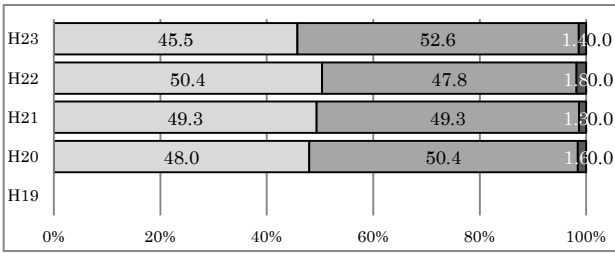
〈22年度全国中学校〉



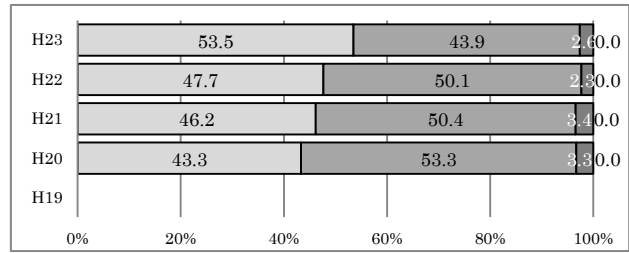
【学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか】



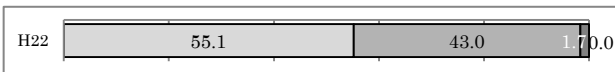
〈高知県小学校経年〉



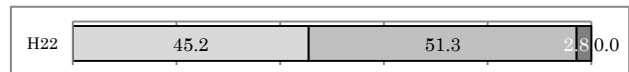
〈高知県中学校経年〉



〈22年度全国小学校〉



〈22年度全国中学校〉

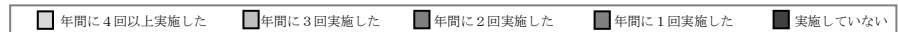


放課後や長期休業中の補充的な学習サポート体制は、H22全国と比べ圧倒的に実施の割合が高く、サポート体制が充実していると言えます。校内研修の実施については、小・中学校ともに肯定群がH22年度より増加しています。また、各学校の目標に向かって、全教職員が同じベクトルで取り組みを進めていることも分かります。特に中学校では、「よくしている」がH22年度より5.8ポイント増加し、H22全国より8.3ポイント上回っています。

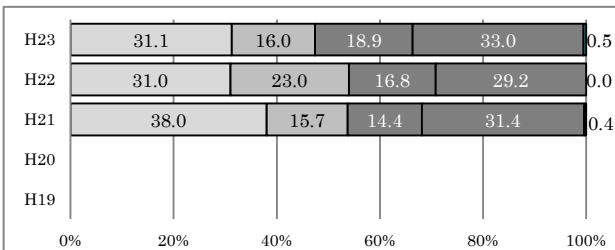
このように、学校の組織的な取り組みに関する調査結果を見ると、高知県の小・中学校の意識が年々高まってきていることがうかがえます。今後も、各学校の目標を具体的なレベルで共有するとともに、教職員の確かな協力体制を築き、「学校改善プラン」に基づいて、学力向上のPDCAサイクルを確立させることが大切です。

【保護者や地域とのかかわり】

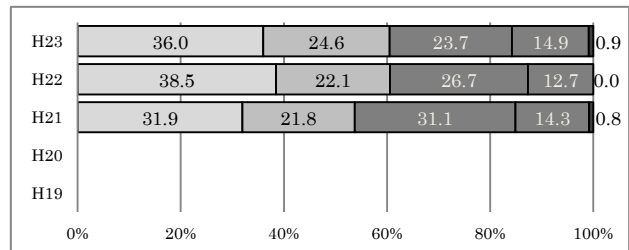
【保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度にどれくらい実施しましたか】



〈高知県小学校経年〉



〈高知県中学校経年〉



〈22年度全国小学校〉



〈22年度全国中学校〉



保護者から意見や要望を聞くためのアンケート調査を実施している学校は、H22全国と比べると依然として、小・中学校とも低くなっています。

授業公開や懇談会、学校行事の在り方を工夫することや、保護者や地域との連携を積極的に進めることが大切です。

6 質問紙調査結果一覧

児童質問紙調査

番号	質問項目	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国(H22)		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(1)	朝食を毎日食べていますか	-0.5	95.9	4.0	96.4	3.6	
(2)	学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか	-4.3	82.8	17.3	87.1	12.9	
(3)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	0.4	75.9	24.1	75.5	24.6	
(4)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	-1.8	88.5	11.6	90.3	9.7	
(5)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	-1.0	93.1	6.9	94.1	5.8	
(6)	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか	-3.6	70.6	29.4	74.2	25.8	
(7)	自分には、よいところがあると思いますか	-5.1	69.3	30.6	74.4	25.5	
(8)	将来の夢や目標を持っていますか	-5.4	81.4	18.6	86.8	13.2	
(21)	家の人と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べていますか	-5.9	83.7	16.3	89.6	10.3	
(22)	家の人と学校での出来事について話をしていますか	-4.8	69.4	30.5	74.2	25.7	
(23)	家の手伝いをしていますか	-4.3	75.9	24.1	80.2	19.6	
(24)	携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	1.1	26.9	5.0	25.8	4.2	携帯電話を持っていない 高知県68%(H23)
(25)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	-3.2	55.1	44.8	58.3	41.6	
(26)	家で学校の宿題をしていますか	-1.6	94.4	5.6	96.0	3.9	
(27)	家で学校の授業の予習をしていますか	-9.9	30.5	69.4	40.4	59.6	
(28)	家で学校の授業の復習をしていますか	-4.8	44.8	55.2	49.6	50.4	
(29)	家で苦手な教科の勉強をしていますか	-5.9	44.0	55.9	49.9	49.9	
(30)	家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか	-10.1	41.7	58.2	51.8	48.0	
(31)	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	-0.8	95.7	4.4	96.5	3.4	
(32)	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか	-2.8	64.1	35.9	66.9	33.0	
(33)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	-6.2	55.4	44.6	61.6	38.3	
(34)	学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強を教 えてもらったりすることがありますか		36.9	63.1			新規
(35)	年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりする ことがありますか		67.8	32.1			新規
(36)	学校のきまりを守っていますか	-1.7	87.5	12.5	89.2	10.8	
(37)	友達との約束を守っていますか	-0.2	96.5	3.6	96.7	3.3	
(38)	人が困っているときは、進んで助けていますか	-1.0	78.6	21.3	79.6	20.3	
(39)	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	-2.1	87.8	12.2	89.9	10.1	
(40)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	-1.9	90.1	9.8	92.0	7.9	
(41)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	0.1	95.1	4.8	95.0	4.9	
(42)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	-1.1	92.3	7.6	93.4	6.5	
(43)	あなたの学級では、学級の友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決 めていると思いますか	1.2	82.3	17.6	81.1	18.8	
(44)	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	-2.6	75.9	24.0	78.5	21.3	
(45)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出 たときに役に立つと思いますか	-0.7	81.2	18.8	81.9	17.9	

番号	質問項目	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国(H22)		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(46)	普通の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか	-9.8	44.3	55.6	54.1	45.8	
(47)	普通の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	1.1	82.6	17.4	81.5	18.4	
(48)	普通の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか	3.3	79.4	20.5	76.1	23.8	
(49)	授業では、ノートを丁寧に書いていますか	-5.5	70.0	29.9	75.5	24.4	
(50)	400字づつめ原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか	0.3	68.4	31.2	68.1	31.3	
(51)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか	0.3	65.7	33.8	65.4	33.9	
(52)	国語の勉強は好きですか	-8.9	53.2	46.8	62.1	37.7	
(53)	国語の勉強は大切だと思いますか	-1.6	90.0	9.9	91.6	8.2	
(54)	国語の授業の内容はよく分かりますか	-6.0	76.3	23.7	82.3	17.6	
(55)	読書は好きですか	-1.5	71.5	28.4	73.0	26.8	
(56)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	-1.2	86.1	13.8	87.3	12.5	
(57)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	-4.5	55.6	44.2	60.1	39.7	
(58)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	-6.3	52.3	47.6	58.6	41.2	
(59)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	-4.3	64.9	35.0	69.2	30.6	
(60)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごと内容に理解しながら読んでいますか	-3.8	69.6	30.2	73.4	26.4	
(61)	国語B-2の問題にあるような、長い文章を読むのは難しかったですか	12.2	50.9	48.8	38.7	61.1	
(62)	解答を文章で書く問題について、どのように解答しましたか	-1.8	70.8	28.4	72.6	26.6	肯定群は最後まで解答しようとした児童の割合
(63)	算数の勉強は好きですか	0.0	63.8	36.0	63.8	35.9	
(64)	算数の勉強は大切だと思いますか	-0.6	91.5	8.4	92.1	7.7	
(65)	算数の授業の内容はよく分かりますか	-0.3	77.7	22.1	78.0	21.7	
(66)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	-1.8	76.4	23.5	78.2	21.5	
(67)	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	-1.3	76.0	23.8	77.3	22.5	
(68)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	-5.1	59.5	40.4	64.6	35.0	
(69)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	-0.2	88.8	11.0	89.0	10.6	
(70)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	-4.1	74.8	25.0	78.9	20.7	
(71)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	-1.9	77.8	22.1	79.7	19.9	
(72)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	-2.5	78.3	21.6	80.8	18.8	
(73)	言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、どのように解答しましたか	8.1	70.1	28.7	62.0	36.5	肯定群は最後まで解答しようとした児童の割合
(74)	解答時間は十分でしたか(国語A)	-6.9	83.0	16.7	89.9	9.5	肯定群は時間が余った、ちょうどよかった割合
(75)	解答時間は十分でしたか(国語B)	-37.3	44.6	55.1	81.9	17.6	肯定群は時間が余った、ちょうどよかった割合
(76)	解答時間は十分でしたか(算数A)	1.8	88.9	10.9	87.1	12.4	肯定群は時間が余った、ちょうどよかった割合
(77)	解答時間は十分でしたか(算数B)	4.4	66.2	33.5	61.8	37.7	肯定群は時間が余った、ちょうどよかった割合

★質問(9)～(20)は、起床時刻、生活のリズム、学習時間等の質問であり、肯定群、否定群という標記からは除外している。

★**白抜き**は、全国(H22)の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問項目、**太字**は全国(H22)の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問項目を表している。

生徒質問紙調査

番号	質問項目	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国(H22)		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(1)	朝食を毎日食べていますか	-2.6	90.7	9.2	93.3	6.7	
(2)	学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか	-8.8	75.7	24.1	84.5	15.4	
(3)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	1.4	72.4	27.3	71.0	28.8	
(4)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	-0.1	91.1	8.7	91.2	8.6	
(5)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	-0.1	92.6	7.3	92.7	7.2	
(6)	難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか	0.4	64.5	35.2	64.1	35.8	
(7)	自分には、よいところがあると思いますか	0.0	63.1	36.6	63.1	36.7	
(8)	将来の夢や目標を持っていますか	3.1	74.8	24.9	71.7	28.2	
(21)	家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか	-3.8	78.9	20.9	82.7	17.3	
(22)	家の人と学校での出来事について話をしていますか	-5.1	58.6	41.1	63.7	36.1	
(23)	家の手伝いをしていますか	-0.9	63.9	35.9	64.8	34.9	
(24)	携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	-1.3	38.9	15.1	40.2	15.0	携帯電話を持っていない 高知県45.8%(H23)
(25)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	6.3	48.1	51.6	41.8	58.2	
(26)	家で学校の宿題をしていますか	-8.2	76.4	23.4	84.6	15.2	
(27)	家で学校の授業の予習をしていますか	-8.4	22.5	77.2	30.9	69.0	
(28)	家で学校の授業の復習をしていますか	9.3	52.8	46.8	43.5	56.4	
(29)	家で苦手な教科の勉強をしていますか	8.0	51.8	47.9	43.8	56.0	
(30)	家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか	6.5	46.2	53.5	39.7	59.8	
(31)	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	-1.1	93.9	5.8	95.0	4.9	
(32)	新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか	0.9	65.1	34.4	64.2	35.7	
(33)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	0.4	34.7	64.9	34.3	65.4	
(34)	学校や塾の先生や家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強を教 えてもらったりすることがありますか		22.9	76.8			新規
(35)	年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりする ことがありますか		45.3	53.9			新規
(36)	学校の規則を守っていますか	-0.3	89.8	9.9	90.1	9.8	
(37)	友達との約束を守っていますか	-1.5	95.1	4.5	96.6	3.2	
(38)	人が困っているときは、進んで助けていますか	1.3	75.6	24.2	74.3	25.6	
(39)	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	-3.4	80.5	19.2	83.9	15.9	
(40)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	-1.6	91.1	8.6	92.7	7.1	
(41)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	0.3	91.4	8.3	91.1	8.7	
(42)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	-0.8	91.3	8.3	92.1	7.7	
(43)	あなたの学級では、学級の友達同士で話し合って学級のきまりなどを決 めていると思いますか	-0.2	71.2	28.5	71.4	28.5	
(44)	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	-5.1	59.4	40.1	64.5	35.3	
(45)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に 出たときに役に立つと思いますか	0.5	66.3	33.2	65.8	33.9	

番号	質問項目	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国(H22)		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(46)	普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか	-2.0	23.3	76.3	25.3	74.6	
(47)	普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	-0.8	72.5	27.2	73.3	26.5	
(48)	普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか	12.4	67.7	31.8	55.3	44.5	
(49)	授業では、ノートを丁寧に書いていますか	-4.9	81.2	18.5	86.1	13.7	
(50)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか	-4.5	68.7	30.7	73.2	26.2	
(51)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりするのは難しいと思いますか	-1.8	73.3	25.9	75.1	24.3	
(52)	国語の勉強は好きですか	-1.1	56.1	43.6	57.2	42.6	
(53)	国語の勉強は大切だと思いますか	-3.4	85.6	13.9	89.0	10.8	
(54)	国語の授業の内容はよく分かりますか	-2.5	67.4	32.1	69.9	29.9	
(55)	読書は好きですか	2.2	71.0	28.6	68.8	30.9	
(56)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	-1.3	79.6	20.0	80.9	18.8	
(57)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	-2.9	42.9	56.6	45.8	53.8	
(58)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	-2.7	39.6	60.0	42.3	57.4	
(59)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	-3.4	54.3	45.4	57.7	41.9	
(60)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	-2.9	60.8	38.7	63.7	35.9	
(61)	国語B－1の問題にあるような、長い文章を読むのは難しいですか	2.6	61.9	37.5	59.3	39.8	
(62)	解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	3.2	68.4	30.3	65.2	33.0	肯定群は最後まで解答しようとした生徒の割合
(63)	数学の勉強は好きですか	1.4	54.7	44.9	53.3	46.2	
(64)	数学の勉強は大切だと思いますか	-1.1	78.2	21.3	79.3	20.2	
(65)	数学の授業の内容はよく分かりますか	-3.0	62.7	36.7	65.7	33.7	
(66)	数学ができるようになりたいと思いますか	-1.3	90.9	8.6	92.2	7.2	
(67)	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	-1.2	65.9	33.5	67.1	32.2	
(68)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	-2.1	35.1	64.4	37.2	62.1	
(69)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	-1.5	66.5	33.0	68.0	31.3	
(70)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	-3.5	61.4	38.0	64.9	34.5	
(71)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	-1.8	66.3	33.1	68.1	31.2	
(72)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	-3.4	74.8	24.5	78.2	21.1	
(73)	解答を言葉や式を使って説明する問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	7.4	52.9	45.5	45.5	52.7	肯定群は最後まで解答しようとした生徒の割合
(74)	解答時間は十分でしたか(国語A)	1.2	94.2	4.9	93.0	6.2	肯定群は時間が余った、ちょうどよかった割合
(75)	解答時間は十分でしたか(国語B)	0.0	84.6	14.5	84.6	14.5	肯定群は時間が余った、ちょうどよかった割合
(76)	解答時間は十分でしたか(数学A)	-9.4	78.9	20.3	88.3	10.8	肯定群は時間が余った、ちょうどよかった割合
(77)	解答時間は十分でしたか(数学B)	7.5	80.8	18.5	73.3	25.8	肯定群は時間が余った、ちょうどよかった割合

★質問(9)～(20)は、起床時刻、生活のリズム、学習時間等の質問であり、肯定群、否定群という標記からは除外している。

★**白抜き**は、全国(H22)の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問項目、**太字**は全国(H22)の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問項目を表している。

学校質問紙調査(小学校)

番号	質問項目	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国(H22)		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(10)	児童は、熱意をもって勉強していると思いますか	-2.1	90.1	9.4	92.2	7.8	
(11)	児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	0.1	90.6	9.0	90.5	9.4	
(12)	児童は、礼儀正しいと思いますか	-1.7	85.8	13.7	87.5	12.5	
(15)	司書教諭が置かれていますか	-40.5	13.7	85.8	54.2	45.7	
(16)	学校図書館図書標準が達成されていますか	2.8	56.9	42.7	54.1	45.3	
(17)	教員以外の職員で学校図書館に関する業務を担当する職員（いわゆる「学校司書」など）が置かれていますか	-5.8	37.3	62.3	43.1	56.8	
(18)	「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	28.9	90.5	8.9	61.6	31.3	肯定群は週に複数回以上定期的に設けた割合
(19)	学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	-5.4	42.5	57.1	47.9	52.0	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(20)	放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	42.3	57.1	42.5	14.8	85.3	肯定群は週に2～3回以上行った割合
(21)	土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	-0.6	0.5	99.0	1.1	98.5	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(22)	長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（長期休業日に実施した日数の累計）	26.0	50.5	49.0	24.5	75.4	肯定群は延べ5日以上行った割合
(23)	児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか	0.4	94.8	4.7	94.4	5.6	
(24)	児童の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか	-2.9	94.3	5.2	97.2	2.8	
(25)	児童に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしていますか	-0.8	69.8	29.7	70.6	29.4	
(26)	学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか	-1.9	95.3	4.2	97.2	2.7	
(27)	学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしていますか	-1.7	96.3	3.3	98.0	2.0	
(28)	児童に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えていますか	-2.3	89.1	10.4	91.4	8.5	
(29)	児童に対して、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導していますか	-7.3	85.4	14.2	92.7	7.3	
(30)	児童に対して、資料を使って発表ができるよう指導していますか	-3.0	87.8	11.8	90.8	9.2	
(31)	児童が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしていますか	-3.7	88.7	10.9	92.4	7.6	
(32)	学校や地域であいさつをするよう指導していますか	0.7	100.0	0.0	99.3	0.6	
(33)	コンピュータ等の基本的な操作を身に付ける学習指導を行っていますか		68.0	29.6			新規肯定群は月1回以上の割合
(34)	国語の授業において、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っていますか	9.9	23.4	76.6	13.5	86.5	肯定群は学期に1回以上行った割合
(35)	国語の授業において、発表や自分の考えを整理する際に、児童がコンピュータ等を使う学習活動を行っていますか	-4.2	15.1	84.4	19.3	80.7	肯定群は月1回以上行った割合
(36)	国語の授業において、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしていますか	1.7	36.8	62.7	35.1	64.8	肯定群は月1回以上行った割合
(37)	算数の授業において、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っていますか	2.4	9.9	89.7	7.5	92.5	肯定群は月1回以上行った割合
(38)	算数の授業において、発表や自分の考えを整理する際に、児童がコンピュータ等を使う学習活動を行っていますか	1.7	12.7	86.8	11.0	89.0	肯定群は月1回以上行った割合
(39)	算数の授業において、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしていますか	8.5	38.2	61.3	29.7	70.3	肯定群は月1回以上行った割合
(40)	平成22年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させましたか	6.2	98.6	0.9	92.4	7.5	
(41)	平成22年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか	11.7	96.7	2.8	85.0	14.9	
(42)	平成22年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか	13.6	88.2	11.3	74.6	25.3	
(43)	平成22年度調査や学校評価の結果等を踏まえた学力向上の取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	15.4	89.6	9.9	74.2	25.6	
(50)	国語の授業において、補充的な学習の指導を行いましたか	11.1	80.7	18.9	69.6	30.4	
(51)	国語の授業において、発展的な学習の指導を行いましたか	9.0	48.1	51.5	39.1	60.9	
(52)	国語の授業において、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	-4.7	84.0	15.6	88.7	11.3	
(53)	国語の授業において、書く習慣を付ける授業を行いましたか	4.5	93.9	5.7	89.4	10.5	

番号	質問項目	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国(H22)		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(54)	国語の授業において、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	2.9	85.9	13.7	83.0	17.0	
(55)	国語の授業において、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	-2.3	95.7	3.8	98.0	2.0	
(56)	算数の授業において、補充的な学習の指導を行いましたか	3.7	91.5	8.0	87.8	12.2	
(57)	算数の授業において、発展的な学習の指導を行いましたか	1.3	55.2	44.4	53.9	46.0	
(58)	算数の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	-0.8	61.8	37.8	62.6	37.5	
(59)	算数の授業において、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	-1.9	96.2	3.3	98.1	2.0	
(60)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、子どもの特性に応じた指導上の工夫を行っていますか		90.1	9.4			新規
(61)	保育所や幼稚園との連携を行っていますか	9.4	87.8	11.7	78.4	21.5	
(62)	地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	2.6	81.2	18.4	78.6	21.4	
(63)	ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	-8.4	30.1	69.4	38.5	61.5	
(64)	博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	-12.6	23.6	75.9	36.2	63.7	
(65)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	13.7	51.4	48.1	37.7	62.1	
(66)	P T Aや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか	-0.2	96.7	2.8	96.9	3.0	
(67)	学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	-3.7	72.2	27.4	75.9	24.0	
(68)	自然の中での集団宿泊活動を行いましたか		87.7	11.8			新規
(69)	国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	0.4	99.6	0.0	99.2	0.7	
(70)	国語の指導として、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	2.5	96.7	2.8	94.2	5.7	
(71)	国語の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか	10.7	91.5	8.0	80.8	19.1	
(72)	国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行いましたか	0.1	96.3	3.3	96.2	3.8	
(73)	算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	-0.2	99.0	0.5	99.2	0.8	
(74)	算数の指導として、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	0.7	94.4	5.2	93.7	6.3	
(75)	算数の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか	10.8	92.0	7.5	81.2	18.8	
(76)	算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行いましたか	0.2	96.2	3.3	96.0	3.9	
(77)	家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を出していますか	13.6	85.8	13.2	72.2	27.8	
(78)	家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか	4.6	92.9	6.6	88.3	11.6	
(79)	学校の教育活動の情報について、前年度にどれくらいの頻度でホームページを更新し、情報提供を行いましたか	-30.5	19.3	80.1	49.8	50.1	肯定群は月に1回程度以上更新した割合
(80)	保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度にどれくらい実施しましたか	-19.5	66.0	33.5	85.5	14.5	肯定群は年間2回以上実施した割合
(81)	地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか	-6.0	77.8	21.7	83.8	16.2	
(82)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	6.9	99.1	0.5	92.2	7.8	
(83)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	-0.1	94.3	5.2	94.4	5.5	
(84)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	0.3	96.8	2.8	96.5	3.5	
(85)	授業研究を伴う校内研修を前年度、何回実施しましたか	8.1	73.6	26.0	65.5	34.4	肯定群は年間7回以上実施した割合
(86)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	2.5	96.2	3.3	93.7	5.9	
(87)	指導計画の作成にあたっては、教職員同士が協力合っていますか	-0.3	96.3	3.3	96.6	3.2	
(88)	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあっていますか	0.0	98.1	1.4	98.1	1.7	
(89)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	-7.4	76.1	23.0	83.5	16.1	肯定群は週に2～3日以上行った割合

★(1)～(9)は児童数、教員配置、(13)、(14)は児童の就学支援等の状況、(44)～(49)は過去2年間の算数の授業形態についての質問であり、標記からは除外している。
★白抜きは、全国(H22)の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問項目、太字は全国(H22)の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問項目を表している。

学校質問紙調査(中学校)

番号	質問項目	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国(H22)		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(10)	生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	1.5	85.9	14.0	84.4	15.4	
(11)	生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	-2.5	87.7	12.3	90.2	9.6	
(12)	生徒は、礼儀正しいと思いますか	-5.4	81.6	18.4	87.0	12.9	
(15)	司書教諭が置かれていますか	-35.3	20.2	79.8	55.5	44.3	
(16)	学校図書館図書標準が達成されていますか	-12.9	34.5	64.6	47.4	51.3	
(17)	教員以外の職員で学校図書館に関する業務を担当する職員（いわゆる「学校司書」など）が置かれていますか	-10.1	33.3	66.7	43.4	56.4	肯定群は常勤、もしくは非常勤の職員が置かれている割合
(18)	「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	14.3	93.0	7.1	78.7	21.2	肯定群は週に複数回以上定期的に設けた割合
(19)	学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	-8.8	4.4	99.6	13.2	86.7	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(20)	放課後を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか	48.6	61.9	38.0	13.3	86.8	肯定群は週に2～3回以上行った割合
(21)	土曜日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか	0.4	2.7	97.4	2.3	97.7	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(22)	長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか（長期休業日に実施した日数の累計）	34.4	92.0	7.1	57.6	42.3	肯定群は延べ5日以上行った割合
(23)	生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか	-3.3	86.9	13.2	90.2	9.8	
(24)	生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか	-0.2	92.1	7.9	92.3	7.7	
(25)	生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしていますか	-0.6	95.6	4.4	96.2	3.8	
(26)	学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか	0.3	96.5	3.5	96.2	3.8	
(27)	学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしていますか	0.9	98.2	1.8	97.3	2.7	
(28)	生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えていますか	-9.5	73.7	26.3	83.2	16.8	
(29)	生徒に対して、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導していますか	-10.9	71.0	29.0	81.9	18.0	
(30)	生徒に対して、資料を使って発表ができるよう指導していますか	-13.1	67.5	32.5	80.6	19.4	
(31)	生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしていますか	-14.2	72.8	27.2	87.0	13.0	
(32)	学校や地域であいさつをするよう指導していますか	0.5	99.1	0.9	98.6	1.2	
(33)	コンピュータ等の基本的な操作を身に付ける学習指導を行っていますか		54.4	45.6			新規肯定群は月1回以上の割合
(34)	国語の授業において、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っていますか	-1.0	2.6	97.4	3.6	96.2	肯定群は学期に1回以上行った割合
(35)	国語の授業において、発表や自分の考えを整理する際に、生徒がコンピュータ等を使う学習活動を行っていますか	-2.5	3.5	96.5	6.0	93.8	肯定群は月1回以上行った割合
(36)	国語の授業において、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしていますか	2.6	17.5	82.4	14.9	84.8	肯定群は月1回以上行った割合
(37)	数学の授業において、普通教室でのインターネットを活用した授業を行っていますか	1.3	3.6	96.5	2.3	97.6	肯定群は月1回以上行った割合
(38)	数学の授業において、発表や自分の考えを整理する際に、生徒がコンピュータ等を使う学習活動を行っていますか	0.5	4.4	95.7	3.9	96.0	肯定群は月1回以上行った割合
(39)	数学の授業において、教員がコンピュータ等を使って、資料等を拡大表示したり、デジタル教材を活用するなどの工夫をしていますか	3.2	18.4	81.6	15.2	84.8	肯定群は月1回以上行った割合
(40)	平成22年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させましたか	7.1	98.2	1.8	91.1	8.8	
(41)	平成22年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか	1.5	93.0	7.0	91.5	8.5	
(42)	平成22年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか	30.0	84.2	15.8	54.2	45.7	
(43)	平成22年度調査や学校評価の結果等を踏まえた学力向上の取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	19.2	86.0	14.0	66.8	32.9	
(50)	国語の授業において、補足的な学習の指導を行いましたか	0.8	81.6	18.4	80.8	19.0	
(51)	国語の授業において、発展的な学習の指導を行いましたか	-22.2	49.1	50.9	71.3	28.4	
(52)	国語の授業において、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	2.5	79.0	21.1	76.5	23.4	
(53)	国語の授業において、書く習慣を付ける授業を行いましたか	-4.3	86.8	13.2	91.1	8.8	

番号	質問項目	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国(H22)		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(54)	国語の授業において、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	-6.7	78.0	21.9	84.7	15.3	
(55)	国語の授業において、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	-1.4	96.5	3.5	97.9	2.0	
(56)	数学の授業において、補充的な学習の指導を行いましたか	6.4	93.0	7.1	86.6	13.3	
(57)	数学の授業において、発展的な学習の指導を行いましたか	-0.5	56.2	43.9	56.7	43.1	
(58)	数学の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	-8.6	43.0	57.0	51.6	48.3	
(59)	数学の授業において、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	0.8	95.6	4.4	94.8	5.1	
(60)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、子どもの特性に応じた指導上の工夫を行っていますか		89.5	10.5			新規
(61)	地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	4.3	55.3	43.9	51.0	48.9	
(62)	ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	4.9	23.7	76.3	18.8	81.2	
(63)	博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	-9.6	4.4	95.6	14.0	85.9	
(64)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	-1.3	96.5	2.6	97.8	1.8	
(65)	P T Aや地域の方が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか	-2.3	91.2	8.8	93.5	6.4	
(66)	学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の方が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	-6.4	50.9	49.1	57.3	42.6	
(67)	国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	2.4	91.2	8.8	88.8	11.2	
(68)	国語の指導として、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	4.0	74.6	25.4	70.6	29.3	
(69)	国語の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか	9.6	82.4	17.6	72.8	27.1	
(70)	国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行いましたか	-0.1	94.7	5.3	94.8	5.1	
(71)	数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	1.9	93.8	6.1	91.9	8.1	
(72)	数学の指導として、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか	3.2	74.6	25.4	71.4	28.6	
(73)	数学の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか	5.3	78.1	21.9	72.8	27.1	
(74)	数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行いましたか	1.5	95.6	4.4	94.1	5.7	
(75)	家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を出していますか	-6.9	49.6	50.5	56.5	43.3	
(76)	家庭学習の取組として、学校では、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか	10.7	94.8	5.3	84.1	15.8	
(77)	学校の教育活動の情報について、前年度にどれくらいの頻度でホームページを更新し、情報提供を行いましたか	-34.0	13.1	86.9	47.1	52.8	肯定群は月に1回程度以上更新した割合
(78)	保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度にどれくらい実施しましたか	-4.9	84.3	15.8	89.2	10.8	肯定群は年間2回以上実施した割合
(79)	地域の方が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか	-9.9	71.1	28.9	81.0	18.9	
(80)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	14.1	96.5	3.5	82.4	17.5	
(81)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	3.6	86.8	13.2	83.2	16.7	
(82)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	5.8	96.5	3.5	90.7	9.2	
(83)	授業研究を伴う校内研修を前年度、何回実施しましたか	33.0	72.9	27.2	39.9	60.0	肯定群は年間7回以上実施した割合
(84)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	6.9	93.0	7.0	86.1	13.4	
(85)	指導計画の作成にあたっては、教職員同士が協力し合っていますか	-3.8	88.6	11.4	92.4	7.0	
(86)	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか	0.9	97.4	2.6	96.5	2.8	
(87)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	-0.5	68.4	31.6	68.9	30.3	

★(1)～(9)は生徒数、教員配置、(13)、(14)は、生徒の就学支援等の状況、(44)～(49)は過去2年間の数学の授業形態についての質問であり、標記からは除外している。
★ **白抜き** は、全国(H22)の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問項目、**太字** は全国(H22)の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問項目を表している。

参考文献

- ・平成23年度 小学校国語の調査問題を踏まえた授業アイデア例 (P11)
- ・平成23年度 小学校算数の調査問題を踏まえた授業アイデア例 (P17)
- ・平成23年度 中学校国語の調査問題を踏まえた授業アイデア例 (P23)
- ・平成23年度 中学校数学の調査問題を踏まえた授業アイデア例 (P29)

国立教育政策研究所ホームページ (<http://www.nier.go.jp/11chousa/>) より

平成23年度全国学力・学習状況調査問題を
活用した希望利用調査結果の概要

平成24年2月

発行・編集

高知県教育委員会事務局小中学校課